

基本目標4

学ぶ意欲と豊かな心を育むまち

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	教育委員会運営事業
-----	-----------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	05	教育委員会費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 市町村に設置を義務付けられている教育委員会の運営を行う。 教育長及び5人の委員を持って構成され、これら構成員の合議により、教育行政の運営に関する基本方針を決定や、教育課題の把握、協議及び方針の決定を行うとともに、小・中学校の教育的な指導を行う。	教育委員会会議等教育委員の諸活動の円滑な運営を図る。	計画額	0	0	0	11,234	11,234	—	—
			当初予算額	0	0	0	8,105	8,105		
			決算額	0	0	0	5,160	5,160		
H27	・教育委員会の会議(定例会、臨時会)を開催した。 ・各種研修会等に参加した。 ・市立幼稚園、小学校、中学校その他の教育機関を訪問した。 ・学校行事や社会教育関係行事に参加した。	・委員全員が全国規模の研修に参加した。 ・教育施設の実態や問題点の把握に努めるため、定例会のうち第5回を志度公民館鴨部分館、第10回定例会を志度学校給食共同調理場において開催した。	計画額	0	0	0	2,804	2,804	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,804	2,804		
			決算額	0	0	0	2,679	2,679		
H28	具体的取組 ・教育委員会の会議(定例会、臨時会)を開催する。 ・各種研修会等に参加する。 ・市立幼稚園、小学校、中学校その他の教育機関を訪問する。 ・学校行事や社会教育関係行事に参加する。	・引き続き、委員が教育現場の視察や各種研修会への参加をすることにより、教育行政上の多種多様な課題に対応できる体制を整えるよう努めた。	計画額	0	0	0	2,810	2,810	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,550	2,550		
			決算額	0	0	0	2,481	2,481		
H29	・教育委員会の会議(定例会、臨時会)を開催する。 ・各種研修会等に参加する。 ・市立幼稚園、小学校、中学校その他の教育機関を訪問する。 ・学校行事や社会教育関係行事に参加する。		計画額	0	0	0	2,810	2,810		
			当初予算額	0	0	0	2,751	2,751		
			決算額							
H30	・教育委員会の会議(定例会、臨時会)を開催する。 ・各種研修会等に参加する。 ・市立幼稚園、小学校、中学校その他の教育機関を訪問する。 ・学校行事や社会教育関係行事に参加する。		計画額	0	0	0	2,810	2,810		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	会議開催回数	定例会及び臨時会を開催した回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	14	計画値	14	計画値	14	計画値	14	
	教育機関訪問等回数	各種教育機関に訪問及び各種研修会に参加したのべ回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	100	計画値	100	計画値	100	計画値	100	
成果指標	審議案件数	定例会及び臨時会において審議した議案の件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	70	計画値	70	計画値	70	計画値	70	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	22点 /25点	5点	23点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	教育委員会は、法律に基づいて設置されている行政委員会であり、教育行政における教育委員会の果たす役割の強化が求められているため。						教育委員会組織の更なる充実・強化を図るため、教育長及び教育委員の各種研修会等への積極的な参加を促し、昨今における情報の収集や諸課題の把握に努めてもらうため。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	事務局運営事業
-----	---------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	教育委員会事務局の全般的な管理・運営を行う。	教育委員会事務局の運営に係る各種事務及び業務の推進を図る。	計画額	0	0	0	91,270	91,270	—	—
			当初予算額	0	0	0	62,573	62,573		
			決算額	0	0	3,409	25,632	29,041		
H27	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長の会議、研修への参加 ・規則及び規程等の管理 ・事務の点検及び評価 ・職員及び臨時職員の給与等の支払、各種手当の認定 ・市町村共済、公立学校共済に係る申請手続及び報告等 ・臨時職員に係る健保、雇保、労災手続(取得・喪失・認定等) 	教育委員会事務局の運営に係る各種の事務及び業務であるため、それぞれに必要な業務内容を精査し、効率的な業務を行った。	計画額	0	0	0	22,570	22,570	1.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	22,570	22,570		
			決算額	0	0	1,654	14,328	15,982		
H28	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長の会議、研修への参加 ・規則及び規程等の管理 ・事務の点検及び評価 ・職員及び臨時職員の給与等の支払、各種手当の認定 ・市町村共済、公立学校共済に係る申請手続及び報告等 ・臨時職員に係る健保、雇保、労災手続(取得・喪失・認定等) 	教育委員会事務局の運営に係る各種の事務及び業務であるため、それぞれに必要な業務内容を精査し、効率的な業務を行った。	計画額	0	0	0	22,800	22,800	1.4	0.0
			当初予算額	0	0	0	19,562	19,562		
			決算額	0	0	1,755	11,304	13,059		
H29	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長の会議、研修への参加 ・規則及び規程等の管理 ・事務の点検及び評価 ・職員及び臨時職員の給与等の支払、各種手当の認定 ・市町村共済、公立学校共済に係る申請手続及び報告等 ・臨時職員に係る健保、雇保、労災手続(取得・喪失・認定等) ・職員健康診断、社会保険等保険料、事務消耗品、印刷、通信費等教育委員会事務局の運営経費である。 		計画額	0	0	0	22,900	22,900		
			当初予算額	0	0	0	20,441	20,441		
			決算額							
H30			計画額	0	0	0	23,000	23,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	職員数	教育委員会事務局における市費職員の人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	34	計画値	34	計画値	34	計画値	34
					実績値	35	実績値	33	実績値		実績値	
活動指標	臨時職員数	教育委員会事務局における臨時職員の人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12
					実績値	11	実績値	11	実績値		実績値	
成果指標	審議案件数	教育委員会の審議案件数。 (教育委員会運営事業と成果指標を共用)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	70	計画値	70	計画値	70	計画値	70
					実績値	71	実績値	89	実績値		実績値	
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	20点 /25点	5点		21点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		4点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	教育委員会事務局の運営に係る事務及び業務であるため、業務の種類には、変更するものがないと思われる。 業務の内容や取組み方を精査し、効率的な業務の推進を図る。						効率的な業務の推進を図りながら、教育委員会事務局の全般的な管理・運営を行っていく必要があるため。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	国際理解教育推進事業
-----	------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	中学校での日本人教師の外国語授業の補助、小学校での外国語活動等の補助及び幼稚園・児童クラブ等での外国語のふれあい・地域における外国文化の紹介、交流活動により国際理解教育の推進を図る。	外国の文化や言語についての理解を深め、国際化に対応できる人材を育成する。	計画額	10	0	1,320	58,895	60,225	—	—
			当初予算額	0	0	984	39,335	40,319		
			決算額	0	0	584	22,995	23,579		
H27	・市内幼稚園・小学校・中学校等に外国語指導助手(ALT)2名を派遣した。 ・公民館親子教室に外国語指導助手(ALT)を派遣した。(「親子で英語であそぼう」計3回開催 7/11・10/17・12/6) ・国際理解推進事業「Easter Adventure」の開催 4/18	各学校等から提出される外国語指導助手(ALT)関係書類の様式を一部変更し、ALTをより活用しやすいものに努めた。	計画額	0	0	240	10,895	11,135	0.6	2.0
			当初予算額	0	0	240	10,895	11,135		
			決算額	0	0	240	10,012	10,252		
H28	・市内幼稚園・小学校・中学校等に外国語指導助手(ALT)3名を派遣した。 ・公民館親子教室に外国語指導助手(ALT)を派遣した。(「親子で英語であそぼう」計3回開催 7/2・11/5・12/10) ・夏休み期間中に市内放課後児童クラブへ外国語指導助手を派遣した。(計7か所)	外国語指導助手(ALT)を派遣するに当たり、急な日程変更依頼等にも柔軟に対応し、できる限り派遣先の要望に応えられるよう努めた。	計画額	10	0	360	15,000	15,370	0.5	3.0
			当初予算額	0	0	360	14,276	14,636		
			決算額	0	0	344	12,983	13,327		
H29	市内中学校区毎に1名(計3名)の外国語指導助手(ALT)を派遣する。		計画額	0	0	360	16,500	16,860		
			当初予算額	0	0	384	14,164	14,548		
			決算額							
H30	市内中学校区毎に1名(計3名)の外国語指導助手(ALT)を派遣する。		計画額	0	0	360	16,500	16,860		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	外国語指導助手(ALT)人数	市内で語学指導等を行うALTの人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	2	計画値	3	計画値	3	計画値	3	
					実績値	2	実績値	3	実績値		実績値		
成果指標	中学校授業数	ALTの市内中学校での授業数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値	700	計画値	730	計画値	730	計画値	730	
					実績値	951	実績値	1,081	実績値		実績値		
成果指標	小学校・幼稚園等派遣日数	ALTの小学校・幼稚園への派遣日数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	日	計画値	50	計画値	60	計画値	60	計画値	60	
					実績値	93	実績値	93	実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	5点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	国際化に対応した英語教育改革により、小学校外国語教育については、平成30年度から先行実施、平成32年度から完全実施が予定されているなか、ALTが果たすべき役割やALTに対する期待はますます高まってきている。本市においても、平成28年度からALTを3名配置し、市内各中学校(3校)を拠点校として、中学校のみならず、各中学校区の幼稚園・小学校にも、積極的に派遣を行っているところであるが、ALTが今まで以上に質の高い授業を提供できるように、関係機関と連携を図りながら、国際理解教育の推進に努めていきたい。						今後は小学校においても、学年に応じた英語の教科化や外国語活動が実施されることに伴い、少なくとも現状のALT3名体制は継続していく必要があるため。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校教育推進事業
-----	----------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	15	学校教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	<p>学校保健安全法に定められた就学時健康診断等の学校保健や、学校教育活動の円滑な実施に資する学校指導などの実施に係る事業である。</p> <p>平成28年度からは、教育課程、学習指導等に関する専門的分野に係る事務に従事する指導主事を配置する事業を追加している。</p>	<p>学校保健事業の円滑な実施のほか、市教育方針や各年度における学校教育の重点の推進に向けた学校運営上の指導など、学校教育活動の充実のための取組や支援を行う。</p>	計画額	0	0	6,672	36,102	42,774	—	—
			当初予算額	815	0	4,734	32,114	37,663		
			決算額	595	0	3,215	18,334	22,144		
H27	<p>就学時健康診断、日本スポーツ振興センター災害共済給付事務、小児生活習慣病予防健診、小中学生を対象としたフッ化物洗口、感染症予防対策等の学校保健事業を行うとともに、市教育振興計画等に沿った学校教育活動を推進するための事業を実施した。</p>	<p>・小児生活習慣病予防健診における事後指導の対象児をメタボのみからメタボ予備軍に拡大した。</p> <p>・学力向上先進地視察を行い、市の現状分析や今後の対策について検討を行った。</p>	計画額	0	0	1,653	8,943	10,596	1.3	0.1
			当初予算額	0	0	1,653	8,943	10,596		
			決算額	241	0	1,644	7,969	9,854		
H28	<p>就学時健康診断、日本スポーツ振興センター災害共済給付事務、小児生活習慣病予防健診、小中学生を対象としたフッ化物洗口、感染症予防対策等の学校保健事業を行うとともに、市教育振興計画等に沿った学校教育活動を推進するための事業を実施する。</p> <p>また、嘱託の指導主事1名を学校教育課に配置する。</p>	<p>・小児生活習慣病予防健診における検査機関によるメタボ等の判定と学校医による判定が違う場合があるので、学校医による判定の欄を追加した。</p>	計画額	0	0	1,653	8,943	10,596	1.1	0.5
			当初予算額	405	0	1,564	11,286	13,255		
			決算額	354	0	1,571	10,365	12,290		
H29	<p>就学時健康診断、日本スポーツ振興センター災害共済給付事務、小児生活習慣病予防健診、小中学生を対象としたフッ化物洗口、感染症予防対策等の学校保健事業を行うとともに、市教育振興計画等に沿った学校教育活動を推進するための事業を実施する。</p>		計画額	0	0	1,683	9,108	10,791		
			当初予算額	410	0	1,517	11,885	13,812		
			決算額							
H30	<p>就学時健康診断、日本スポーツ振興センター災害共済給付事務、小児生活習慣病予防健診、小中学生を対象としたフッ化物洗口、感染症予防対策等の学校保健事業を行うとともに、市教育振興計画等に沿った学校教育活動を推進するための事業を実施する。</p>		計画額	0	0	1,683	9,108	10,791		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	小児生活習慣病予防健診受診率	健診対象児童のうち、実際に健診を受診した者の割合(健診受診者数÷対象児童数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 95	実績値 93	計画値 95	実績値 89	計画値 95	実績値	計画値 95	実績値	
	市教委主催の教職員研修の実施回数	教職員に対する市教委主催の研修会の年間延べ実施回数(園長・校長研修会、中堅教員研修会、教務主任・現職教育主任研修会、初任者研修会、小中高生徒指連絡会等)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回数	計画値 13	実績値 14	計画値 13	実績値 15	計画値 13	実績値	計画値 13	実績値	
成果指標	小児生活習慣病予防健診における事後指導実施率	健診の結果、事後指導の対象とされた児童(メタボ又はメタボ予備軍)のうち、実際に事後指導を受けた者の割合(事後指導実施者数÷事後指導対象者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 60	実績値 59	計画値 60	実績値 88	計画値 60	実績値	計画値 65	実績値	
	言語活動に関する質問に肯定的に回答した児童の割合	全国学力・学習状況調査の質問紙調査(小6)において、「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」との質問に「当てはまる」と回答した児童の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	点	計画値 48	実績値 46	計画値 51	実績値 47	計画値 53	実績値	計画値 55	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		2点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点	5点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	教職員の長時間勤務が喫緊の課題のひとつであり、市教委主催の研修内容や回数を見直し、教員が児童生徒と向き合う時間確保につながる業務改善の視点も踏まえた研修計画、運営が必要である。具体的には、教員の資質向上を図りながらも、研修回数を減らしたり、研修時間を短縮したりすることを検討する必要がある。 指標達成に向けて、主体的・対話的学びが深まるように、学校訪問等を通じて指導する。学習課題の解決に向けて、児童生徒が主体的に話し合う学習活動が成立している好事例について紹介したり検討したりする方法等を考える。						教員の長時間勤務の実態などから、学校の業務改善が課題となっていることから、勤務時間の適正な把握や労働安全衛生管理体制の整備、部活動の適切な運営などを検討する必要がある。 このため、事業の内容を見直し、学校の業務改善に努める。 また、幼稚園に係る日本スポーツ振興センター災害共済給付事務については、幼稚園を管理運営する幼保連携推進室において事務を実施することで、学校教育課及び幼稚園職員の事務の軽減につながると考える。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	特別支援教育支援員配置事業
-----	---------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	15	学校教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 小中学校に在籍する発達障害等を有する児童生徒に対し、個々の状況に応じた支援を行い、充実した学校生活が送れるよう特別支援教育支援員を配置する事業である。平成28年度からは、特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に担任を補助する学校生活支援者や幼稚園生活補助員を配置する事業を追加している。	小中学校に在籍する発達障害等を有する児童生徒に対し、支援員を配置することにより、学習活動や学校生活上のサポートを行う。	計画額	0	0	0	121,800	121,800	—	—
			当初予算額	0	0	0	141,155	141,155		
			決算額	0	0	0	85,406	85,406		
H27	小中学校の通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に特別支援教育支援員31人を配置した。	・資質向上のための研修を初心者・経験者別に実施した。 ※H28年度から障害児支援事業と統合。H28年度は幼稚園生活補助員分も含めて予算計上(予算執行は幼保連携推進室)	計画額	0	0	0	30,450	30,450	0.2	44.0
			当初予算額	0	0	0	30,439	30,439		
			決算額	0	0	0	28,837	28,837		
H28	具体的取組 小中学校に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に特別支援教育支援員及び学校生活支援者を配置する。 特別支援教育支援員34人(うち、日本語通訳1人) 学校生活支援者5人 幼稚園補助員10人	特別な配慮を必要とする児童生徒の増加に伴い、特別支援課養育支援員の増員を行った。	計画額	0	0	0	30,450	30,450	0.3	49.0
			当初予算額	0	0	0	62,067	62,067		
			決算額	0	0	0	56,569	56,569		
H29	小中学校に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に特別支援教育支援員及び学校生活支援者を配置する。		計画額	0	0	0	30,450	30,450		
			当初予算額	0	0	0	48,649	48,649		
			決算額							
H30	小中学校に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に特別支援教育支援員及び学校生活支援者を配置する。		計画額	0	0	0	30,450	30,450		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	特別支援教育支援員の配置人数	通常学級に在籍する発達障害等を有し、特別な配慮を要する児童生徒を支援するための特別支援教育支援員の配置人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 32	実績値 31	計画値 32	実績値 33	計画値 40	実績値	計画値 42	実績値	
	学校生活支援者の配置人数	特別支援学級に在籍する障害を有し、特別な配慮を要する児童生徒を支援するための学校生活支援者の配置人数 (H29より特別支援教育支援員と一本化。)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 -	実績値 -	計画値 7	実績値 5	計画値 -	実績値	計画値 -	実績値	
成果指標	通常の授業が成立しなくなった件数	通常学級において、授業中に児童生徒が教師の指示や制止を無視して勝手にしゃべったり立ち歩くなどして通常の授業が成立しなくなった件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 0	実績値 0	計画値 0	実績値 0	計画値 0	実績値	計画値 0	実績値	
	特別支援学級における不登校児童生徒の割合	不登校児童生徒数のうち、特別支援学級に在籍する児童生徒数の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 -	実績値 -	計画値 10	実績値 4	計画値 10	実績値	計画値 10	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	22点 /25点	4点	23点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	通常学級や特別支援学級に在籍する発達障害等を有する特別な配慮を必要とする児童生徒が、必要な支援を受けながら円滑な学校生活を送ることができるよう、教育環境を整える必要がある。今後、支援が必要な児童生徒を的確に把握し、必要に応じて支援員を適正に配置するとともに特別支援学級における不登校児童生徒の増加を抑制する対策として、教職員との連携を図れるよう勤務時間数も含めて勤務日数等を検討していく。 また、特別支援教育支援員の資質の向上のため、研修会の実施も継続的に行う。						学校生活において特別な配慮を必要とする児童生徒が、必要な支援を受けながら円滑な学校生活を送ることができるよう、教育環境を整え、今後も、支援が必要な児童生徒を的確に把握し、必要に応じた特別支援教育支援員を適正に配置するとともに、発達障害などにより特別支援学級や通級指導学級への入級などを支援する必要がある。 また、特別支援教育支援員の資質の向上のための研修や教職員との連携強化を図るための勤務体制などを検討する必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校教育活動支援事業
-----	------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	15	学校教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	小学校学習指導要領において義務付けられている小学校5・6年生に対する外国語活動の指導補助を行うため、外国語活動支援員を配置する事業である。また、児童生徒の読書活動を推進するため、学校図書館の環境整備や読書活動の指導補助を行う学校図書館活動支援員を配置する事業である。	・外国語や外国文化への理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。 ・学校における読書環境を整備し、児童生徒の読書活動を推進する。	計画額	0	0	10,000	21,608	31,608	—	—
			当初予算額	0	0	15,000	10,127	25,127		
			決算額	0	0	10,000	5,150	15,150		
H27	学校教育活動支援員(外国語)2人を小学校に配置するとともに、全ての小中学校に学校図書館活動支援員を配置した。	・学校図書館活動支援員のうち図書館司書の資格を有する支援員を講師に、研修を実施した。 ・統合後の図書整理を円滑に行うため、統合校への配置時間を増やした。	計画額	0	0	5,000	1,652	6,652	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	5,000	1,652	6,652		
			決算額	0	0	5,000	1,432	6,432		
H28	学校教育活動支援員(外国語)2人を小学校に配置するとともに、全ての小中学校に学校図書館活動支援員を配置する。前山小学校と長尾中学校を兼務で1名の学校図書館活動支援員を配置した。	・学校図書館活動支援員の勤務時間を1日3時間から4時間に増やし、より読書活動の推進や読書環境の整備を行っている。	計画額	0	0	5,000	6,652	11,652	0.2	13.0
			当初予算額	0	0	5,000	4,152	9,152		
			決算額	0	0	5,000	3,718	8,718		
H29	学校教育活動支援員(外国語)を小学校に配置するとともに、全ての小中学校に学校図書館活動支援員を配置する。		計画額	0	0	0	6,652	6,652		
			当初予算額	0	0	5,000	4,323	9,323		
			決算額							
H30	学校教育活動支援員(外国語)を小学校に配置するとともに、全ての小中学校に学校図書館活動支援員を配置する。		計画額	0	0	0	6,652	6,652		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	学校教育活動支援員(外国語)による年間授業時間数	学校教育活動支援員(外国語)が実際に授業の支援を行った年間授業時間数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値 1,050	実績値 1,050	計画値 1,050	実績値 1,052	計画値 1,050	実績値	計画値 1,050	実績値	
	学校図書館活動支援員の配置校数	学校図書館の環境整備や児童生徒の読書活動推進の支援に当たる支援員を配置した学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 12	実績値 12	計画値 12	実績値 11	計画値 11	実績値	計画値 11	実績値	
成果指標	外国語に興味を持った児童の割合	小学校5・6年生のうち、外国語学習に興味を持った児童数の割合(H28年度からアンケート実施予定)アンケート未実施のため成果指標から削除。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 -	実績値 -	計画値 80	実績値 -	計画値 80	実績値	計画値 80	実績値	
	読書の好きな児童の割合	小学校6年生のうち、県学習状況調査において「本を読むのが好き」及び「どちらかといえば好き」と答えた児童の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 80	実績値 78	計画値 80	実績値 76	計画値 80	実績値	計画値 80	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	5点		20点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		2点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	・外国語活動支援員の配置については、平成30年度から新学習指導要領により、小学校5・6年生で外国語が授業科目になるとともに、3・4年生においてもより質の高い外国語活動の推進及び国際理解教育の推進を図るために、平成31年度までに各小学校に1名を配置する。 ・図書館活動支援員の配置については、学校図書館の環境整備(蔵書管理及び掲示物)を行い、児童生徒の読書に対する関心を高め、読書活動の活性化を継続して図る。(各校1名)						改定された小学校の新学習指導要領により平成32年度から新たに教科化される小学5・6年生の外国語(英語)、小学3・4年生に導入される外国語活動について、香川県が平成30年度から先行実施することに伴い、教員の授業を支援する外国語活動支援員の増員が必要である。 なお、外国語支援員の増員に対しては、ALT(外国語指導助手)の活用方法や在り方と合わせて検討する必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校教育振興事業
-----	-----------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	10	教育振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 児童の豊かな読書経験の機会を充実し、読書活動を推進するため、学校図書等の整備を行う事業である。また、観察・実験・体験等の活動を通じた基礎学力の向上を図るため、教育課程に対応した教材・教具の整備を行う事業である。	学校図書及び教材備品の充実により、児童の豊かな読書経験並びに基礎学力の向上に資する。	計画額	626	0	0	14,760	15,386	—	—
			当初予算額	691	0	6,995	10,666	18,352		
			決算額	449	0	16,984	6,597	24,030		
H27	学校図書及び教材備品等を計画的に整備した。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用した。	まちづくり基金を活用して、学校図書の充実を図ったほか、理科教育振興補助事業等を活用し、教材備品の整備を行った。	計画額	155	0	0	3,656	3,811	0.2	0.0
			当初予算額	155	0	0	3,656	3,811		
			決算額	214	0	4,458	3,476	8,148		
H28	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。	まちづくり基金を活用して、教育用備品及び学校図書の充実を図ったほか、理科教育振興補助事業等を活用し、教材備品の整備を行った。	計画額	155	0	0	3,656	3,811	0.2	0.0
			当初予算額	225	0	6,995	3,250	10,470		
			決算額	235	0	12,526	3,121	15,882		
H29	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。		計画額	158	0	0	3,724	3,882		
			当初予算額	311	0	0	3,760	4,071		
			決算額							
H30	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。		計画額	158	0	0	3,724	3,882		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	小学校1校当たりの図書購入額	小学校1校当たりの図書購入額 (図書購入額÷学校数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200	
					実績値	453	実績値	430	実績値		実績値		
活動指標	小学校1校当たりの教材購入額	小学校1校当たりの教材購入額 (教材購入額÷学校数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200	
					実績値	230	実績値	787	実績値		実績値		
成果指標	学校図書館図書標準の達成状況	学校図書館(小学校)における図書標準に定められた冊数に対する蔵書数の市全体の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	150	計画値	150	計画値	150	計画値	150	
					実績値	145	実績値	150	実績値		実績値		
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	平成28年1月策定のさぬき市教育大綱において「読書のまち さぬき」として、読書を中心とした教育活動の充実を基本方針に掲げており、平成29年4月には、さぬき南小学校が読書活動の実践に関する文部科学大臣表彰を受賞するなど、読書活動を中心とする優れた教育活動が実践されつつある。 今後は、市内全ての児童が豊かな読書経験を積み、知的活動の機会が増えるよう、一層の学校図書の充実を図りたいと考えている。 また、国の理科教育振興補助事業やまちづくり基金等を活用して教材備品の整備・拡充を図り、児童が生き生きと学べる学習環境づくりを行いたいと考えている。						児童生徒が読書に親しむ習慣を身に付け、確かな学力や豊かな人間性を育むためには、学校図書館の蔵書の整備、充実を図ることが必要である。また、学校で使われる各種の教材教具は、学習活動における教育効果を高め、児童生徒の基礎的・基本的な学習理解を助ける上で極めて重要であり、その充実是不可欠なものである。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	生徒就学援助事業
-----	----------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	10	教育振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 経済的理由により、就学が困難な生徒の家庭に対して、学校生活に要する費用の一部を援助する事業である。また、特別支援学級に在籍する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力に応じて必要な援助を行う事業である。	経済的理由等により、就学が困難な生徒の保護者及び特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、負担能力等に応じた適切な援助を行う。	計画額	1,160	0	0	68,764	69,924	—	—
			当初予算額	1,088	0	0	48,000	49,088		
			決算額	530	0	0	28,062	28,592		
H27	具体的取組 就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給した。	就学援助費支給要綱に基づき、対象者の認定及び援助費の支給を行ったほか、マイナンバー条例施行に伴い所要の要綱改正を行った。	計画額	290	0	0	17,191	17,481	0.1	0.0
			当初予算額	290	0	0	17,191	17,481		
			決算額	313	0	0	15,026	15,339		
H28	具体的取組 就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。	新入学児童生徒学用品費等の支給単価及び支給時期の前倒しについて検討を行った。	計画額	290	0	0	17,191	17,481	0.2	0.0
			当初予算額	354	0	0	15,331	15,685		
			決算額	217	0	0	13,036	13,253		
H29	具体的取組 就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。		計画額	290	0	0	17,191	17,481		
			当初予算額	444	0	0	15,478	15,922		
			決算額							
H30	具体的取組 就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。		計画額	290	0	0	17,191	17,481		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	就学援助費平均支給額	要保護及び準要保護児童生徒就学援助費の生徒1人当たり平均支給額(年間支給額÷受給者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	100	計画値	101	計画値	101	計画値	101
					実績値	101	実績値	98	実績値		実績値	
活動指標	就学奨励費平均支給額	特別支援教育就学奨励費の生徒1人当たり平均支給額(年間支給額÷受給者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	51	計画値	47	計画値	47	計画値	47
					実績値	47	実績値	40	実績値		実績値	
成果指標	就学援助費受給率	中学校の全生徒数のうち、就学援助費の支給を受けている者の割合(認定生徒数÷全生徒数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	12.0	計画値	12.0	計画値	12.0	計画値	12.0
					実績値	11.6	実績値	10.7	実績値		実績値	
	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点	/25点	5点	23点	/25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点			4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点			5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点			4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点			5点			
方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
今後の方向性理由	義務教育の円滑な実施を目的に、経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、給食費や学用品の購入等に要する費用を継続的に支給する必要があるため、現在の支給水準を維持する必要がある。 また、平成29年度には、新入学児童生徒学用品等の支給単価を国の補助単価改定に合わせて増額改定するとともに、支給時期についても、これまで他の支給費目と合わせて7月支給としていたものを、4月に前倒して支給を行った。 今後は、必要な援助が適切な時期に実施されるようにという国の取組の趣旨に鑑み、平成30年度以降の新入学生徒については、入学前の3月に支給できるよう、申請手続等の見直しを行う必要がある。					経済的理由により就学困難な生徒の保護者への支援については、学校教育法第19条の規定により、市町村において適切に実施されなければならないこととされている。また、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的に、子どもの貧困対策の推進に関する法律が施行され、同法第10条の規定により、地方公共団体は、就学の援助、学資の援助その他の貧困の状況にある子どもの教育に関する支援のために必要な施策を講ずるものとされている。これらの規定の趣旨を踏まえ、保護者の経済的な状況に応じた就学援助を適切に実施していく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校教育振興事業
-----	-----------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	10	教育振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 生徒の豊かな読書経験の機会を充実し、読書活動を推進するため、学校図書等の整備を行う事業である。また、観察・実験・体験等の活動を通じた基礎学力の向上を図るため、教育課程に対応した教材・教具の整備などを行う事業である。	学校図書及び教材備品の充実により、生徒の豊かな読書経験並びに基礎学力の向上に資する。	計画額	1,744	0	0	19,076	20,820	—	—
			当初予算額	432	0	0	13,681	14,113		
			決算額	400	0	1,030	9,158	10,588		
H27	学校図書及び教材備品等を計画的に整備した。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用した。また、運動部活動の競技力の向上を図るために地域で活躍するプロスポーツチームを招致したほか、老朽化した吹奏楽用楽器を計画的に更新した。	図書購入予算を増額し、学校図書の充実を図ったほか、理科教育振興補助事業等を活用し、教材備品の整備を行った。	計画額	432	0	0	4,725	5,157	0.2	0.0
			当初予算額	432	0	0	4,725	5,157		
			決算額	400	0	530	4,725	5,655		
H28	具体的取組 学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。また、プロの指導者を招致すること等により部活動の競技力等の向上を図るとともに、老朽化した吹奏楽用楽器を計画的に更新する。	まちづくり基金を活用して、教育用備品及び学校図書の充実を図ったほか、理科教育振興補助事業等を活用し、教材備品の整備を行った。	計画額	432	0	0	4,725	5,157	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	4,554	4,554		
			決算額	0	0	500	4,433	4,933		
H29	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。また、老朽化した吹奏楽用楽器を計画的に更新する。		計画額	440	0	0	4,813	5,253		
			当初予算額	0	0	0	4,402	4,402		
			決算額							
H30	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。また、老朽化した吹奏楽用楽器を計画的に更新する。		計画額	440	0	0	4,813	5,253		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	中学校1校当たりの図書購入額	中学校1校当たりの図書購入額 (図書購入額÷学校数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	400	計画値	400	計画値	400	計画値	400
					実績値	500	実績値	366	実績値		実績値	
活動指標	中学校1校当たりの教材購入額	中学校1校当たりの教材購入額 (教材購入額÷学校数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000
					実績値	1,275	実績値	1,242	実績値		実績値	
成果指標	学校図書館図書標準の達成状況	学校図書館(中学校)における図書標準に定められた冊数に対する蔵書数の市全体の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	130	計画値	130	計画値	130	計画値	130
					実績値	126	実績値	125	実績値		実績値	
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	平成28年1月策定のさぬき市教育大綱において「読書のまち さぬき」として、読書を中心とした教育活動の充実を基本方針に掲げており、市内全ての生徒が豊かな読書経験を積み、知的活動の機会が増えるよう、一層の学校図書館の充実を図りたいと考えている。また、国の理科教育振興補助事業やまちづくり基金等を活用して教材備品の整備・拡充を図り、生徒が生き生きと学べる学習環境づくりを行いたいと考えている。					児童生徒が読書に親しむ習慣を身に付け、確かな学力や豊かな人間性を育むためには、学校図書館の蔵書の整備、充実を図ることが必要である。また、学校で使われる各種の教材教具は、学習活動における教育効果を高め、児童生徒の基礎的・基本的な学習理解を助ける上で極めて重要であり、その充実是不可欠なものである。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	人権同和教育支援事業
-----	------------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成29年4月10日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	20	人権教育費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	学校、PTA及び各種研究団体における人権・同和教育事業に対し、活動を支援するとともに、じんけんフェスタinさぬきの開催により市民に対して幅広い啓発活動を行う。	人権同和教育における啓発活動を支援することにより、学校(園)での人権教育の推進を図り、各種差別に対する理解を深めるように促進する。	計画額	0	0	0	23,267	23,267	—	—
			当初予算額	0	0	0	17,377	17,377		
			決算額	0	0	0	10,524	10,524		
H27	学校教育及び社会教育を通じた人権・同和教育を推進した。 ・学校が主催する人権講演会等の活動支援 ・人権・同和教育研究グループの活動支援 ・さぬき市人権・同和教育研究協議会の支援 ・人権劇団「未来」の活動支援 ・じんけんフェスタinさぬきの開催	じんけんフェスタinさぬきを「辛立文化センター冬のつどい」と辛立文化センターにて同時開催し、イベント運営経費の削減及びより多くの参加を得ることができた。	計画額	0	0	0	5,867	5,867	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	5,867	5,867		
			決算額	0	0	0	5,500	5,500		
H28	学校教育及び社会教育を通じた人権・同和教育を推進する。 ・学校が主催する人権講演会等の活動支援 ・人権・同和教育研究グループの活動支援 ・さぬき市人権・同和教育研究協議会の支援 ・人権劇団「未来」の活動支援 ・じんけんフェスタinさぬきの開催	人権講演会等の活動資金を支援することで、さまざまな講師に依頼することができ、人権意識を高める機会を提供した。	計画額	0	0	0	5,800	5,800	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	5,895	5,895		
			決算額	0	0	0	5,024	5,024		
H29	学校教育及び社会教育を通じた人権・同和教育を推進する。 ・学校が主催する人権講演会等の活動支援 ・人権・同和教育研究グループの活動支援 ・さぬき市人権・同和教育研究協議会の支援 ・人権劇団「未来」の活動支援 ・じんけんフェスタinさぬきの開催		計画額	0	0	0	5,800	5,800		
			当初予算額	0	0	0	5,615	5,615		
			決算額							
H30	学校教育及び社会教育を通じた人権・同和教育を推進する。 ・学校が主催する人権講演会等の活動支援 ・人権・同和教育研究グループの活動支援 ・さぬき市人権・同和教育研究協議会の支援 ・人権劇団「未来」の活動支援 ・じんけんフェスタinさぬきの開催		計画額	0	0	0	5,800	5,800		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	人権・同和教育支援団体数	人権・同和教育支援に係る支援団体数 幼稚園・小・中学校のPTA組織、その他団体3	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	団体	計画値 23	実績値 22	計画値 23	実績値 23	計画値 22	実績値	計画値 22	実績値
	じんけんフェスタの開催	幼稚園、小・中学生による人権啓発活動の発表会を開催する	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回数	計画値 1	実績値 1	計画値 1	実績値 1	計画値 1	実績値	計画値 1	実績値
成果指標	人権・同和教育支援団体の活動参加者数	人権・同和教育支援支援団体における実施事業の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 10,000	実績値 10,469	計画値 10,000	実績値 7,258	計画値 10,000	実績値	計画値 10,000	実績値
	人権フェスタの参加者数	人権フェスタの参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 1,500	実績値 1,700	計画値 1,500	実績値 1,200	計画値 1,500	実績値	計画値 1,500	実績値
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点			
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
今後の方向性	<p>人権・同和教育の啓発活動をこれまで以上に推進するには、各種団体の協力連携を行い既存する人権問題について、よりよい理解と認識を深められるようにする。については、人権に関する行事の企画運営を行い一層工夫・改善していく。</p> <p>また、さぬき市人権・同和教育研究協議会については、様々な人権問題に対して深く取り組めるよう継続して充実した支援を行うものである。</p> <p>人権・同和教育支援団体への活動参加者数が減少しているため、より一層の周知及び啓発を行うものである。</p>					<p>人権尊重する教育団体等を支援することにより、差別のない明るい社会の形成に努める必要があり、学校や園が実施する、人権映画・講演会の要望も年々増加している。</p> <p>また、PTAにも参加を依頼するなどして、親子で一緒に考える場を提供し、人権啓発に努めていく。</p>						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	人権・同和啓発事業
-----	-----------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成29年7月10日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	20	人権教育費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 人権・同和教育に対する啓発活動を行う。	幼・小・中学生から標語・作文・習字・硬筆・ポスターを募集し、作品集や展示を行うことにより、市民に対する人権啓発活動に活用している。	計画額	0	0	0	1,249	1,249	—	—
			当初予算額	0	0	0	846	846		
			決算額	0	0	0	431	431		
H27	人権・同和教育に関する資料を市広報誌に掲載することや学校を通じて配布することで、啓発を行った。 ・広報誌掲載 ・人権・啓発資料学校配布 ・人権・同和啓発作品募集・展示・文集作成配布	作品を市役所や各支所等に展示することにより、多くの市民が身近に人権問題を感じてもらえる機会を提供した。	計画額	0	0	0	319	319	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	319	319		
			決算額	0	0	0	222	222		
H28	人権・同和教育に関する資料を市広報誌に掲載することや学校を通じて配布することで、啓発を行う。 ・広報誌掲載 ・人権・啓発資料学校配布 ・人権・同和啓発作品募集・展示・文集作成配布	親子で人権について考え、じんけんフェスタ等で作品展示をすることにより人権問題を身近に感じてもらえる機会を提供した。また、辛立文化センターにて標語作品を2か月間(10～11月)展示を行った。	計画額	0	0	0	310	310	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	277	277		
			決算額	0	0	0	209	209		
H29	人権・同和教育に関する資料を市広報誌に掲載することや学校を通じて配布することで、啓発を行う。 ・広報誌掲載 ・人権・啓発資料学校配布 ・人権・同和啓発作品募集・展示・文集作成配布		計画額	0	0	0	310	310		
			当初予算額	0	0	0	250	250		
			決算額							
H30	人権・同和教育に関する資料を市広報誌に掲載することや学校を通じて配布することで、啓発を行う。 ・広報誌掲載 ・人権・啓発資料学校配布 ・人権・同和啓発作品募集・展示・文集作成配布		計画額	0	0	0	310	310		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	幼・小・中学校への依頼回数	人権・同和啓発作品簿募集・展示・文集作成配布回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	4	計画値	4	計画値	4	計画値	4	
					実績値	4	実績値	4	実績値		実績値		
活動指標	広報「さめき」掲載回数	広報「さめき」に『人権教育シリーズ』を掲載した回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12	
					実績値	12	実績値	12	実績値		実績値		
成果指標	人権・同和教育作品応募数	幼・小・中学生から応募があった作品数(標語・作文・習字・硬筆・ポスター)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	点	計画値	300	計画値	300	計画値	300	計画値	300	
					実績値	223	実績値	232	実績値		実績値		
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	17点 /25点	4点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		2点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	小学校等の統廃合や児童生徒数の減少により、作品募集件数が伸び悩んでいるが、人権教育をさらに推進するために、継続して啓発活動を取組むものである。						新聞・雑誌の購入などにより、常に情報の収集に努めるとともに、人権意識を高め、業務に反映する。 また、人権作文集製作に関しては増刷要望があるなど、事業効果が認められるため今後も継続していきたい。事業統合に関しては、今後検討していきたい。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校給食事業
-----	--------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成29年6月29日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	45	学校給食費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 全ての市立幼稚園、小中学校に安全でおいしい学校給食を提供し、食育の推進を図るため、学校給食共同調理場を管理運営する事業である。	市内の幼稚園・小学校・中学校に安全でおいしい給食を提供し、食育の推進を図ることを目的とする。	計画額	0	0	880,929	384,531	1,265,460	—	—
			当初予算額	0	0	680,498	370,056	1,050,554		
			決算額	0	0	449,520	155,508	605,028		
H27	2か所の共同調理場において、年間約200日・1日約4,600食の学校給食の調理、提供を行った。また、老朽化した施設設備を計画的に整備するため、大川調理場においてコンベクションオープンの更新や空調設備の増設を、志度調理場において食器・食缶洗浄機の一部の更新を行った。	・計画していた大型調理機等の更新を行い、調理の効率化を図った。	計画額	0	0	223,929	96,531	320,460	0.0	0.0
			当初予算額	0	0	223,929	96,531	320,460		
			決算額	0	0	215,742	94,573	310,315		
H28	共同調理場2か所において、年間約200日・1日約4,300食の学校給食の調理、提供を行った。また、大川調理場ではコンベクションオープン、志度調理場では食缶洗浄機等、老朽化した施設設備を計画的に更新した。	・計画していた大型調理機等の更新を行い、調理の効率化及び安全化を図った。 ・安全な調理体制を構築するため、調理班をを編成し班長制度の導入を検討した。	計画額	0	0	220,000	96,000	316,000	14.1	35.0
			当初予算額	0	0	247,370	132,688	380,058		
			決算額	0	0	233,778	60,935	294,713		
H29	2か所の共同調理場において、年間約200日・1日約4,300食の学校給食の調理、提供を行う。また、老朽化した施設設備の計画的な整備を行う。		計画額	0	0	219,000	96,000	315,000	13.1	36.0
			当初予算額	0	0	209,199	140,837	350,036		
			決算額							
H30	2か所の共同調理場において、年間約200日・1日約4,200食の学校給食の調理、提供を行う。また、老朽化した施設設備の計画的な整備を行う。		計画額	0	0	218,000	96,000	314,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	給食実施日数	年間の給食実施日数(調理場の稼働日数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	日	計画値 202	実績値 201	計画値 203	実績値 202	計画値 204	実績値	計画値 202	実績値	
	1日当たりの調理食数	2か所の調理場における5月1日現在の1日当たりの調理食数の合計数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	食	計画値 4,588	実績値 4,588	計画値 4,386	実績値 4,386	計画値 4,300	実績値	計画値 4,222	実績値	
成果指標	地場産物使用率	学校給食に使用した食品総数に占める、県内産の食品数の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 31	実績値 31	計画値 32	実績値 33	計画値 32	実績値	計画値 33	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	19点 /25点	5点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	建設から大川学校給食共同調理場は平成12年4月から供用開始後17年、志度学校給食共同調理場は平成8年4月(平成25年度大規模改修)から供用開始後19年、それぞれ経過しており、各調理場における調理器具類や洗浄機等の不具合や故障等については、必要に応じて修繕を行っておりますが、故障個所の増加に伴い修繕等に要する費用は増加傾向をたどっている。 また、さぬき市定員適正化計画に基づき、調理員の非正規職員が増加傾向にある。このような現状を考慮し、施設の統廃合を含めた長期的な計画策定を検討する。						経年劣化による施設修繕費の増大や非正規職員の増加、児童生徒の減少に伴う調理食数の減少など様々な課題があるが、総合計画の主要施策としている「生きる力」を育む学校教育の充実を図るため、「安全でおいしい学校給食」を提供するとともに、栄養教諭などを活用した地産地消や食育を推進する重要な事業である。 今後は、異物混入や食中毒を発生させないような調理体制を堅持しながら、施設の老朽化や調理食数の減少の状況を考慮し、施設統合等を長期的に検討することとしている。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	教育相談体制支援事業
-----	------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 児童生徒、保護者や教職員に対する相談活動に応じ、学校における教育相談体制の整備を図るため、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員及びスクールカウンセラーを派遣、配置する。	専門的な立場から児童生徒、保護者や教職員からの相談に応じ、支援を行うことにより、児童生徒の問題行動の未然防止、早期発見及び早期解決を図る。	計画額	13,248	0	0	14,526	27,774	—	—
			当初予算額	8,898	0	0	14,195	23,093		
			決算額	4,274	0	0	4,885	9,159		
H27	※H28年度から学校問題支援アドバイザー配置事業、心の教室相談員設置事業、スクールカウンセラー配置事業を本事業に一本化。		計画額						-	-
			当初予算額							
			決算額							
H28	具体的取組 ・嘱託のスクールソーシャルワーカー3人を小中学校に派遣 ・児童生徒の身近な相談に応じる心の教室相談員を小中学校に配置 ・スクールカウンセラーを県から小中学校に派遣(12学級以上の小学校への追加派遣分に対し負担金を支出)	・スクールソーシャルワーカーを各中学校に一人ずつ配置した。 ・心の教室相談員を小中連携の観点から中学校に増員した。	計画額	4,416	0	0	4,842	9,258	0.9	3.5
			当初予算額	4,458	0	0	7,166	11,624		
			決算額	4,274	0	0	4,885	9,159		
H29	・嘱託のスクールソーシャルワーカー3人を小中学校に派遣 ・児童生徒の身近な相談に応じる心の教室相談員を小中学校に配置 ・スクールカウンセラーを県から小中学校に派遣(12学級以上の小学校への追加派遣分に対し負担金を支出)		計画額	4,416	0	0	4,842	9,258		
			当初予算額	4,440	0	0	7,029	11,469		
			決算額							
H30	・嘱託のスクールソーシャルワーカー3人を小中学校に派遣 ・児童生徒の身近な相談に応じる心の教室相談員を小中学校に配置 ・スクールカウンセラーを県から小中学校に派遣(12学級以上の小学校への追加派遣分に対し負担金を支出)		計画額	4,416	0	0	4,842	9,258		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	スクールソーシャルワーカーの配置校数	スクールソーシャルワーカーを派遣した学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	-	計画値	12	計画値	11	計画値	11	
	心の教室相談員の年間勤務時間数	心の教室相談員が勤務し、児童と関わった年間時間数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値	-	計画値	1,724	計画値	1,724	計画値	1,724	
成果指標	スクールソーシャルワーカーが支援した児童生徒のうち問題が好転及び解決した割合	支援の対象となった児童生徒数のうち問題が解決及び支援中であるが好転した児童生徒の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	-	計画値	小学生40.0 中学生30.0	計画値	小学生40.0 中学生30.0	計画値	小学生40.0 中学生30.0	
	児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数	児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	-	計画値	小学生1.5 中学生28.0	計画値	小学生1.5 中学生28.0	計画値	小学生1.5 中学生28.0	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	5点		23点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	支援を必要とする児童生徒については、様々な要因を背景に抱えており、それぞれの状況や置かれていた立場をスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心の教室相談員が理解し、専門性を生かした継続的な働き掛けが必要である。また、児童生徒が発するSOSを見逃さないように多方面からの視点で支援することも重要であり、健康福祉部子育て支援課など必要に応じて他の機関との連携を図っており、一定の成果を収めている。						子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、不登校やいじめ、発達障害、虐待など様々な悩みを抱えて児童生徒を支援するため、専門的知識を有するスクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)、心の教室相談員を配置することで、学校と家庭との連携を図ることで児童生徒の就学を支援する必要がある。 なお、これら相談の解消には、健康福祉部や香川県などとの連携を強化することも重要であることから、配置しているSCやSSW等を専門的な見地から指導助言する社会福祉士の事務局への配置も必要と考えている。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	児童就学援助事業
-----	----------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	10	教育振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 経済的理由により、就学が困難な児童の家庭に対して、学校生活に要する費用の一部を援助する事業である。また、特別支援学級に在籍する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力に応じて必要な援助を行う事業である。	経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、就学援助費を支給することにより、就学を支援し、もって義務教育の円滑な実施に資する。	計画額	1,336	0	0	62,128	63,464	—	—
			当初予算額	1,973	0	0	47,432	49,405		
			決算額	1,304	0	0	28,096	29,400		
H27	具体的取組 就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給した。	就学援助費支給要綱に基づき、対象者の認定及び援助費の支給を行ったほか、マイナンバー条例施行に伴い所要の要綱改正を行った。	計画額	334	0	0	15,532	15,866	0.1	0.0
			当初予算額	334	0	0	15,532	15,866		
			決算額	636	0	0	13,815	14,451		
H28	具体的取組 就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。	新入学児童生徒学用品費等の支給単価及び支給時期の前倒しについて検討を行った。	計画額	334	0	0	15,532	15,866	0.2	0.0
			当初予算額	717	0	0	16,232	16,949		
			決算額	668	0	0	14,281	14,949		
H29	具体的取組 就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。		計画額	334	0	0	15,532	15,866		
			当初予算額	922	0	0	15,668	16,590		
			決算額							
H30	具体的取組 就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。		計画額	334	0	0	15,532	15,866		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	就学援助費平均支給額	要保護及び準要保護児童生徒就学援助費の児童1人当たり平均支給額(年間支給額÷受給者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	68	計画値	68	計画値	68	計画値	68	
					実績値	66	実績値	68	実績値		実績値		
活動指標	就学奨励費平均支給額	特別支援教育就学奨励費の児童1人当たり平均支給額(年間支給額÷受給者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	32	計画値	32	計画値	32	計画値	32	
					実績値	33	実績値	32	実績値		実績値		
成果指標	就学援助費受給率	小学校の全児童数のうち、就学援助費の支給を受けている者の割合(認定児童数÷全児童数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	8.0	計画値	8.0	計画値	8.0	計画値	8.0	
					実績値	8.3	実績値	8.7	実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点	5点	23点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
							／25点	5点	／25点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	義務教育の円滑な実施を目的に、経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、給食費や学用品の購入等に要する費用を継続的に支給する必要があるため、現在の支給水準を維持する必要がある。 また、平成29年度には、新入学児童生徒学用品等の支給単価を国の補助単価改定に合わせて増額改定するとともに、支給時期についても、これまで他の支給費目と合わせて7月支給としていたものを、4月及び5月に前倒して支給を行った。 今後については、必要な援助が適切な時期に実施されるようにという国の取組の趣旨に鑑み、平成30年度以降の新入学児童については、入学前の3月に支給できるよう、申請手続及び周知方法等の見直しを行う必要がある。						経済的理由により就学困難な児童の保護者への支援については、学校教育法第19条の規定により、市町村において適切に実施されなければならないこととされている。また、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的に、子どもの貧困対策の推進に関する法律が施行され、同法第10条の規定により、地方公共団体は、就学の援助、学資の援助その他の貧困の状況にある子どもの教育に関する支援のために必要な施策を講ずるものとされている。これらの規定の趣旨を踏まえ、保護者の経済的な状況に応じた就学援助を適切に実施していく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	民間幼稚園運営事業(旧私立幼稚園補助事業)
-----	-----------------------

担当課	子育て支援課幼保連携推進室
-----	---------------

記入日	平成29年7月12日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	【就園奨励費補助】私立幼稚園に通う園児を持つ保護者の経済的負担の軽減等を目的に、保育料の一部を補助する。 【施設型給付】私立幼稚園の教育・保育ニーズに応じて必要となる経常的経費を、保護者に対する個人給付として支給する。(施設が代理受領)	私立幼稚園に通う園児を持つ保護者の経済的負担軽減と私立幼稚園への就園機会の拡充を図る。	計画額	4,068	0	0	13,527	17,595	—	—
			当初予算額	32,417	0	0	19,299	51,716		
			決算額	1,975	0	0	4,538	6,513		
H27	※学校教育課から移管。		計画額						-	-
			当初予算額							
			決算額							
H28	世帯の所得や兄弟(姉妹)の状況に応じて保育料及び入園料を減免し、保護者の経済的負担の軽減を行なった私立幼稚園設置者に対し、幼稚園就園奨励費補助金を交付。(対象者52名)28年度については、施設型給付対象施設は該当なし。	私立幼稚園に通う園児を持つ保護者の経済的負担軽減と私立幼稚園への就園機会の拡充を図るとともに、公立幼稚園と私立幼稚園の保護者負担の格差を解消した。	計画額	1,356	0	0	4,509	5,865	0.3	0.0
			当初予算額	1,369	0	0	4,521	5,890		
			決算額	1,975	0	0	4,538	6,513		
H29	世帯の所得や兄弟(姉妹)の状況に応じて保育料及び入園料を減免し、保護者の経済的負担の軽減を行なった私立幼稚園設置者に対し、幼稚園就園奨励費補助金を交付。新制度移行幼稚園に対して、さぬき市が認定した1号認定こどもを教育・保育するために必要となる経常的経費を施設に給付。		計画額	1,356	0	0	4,509	5,865		
			当初予算額	31,048	0	0	14,778	45,826		
			決算額							
H30	世帯の所得や兄弟(姉妹)の状況に応じて保育料及び入園料を減免し、保護者の経済的負担の軽減を行なった私立幼稚園設置者に対し、幼稚園就園奨励費補助金を交付。新制度移行幼稚園に対して、さぬき市が認定した1号認定こどもを教育・保育するために必要となる経常的経費を施設に給付。		計画額	1,356	0	0	4,509	5,865		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	補助対象園児数	私立幼稚園通園児童のうち負担軽減対象園児数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	41	計画値	41	計画値	41	計画値	41
					実績値	41	実績値	52	実績値		実績値	
成果指標	対象園児一人当たりの負担軽減金額	対象園児一人当たりの負担経費金額(補助金支出総額÷対象園児数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	143	計画値	143	計画値	143	計画値	143
					実績値	129	実績値	125	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点		4点		17点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点			4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点			3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点			3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点			3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	本市においても、私立幼稚園の役割は、年々重要性を増している。比較的柔軟に活用できる預かり保育の実施、特徴のある教育理念に基づいた教育・保育さらには満3歳から教育を受けられる環境等は、公立幼稚園にはない私立幼稚園ならではの特性である。今後、多様化する保護者ニーズへの対応、保護者の選択肢の拡大等を考えると、私立幼稚園に対する本事業は現状維持としたい。						私立幼稚園については、特色のある教育理念に基づき就学前教育を行っていることから、保護者のニーズもある。したがって、保護者の選択肢を私立幼稚園とするためにも事業を継続する必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園施設整備事業
-----	-----------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 幼稚園施設の適正・効率的な整備を行い、良好な教育環境の維持を図る。	幼稚園施設の危険箇所、破損箇所等を聞き取りや現場確認により把握し、工事、修繕を行うことで、施設の環境改善、安全確保を図る。	計画額	0	0	0	27,988	27,988	—	—
			当初予算額	0	0	0	18,722	18,722		
			決算額	0	0	0	15,200	15,200		
H27	主に幼稚園施設の改修工事及び営繕工事を実施した。	緊急性の高い箇所については、優先的に改修・修繕工事を実施し、教育環境の改善及び園児の安全確保に努めた。	計画額	0	0	0	4,988	4,988	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	4,988	4,988		
			決算額	0	0	0	6,018	6,018		
H28	具体的に取組 主に幼稚園施設の改修工事及び営繕工事を実施する。	幼稚園からの修繕要望に対して、現地調査により緊急性や危険性を判断し、優先順位を付けて工事、修繕を実施した結果、良好な教育環境を維持することができた。	計画額	0	0	0	6,000	6,000	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	9,047	9,047		
			決算額	0	0	0	9,182	9,182		
H29	主に幼稚園施設の改修工事及び営繕工事を行う経費である。		計画額	0	0	0	8,000	8,000		
			当初予算額	0	0	0	4,687	4,687		
			決算額							
H30	主に幼稚園施設の改修工事及び営繕工事を行う経費である。		計画額	0	0	0	9,000	9,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	修繕件数	劣化又は故障した施設・設備の効用を回復させた修繕及び工事の件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	16	計画値	16	計画値	24	計画値	24
					実績値	27	実績値	8	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	4	実績値	0	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	20点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止				<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	<p>老朽化が進んでいる幼稚園施設については、計画的な修繕及び大規模な改修が必要である。また、近年、遊具の経年劣化や屋上防水シートの劣化による雨漏り等が多発していることから、今後は事業を拡充して計画的に修繕を実施していく必要がある。</p>				<p>良好な教育環境を維持していくためには、必要不可欠な事業であるが、予算的な制約の中で優先度を加味しながら取り組んでいく必要があるため。</p>							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園施設管理事業(教育総務課分)
-----	-------------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	公立幼稚園8園の運営及び施設の維持管理を行う事業である。	事務の効率化及び施設の定期点検による安全確保等を図る。	計画額	0	0	1,941	25,985	27,926	—	—
			当初予算額	67	0	2,722	15,274	18,063		
			決算額	0	0	0	11,130	11,130		
H27	市立各幼稚園の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施した。	保守点検結果に基づいた修繕等により施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	1,541	4,765	6,306	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	1,571	4,765	6,336		
			決算額	0	0	0	5,646	5,646		
H28	市立各幼稚園の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施する。	保守点検結果に基づいた修繕等を実施したことにより施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	0	7,420	7,420	0.2	0.0
			当初予算額	67	0	1,151	4,513	5,731		
			決算額	0	0	0	5,484	5,484		
H29	市立各幼稚園の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	183	7,517	7,700		
			当初予算額	0	0	0	5,996	5,996		
			決算額							
H30	市立各幼稚園の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	217	6,283	6,500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	保守点検回数	施設の安全性を確保するために行った保守点検の回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	36	計画値	36	計画値	36	計画値	36
					実績値	36	実績値	36	実績値		実績値	
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	4	実績値	0	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	19点 /25点	4点	21点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	消防設備や遊具等の幼稚園設備については、保守点検により施設の安全が確保されており、今後も継続的に実施していく必要がある。				定期的な設備の保守点検を実施することは、安全性の確保に繋がることから、今後も継続していく必要があるため。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園預かり保育事業
-----	------------

担当課	子育て支援課幼保連携推進室
-----	---------------

記入日	平成29年7月12日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 少子高齢化の中、地域の実態や保護者ニーズに応じて、家庭と連携した子育て支援を図るため、通常教育時間終了後、長期休業期間中及び7時30分から8時30分までの早朝に幼稚園の責任の下、預かり保育を実施する事業である。	少子高齢化の中、地域の実態や保護者ニーズに応じて、家庭と連携した子育て支援を図るため、通常教育時間終了後、長期休業期間中及び7時30分から8時30分までの早朝に幼稚園の責任の下、預かり保育を実施	計画額	0	0	25,614	9,237	34,851	—	—
			当初予算額	1,136	0	19,775	2,102	23,013		
			決算額	0	0	9,820	0	9,820		
H27	※学校教育課から移管。		計画額						-	-
			当初予算額							
			決算額							
H28	具体的取組 保護者のニーズに応じた子育て支援の一環として、預かり保育指導員を雇用し、幼稚園教育時間の終了後等に預かり保育を実施する。	生活補助員を教育時間終了後に預かり保育指導員として雇用し、幼児の支援の充実を図った。	計画額	0	0	8,538	3,079	11,617	3.8	13.1
			当初予算額	0	0	9,682	1,533	11,215		
			決算額	0	0	9,820	0	9,820		
H29	保護者のニーズに応じた子育て支援の一環として、預かり保育指導員を雇用し、幼稚園教育時間の終了後等に預かり保育を実施する。		計画額	0	0	8,538	3,079	11,617		
			当初予算額	1,136	0	10,093	569	11,798		
			決算額							
H30	保護者のニーズに応じた子育て支援の一環として、預かり保育指導員を雇用し、幼稚園教育時間の終了後等に預かり保育を実施する。		計画額	0	0	8,538	3,079	11,617		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	預かり保育指導員数	預かり保育に携わる臨時職員(預かり保育指導員)の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	9	計画値	9	計画値	9	計画値	9
					実績値	12	実績値	12	実績値		実績値	
成果指標	預かり保育利用人数	預かり保育を利用した園児数(年度末) 年間: 140人(H27) 136人(H28) 一時: 45人(H27) 34人(H28)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200
					実績値	185	実績値	170	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	17点 /25点	4点	16点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	2点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	預かり保育は、職業などは持っているが、子どもを幼稚園に通わせたいという保護者に対する必要な支援策であるとともに、家庭や地域の教育力を補完し、その再生向上につながる意義を持っている。また、保育所(園)の待機児童を解消するための有効な施策であることから、本事業は、現状維持としたい。						現状、保育所において国の定義する待機児童が発生していないのは、本事業の成果であると認識している。 当面の間は、本事業を継続とし、保護者ニーズに応えたい。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校再編計画推進事業
-----	------------

担当課	学校再編対策室
-----	---------

記入日	平成29年7月18日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	学校等の統合に関し保護者・地域・学校等との意見交換、協議、検討を行い、学校等の施設・設備環境の整備に必要な業務を実施する。	文科省の教育指針、学校再編計画や本市教育指針等を踏まえ、より良い学習環境を提供できるよう説明会等により理解を深め、意見聴取、協議、検討し、子どもの健全育成を図ることを目的とする。	計画額	0	95,300	0	15,230	110,530	—	—
			当初予算額	0	95,300	0	12,773	108,073		
			決算額	0	62,500	0	9,439	71,939		
H27	学校等の統合のため、関係者等に対する説明会等を実施するなど、意見を聴取し、統合の時期・場所等について決定した。「前山・長尾小学校」の統合に際し、保護者又は地域説明会を実施(計4回)。「神前・石田小学校」の統合に際し、保護者又は地域説明会を実施(計12回)。「津田地区の幼稚園及び保育所」の統合に関する保護者説明会を実施(計4回)	次年度における小学校の統合に関する統合準備委員会等を設置し、統合についての詳細事項を決定した。	計画額	0	0	0	3,445	3,445	0.7	0.1
			当初予算額	0	0	0	3,445	3,445		
			決算額	0	0	0	2,935	2,935		
H28	H29統合「前山・長尾小学校」保護者協議会は、計4回実施。また、統合に伴う前山小学校の備品移転業務を実施。H31統合「神前・石田小学校」統合準備委員会は、計5回実施。また、標準服・体操服選定委員会は、計3回実施。H31統合「津田町幼稚園・保育所」については、新園舎建築予定地の旧津田中学校の解体工事を実施。	保護者協議会では、通学方法の協議決定を行い、統合準備委員会では、学校名称や、校章・校歌について協議・決定した。なお、この協議内容及び結果については、お知らせ等により、地域にも情報提供を行った。	計画額	0	95,300	0	7,245	102,545	0.8	0.1
			当初予算額	0	95,300	0	7,245	102,545		
			決算額	0	62,500	0	6,504	69,004		
H29	学校再編計画推進のため、関係者に対する説明会又は統合準備委員会等を実施するなどし、意見聴取するとともに、理解を深め、統合に関する詳細を決定する。		計画額	0	0	0	2,270	2,270		
			当初予算額	0	0	0	2,083	2,083		
			決算額							
H30	学校再編計画推進のため、関係者に対する説明会又は統合準備委員会等を実施するなどし、意見聴取するとともに、理解を深め、統合に関する詳細を決定する。		計画額	0	0	0	2,270	2,270		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	統合準備委員会及び保護者説明会等の実施回数	小学校等の統合に関する保護者説明会、地域説明会、統合準備委員会等の実施回数を示す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 10	実績値 20	計画値 5	実績値 12	計画値 4	実績値	計画値 4	実績値	
	統合に関する情報提供についての実施回数	統合に関する説明会、統合準備委員会などの決定事項について、広報、たより等により関係地域に対し情報提供した実施回数を示す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 2	実績値 2	計画値 2	実績値 6	計画値 4	実績値	計画値 4	実績値	
成果指標	統合に関する進捗状況	学校再編計画に示す学校等の統合に関し、その進捗状況を数値化する。小14校1分校を6校、中6校を3校、幼12園1分園を6園(15/34) ・当該年度末学校(園)数/計画学校(園)数15	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 71	実績値 71	計画値 71	実績値 71	計画値 75	実績値	計画値 75	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	5点	23点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点	5点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	当初、市内では幼稚園12園1分園、小学校14校1分校、中学校6校に対し、少子化が顕著となったことで、幼稚園6園、小学校6校、中学校4校に統合する学校再編計画を策定した。計画の最終年度となるH29までに、幼稚園8園、小学校8校、中学校3校(生徒減少が著しいため計画変更)まで統合が完了する。計画から2年遅れではあるが、H31には津田地区に設置する認定こども園を含め幼稚園7園、神前・石田小学校の統合により小学校6校まで統合を予定している。その後については、長尾及び造田小学校、同地区幼稚園、同地区中学校の施設老朽化が著しいことから、これら施設の改修・改築も念頭に、人口と社会情勢を勘案しながら、長尾地区に適した学校再編の検討を継続する必要がある。今年度以降の計画について、推進・検討を要することから、引き続き本事業を実施する。						本市における少子化が進む中、学校の規模が小規模になってきており、このため、多様な見方や考え方に触れる機会が少なくなっていることに加え、子どもたちの間での切磋琢磨による相乗効果が図れにくくなっている状況である。また、市内の学校(園)においては、老朽化が著しくなっていることから、安心、安全な学校生活にも懸念がある。 このため、市内における適正な学校規模を確保すること及び学習環境の公平性を保ち、より良い学習環境を提供する必要があることから、「さぬき市学校再編計画」に基づき、学校の再編を進めてきた。 今後は、長尾地区の小中学校の施設の方向性を検討するとともに、長尾地区における就学前教育及び小中学校等のあり方を検討する必要があることから、今後も事業を継続する。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公立学校施設台帳図面整備事業
-----	----------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	公立学校施設台帳システムを整備し、学校施設の適切な情報管理を行う。	学校施設の施設情報や大規模改修履歴等の情報をシステムにて管理する。	計画額	0	0	0	924	924	—	—
			当初予算額	0	0	0	724	724		
			決算額	0	0	0	724	724		
H27	公立学校施設台帳システムの最新情報の登録処理 (登録処理対象施設:さぬき南小学校・さぬき南幼稚園・志度中学校)	前年度に整備したさぬき南小学校、さぬき南幼稚園及び志度中学校の施設データを更新した。	計画額	0	0	0	724	724	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	724	724		
			決算額	0	0	0	724	724		
H28	公立学校施設台帳システムの最新情報の登録処理 ※志度中学校改修に伴う登録処理を予定していたが、校舎面積の増減等の作業が不要となったことから、28年度は事業を実施しない。	業者による登録処理を必要とする施設の新設や変更、面積増減等は無かったため、各学校施設の教室配置に基づく教室属性の更新のみ行った。	計画額	0	0	0	200	200	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H29	公立学校施設台帳システムの最新情報の登録処理 (登録処理対象施設未定のため事業計画額も未定)		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額							
H30	公立学校施設台帳システムの最新情報の登録処理 (登録処理対象施設未定のため事業計画額も未定)		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	登録処理件数	整備した学校施設の情報を登録処理した件数。 (登録処理対象施設が生じた場合に計上)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	3	計画値	0	計画値	0	計画値	0
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	3	実績値	0	実績値		実績値	
成果指標	最新情報への更新比率	学校施設データを最新情報へ更新した比率。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	100	計画値	100	計画値	100	計画値	100
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	100	実績値	100	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	18点 /25点	3点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	公立学校施設台帳は、学校施設の施設規模・建築年月・構造等を把握するとともに、過去の大規模改修履歴や国庫補助金充当の有無、各施設の工事図面等、学校施設に係る様々な情報を管理している。また、毎年公立学校施設の実態調査が行われており、これについては文科省から指定されたデータ形式での提出しなければならないことから、今後も継続して管理する必要があると考える。						学校施設の情報を適切に管理するには、公立学校施設台帳システムへのデータ登録や更新作業を適宜行っていく必要があるため。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	遠距離通学児童生徒支援事業
-----	---------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年6月28日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 遠距離通学が必要になった児童生徒を対象としたスクールバスの運行事業である。	スクールバスを運行することにより、遠距離通学が必要な生徒の負担を軽減する。	計画額	0	0	0	439,671	439,671	—	—
			当初予算額	0	0	0	296,972	296,972		
			決算額	0	0	0	154,997	154,997		
H27	津田小(北山・鶴羽地区)・長尾小・中(多和地区)・志度小(末地区)・さぬき北小(小田・鴨部地区)・さぬき南中(田面地区)・志度中(小田・鴨部地区)・さぬき南小(田面地区他)においてスクールバスを運行した。	運行ルートは、乗車場所を含め、バスが安全に走行できる経路のなかで最短距離のものを選択した。また、全車両にスタッドレスタイヤを装着し、冬場の安全運行に努めた。	計画額	0	0	0	108,171	108,171	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	108,171	108,171		
			決算額	0	0	0	77,754	77,754		
H28	津田小(北山・鶴羽地区)・長尾小・中(多和地区)・志度小(末地区)・さぬき北小(小田・鴨部地区)・さぬき南中(田面地区)・志度中(小田・鴨部地区)・さぬき南小(田面地区他)においてスクールバスを運行する。	保護者に対する説明会の実施等により、運行経路、乗降時間の変更に対して理解を求め、安全かつ安価な運行経路を選択した。	計画額	0	0	0	108,500	108,500	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	94,484	94,484		
			決算額	0	0	0	77,243	77,243		
H29	津田小(北山・鶴羽地区)・長尾小・中(多和地区)・志度小(末地区)・さぬき北小(小田・鴨部地区)・さぬき南中(田面地区)・志度中(小田・鴨部地区)・さぬき南小(田面地区他)においてスクールバスを運行するため、受託業者所有バスを用いた輸送業務委託と、市所有バスを用いた運行管理業務委託及びその維持管理に必要な経費である。		計画額	0	0	0	111,500	111,500		
			当初予算額	0	0	0	94,317	94,317		
			決算額							
H30	津田小(北山・鶴羽地区)・長尾小・中(多和地区)・志度小(末地区)・さぬき北小(小田・鴨部地区)・さぬき南中(田面地区)・志度中(小田・鴨部地区)・さぬき南小(田面地区他)においてスクールバスを運行するため、受託業者所有バスを用いた輸送業務委託と、市所有バスを用いた運行管理業務委託及びその維持管理に必要な経費である。		計画額	0	0	0	111,500	111,500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	運行日数	スクールバスの年間運行便数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	便	計画値	6,653	計画値	6,320	計画値	6,300	計画値	6,300
					実績値	5,593	実績値	5,649	実績値		実績値	
成果指標	利用者数	スクールバスを利用して通学する児童・生徒の数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	442	計画値	424	計画値	450	計画値	450
					実績値	442	実績値	424	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	20点 /25点	5点	3点			22点 /25点
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点			4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点			5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点			5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点			5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	学校の統廃合により遠距離通学となった児童・生徒及び保護者の負担を軽減する手段として有効であり、登下校時の安全確保の観点からも継続が必要である。運行経路・乗降時間等については、今後、遠距離通学児童・生徒の数が減少していくことから、一人あたりのコストが増加しないよう保護者、地域、学校と十分な協議をおこない、運行計画の変更を検討していく。				遠距離通学に対する支援策としてのスクールバスの運行については、児童・生徒の負担軽減と安全確保の観点から、今後も継続して取り組んでいく必要がある。ただし、毎年の入学・卒業によって利用者が変動することを念頭に置きながら、効率的で経済的な運行経路等の見直しに努めていきたいため。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校パソコン管理事業
-----	-------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月6日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	情報教育の充実を図るため、小学校における児童のパソコン授業に使用する教育用パソコンと教員が校務で使用する校務用パソコンの維持管理事業である。	情報化社会に対応できる児童を育てる、情報教育の充実を図ることを目的とした事業である。	計画額	0	0	0	137,177	137,177	—	—
			当初予算額	0	0	0	80,123	80,123		
			決算額	0	0	0	74,502	74,502		
H27	小学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。	児童、教諭が安心して情報教育を受けられる環境を整えた。	計画額	0	0	0	28,577	28,577	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	0	28,577	28,577		
			決算額	0	0	0	25,772	25,772		
H28	小学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。教育委員会サーバを更新する。	機器の老朽化に伴い、教育ネットワークシステムにおけるセンターサーバ及びネットワーク機器の更新を実施した	計画額	0	0	0	37,700	37,700	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	51,546	51,546		
			決算額	0	0	0	48,730	48,730		
H29	学校ICT環境整備事業に統合		計画額	0	0	0	39,900	39,900		
			当初予算額							
			決算額							
H30	学校ICT環境整備事業に統合		計画額	0	0	0	31,000	31,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	教育用パソコンの貸借台数	小学校における教育用パソコンの貸借台数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	台	計画値	238	計画値	238	計画値	238	計画値	60
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	238	実績値	238	実績値		実績値	
成果指標	教育用コンピュータ1台当たりの児童数	市立小学校全児童数／教育用パソコン現有台数。 ※値が少ないほど、充実している。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	7	計画値	6	計画値	5	計画値	4
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	7	実績値	6	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	22点 ／25点	5点	23点 ／25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
今後の方向性理由	・国の目標値では、コンピュータ教室へ児童1人当たり1台の設置、普通、特別教室用コンピュータの設置及び校内LANの整備が求められている。特定の教科に限らずどの教科でも活用されるため当事業の有効性は高いと考える。 ・情報化社会に対応できる児童を育てるため、多様化するコンピューター学習に対応できるよう、教諭の研修にも努めていかななくてはならない。					今後、小学校においては学年によって、英語の教科化や英語活動が必須になることもあり、授業の効率性や効果をより高めるためにも、児童用パソコンの充実は必要であると考えたため。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校施設管理事業(学校教育課分)
-----	-------------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)	事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 小学校の学校運営及び施設の維持管理を行う事業である。	基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る。	計画額	0	0	80	429,312	429,392	—	—
			当初予算額	0	0	60	290,731	290,791		
			決算額	800	800	186	191,963	193,749		
H27	具体的取組 ・小学校9校の学校運営及び施設の維持管理 ・小学校教科書の改訂に伴う教師用教科書・指導書の購入 ・研究指定による授業等研究(県学力向上モデル校事業2校、県心の交流事業1校、市新設校教育研究事業2校、市ふるさと教育推進事業1校、その他1校)	・電気代節減のため、電力会社による研修を行ったほか、各校の電気代の推移をグラフ化し、節減の意識付けを行った。・学校事務職員に対し、会計課職員による適正な会計事務処理等についての研修を行った。	計画額	0	0	20	107,328	107,348	4.4	7.0
			当初予算額	0	0	20	107,328	107,348		
			決算額	800	0	136	101,320	102,256		
H28	具体的取組 ・小学校9校の学校運営及び施設の維持管理 ・前山小学校と長尾小学校の統廃合 ・研究指定による授業等研究(県学力向上モデル校事業1校、県心の交流事業2校、県道徳教育地域支援委託事業1校、市ふるさと教育推進事業1校)	・前山小学校と長尾小学校を統廃合 ・電気代節減のため、電力の入札を行い次年度以降の電気代の節減に向けた取り組みを行った。 ・児童用机椅子の整備(長尾小・造田小)	計画額	0	0	20	107,328	107,348	4.3	6.0
			当初予算額	0	0	20	95,261	95,281		
			決算額	0	800	50	90,643	91,493		
H29	具体的取組 ・小学校8校の学校運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	20	107,328	107,348		
			当初予算額	0	0	20	88,142	88,162		
			決算額							
H30	具体的取組 ・小学校8校の学校運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	20	107,328	107,348		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動 指標	小学校数	市立小学校の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	9	計画値	9	計画値	8	計画値	8	
					実績値	9	実績値	9	実績値		実績値		
活動 指標	研究指定事業に取り組む 小学校数	国・県・市等の指定を受け、授業研究等に取り組む延 べ小学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	7	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
					実績値	7	実績値	5	実績値		実績値		
成果 指標	児童一人当たりの学校運 営及び施設管理経費	学校運営及び施設管理に係る経費 (事業費決算額÷児童数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	42	計画値	42	計画値	42	計画値	42	
					実績値	42	実績値	40	実績値		実績値		
成果 指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	22点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の 方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	小学校の学校運営及び施設の維持管理を適切に行い、基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る必要がある。						次の世代を担う子どもたちが未来に向けて「生きる力」を確実に育むためには、学校における教育内容の充実を図る必要がある。また、そのためには、学校における良好な学習環境を整備するとともに、その維持管理を適切に行っていく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校施設整備事業
-----	-----------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 小学校施設の改修工事及び営繕補修を行う。	小学校施設の危険箇所、破損箇所等を聞き取りや現場確認により把握し、工事・修繕を行うことで、施設の環境改善、安全確保を図る。	計画額	0	0	0	37,354	37,354	—	—
			当初予算額	0	0	8,348	25,977	34,325		
			決算額	0	0	6,187	18,114	24,301		
H27	主に小学校施設の改修工事及び営繕工事を実施した。	緊急性の高い箇所から優先的に工事・修繕を実施し、教育環境の改善及び生徒の安全確保に努めた。	計画額	0	0	0	7,354	7,354	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	7,354	7,354		
			決算額	0	0	0	8,278	8,278		
H28	具体的取組 主に小学校施設の改修工事及び営繕工事を実施する。	学校からの修繕要望に対して、現地調査により緊急性や危険性を判断し、優先順位を付けて工事・修繕を実施した結果、良好な教育環境を維持することができた。	計画額	0	0	0	10,000	10,000	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	8,348	7,586	15,934		
			決算額	0	0	6,187	9,836	16,023		
H29	主に小学校施設の改修工事及び営繕工事を行う経費である。		計画額	0	0	0	10,000	10,000		
			当初予算額	0	0	0	11,037	11,037		
			決算額							
H30	主に小学校施設の改修工事及び営繕工事を行う経費である。		計画額	0	0	0	10,000	10,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	修繕件数	劣化又は故障した施設・設備の効用を回復させた修繕及び工事の件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	16	計画値	16	計画値	24	計画値	24
					実績値	23	実績値	21	実績値		実績値	
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	0	計画値	1	計画値	0	計画値	0
					実績値	3	実績値	1	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		3点	20点 /25点	4点		21点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止				<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	老朽化が進んでいる小学校施設については、計画的な修繕及び大規模な改修が必要である。また、近年、給水管の漏水や屋根の雨漏り等、経年劣化による突破的な修繕が多く発生しており、早期に修繕しないと学校運営に支障が出ることも想定されることから、今後は事業を拡充して修繕を実施していく必要がある。				良好な教育環境を維持していくためには、必要不可欠な事業であるが、予算的な制約の中で優先度を加味しながら取り組んでいく必要があるため。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校施設管理事業(教育総務課分)
-----	-------------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 小学校9校の学校運営及び施設の維持管理を行う事業である。	事務の効率化及び施設の定期点検による安全確保等を目的とする。	計画額	0	0	60	66,057	66,117	—	—
			当初予算額	0	0	0	49,388	49,388		
			決算額	0	0	0	31,265	31,265		
H27	各小学校の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施した。	保守点検結果に基づいた修繕等により、施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	0	17,025	17,025	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	17,025	17,025		
			決算額	0	0	0	15,836	15,836		
H28	具体的取組 各小学校の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施する。	保守点検結果に基づいた修繕等を実施したことにより、施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	20	17,072	17,092	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	16,201	16,201		
			決算額	0	0	0	15,429	15,429		
H29	各小学校の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	20	15,980	16,000		
			当初予算額	0	0	0	16,162	16,162		
			決算額							
H30	各小学校の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	20	15,980	16,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	保守点検回数。	施設の安全性を確保するために行った保守点検の回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	142	計画値	142	計画値	133	計画値	133	
					実績値	142	実績値	142	実績値		実績値		
成果指標	施設・設備の危険箇所数。	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	0	計画値	1	計画値	0	計画値	0	
					実績値	3	実績値	1	実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	19点 /25点	4点	21点 /25点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点							3点
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点							4点
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点							5点
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点							5点
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)								
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止								
理由	消防設備やエレベーター、遊具等の学校設備については、保守点検により安全な教育環境を維持できており、今後も継続的に実施していく必要がある。				定期的な設備の保守点検を実施することは、安全性の確保に繋がることから、今後も継続していく必要があるため。								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校統合事業
-----	---------

担当課	学校再編対策室
-----	---------

記入日	平成29年7月18日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	さぬき市の将来を担う子どもたちのよりよい学習環境を準備し、学校再編(統合)を円滑に進める。	平成20年6月に策定した「さぬき市学校再編計画」の後期計画期間の計画内容を具体的に推進し、円滑な学校の統合になるよう諸準備や調整を図る。	計画額	0	0	0	12,426	12,426	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,581	2,581		
			決算額	0	0	0	1,097	1,097		
H27	「長尾・前山小」及び「神前・石田小」の統合が円滑になるよう各統合校の児童間の交流学習の実施。 ・統合時期、位置が未定であったことから、事業実施を見送った。	平成28年度事業実施に向け、学校間での調整を依頼した。	計画額	0	0	0	476	476	0.7	0.1
			当初予算額	0	0	0	476	476		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	「長尾・前山小」の統合に伴う、児童間交流を実施。前山小の閉校による「閉校記念事業」に対する補助金を交付。「神前・石田小学校」の児童間交流の推進及び計画を実施。	学校規模や行事に応じて、大型バス等の借上げ、市所有バスの運行を、臨機応変に対応した。	計画額	0	0	0	4,200	4,200	0.3	0.1
			当初予算額	0	0	0	1,620	1,620		
			決算額	0	0	0	1,097	1,097		
H29	学校再編計画の後期計画期間で計画している該当学校の保護者等で組織する「統合準備委員会」を設置し、統合に向けての準備を進める。円滑な統合となるよう該当学校の児童交流学習を支援する。		計画額	0	0	0	600	600		
			当初予算額	0	0	0	485	485		
			決算額							
H30	学校再編計画の後期計画期間で計画している該当学校の保護者等で組織する「統合準備委員会」を設置し、統合に向けての準備を進める。円滑な統合となるよう該当学校の児童交流学習を支援する。加えて、閉校となる学校の「閉校記念事業補助金」を交付することにより、円滑な事業実施が図れるよう支援する。		計画額	0	0	0	7,150	7,150		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	交流(学習等)実施回数 (前山小学校分)	スムーズな統合に向け、児童間の交流を深めるために交流学習の実施回数(前山小学校分) ※28年度で終了。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	2	計画値		計画値	
					実績値	0	実績値	1	実績値		実績値	
活動指標	交流(学習等)実施回数 (神前・石田小学校分)	スムーズな統合に向け、児童間の交流を深めるために交流学習を実施する。(神前・石田小学校分)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	2	計画値	2
					実績値	0	実績値	0	実績値		実績値	
成果指標	交流平均時間数(前山小学校分)	円滑に統合できるよう両小学校の児童が共に過ごした延べ時間数で推し量る。 ・交流延べ時間数 ※28年度で終了。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値	2	計画値	4	計画値		計画値	
					実績値	0	実績値	5	実績値		実績値	
成果指標	交流平均時間数(神前・石田小学校分)	円滑に統合できるよう両小学校の児童が共に過ごした延べ時間数で推し量る。 ・交流延べ時間数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値	2	計画値	4	計画値	4	計画値	4
					実績値	0	実績値	0	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	22点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
方向性	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
今後の方向性	理由 小学校統合を進めるにあたり、児童の不安解消や新規学校へのスムーズな移行のため、児童間交流事業や、遠距離通学児童の負担軽減のため、スクールバス支援計画及び、それに伴うハード整備を行う必要がある。今後、予定されている神前・石田小学校の統合でも同事業の実施が必要であり、引き続き本事業を実施する。						理由 交流学習については、統合により新しい学習環境となるため、円滑な統合になるよう児童の不安の軽減を図ることを目的として、実施する必要があることに加え、神前及び石田小学校は、平成31年3月をもって閉校となることから、これに係る閉校記念事業に対する補助金の交付、閉校に万全を期するため、備品移転等を完了させる必要があることから、本事業については、今後も継続する。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校パソコン管理事業
-----	-------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月6日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	情報教育の充実を図るため、中学校における生徒のパソコン授業に使用する教育用パソコンと教員が校務で使用する校務用パソコンの維持管理事業である。	情報化社会に対応できる生徒を育てる、情報教育の充実を図ることを目的とした事業である。	計画額	0	0	0	75,503	75,503	—	—
			当初予算額	0	0	0	38,559	38,559		
			決算額	0	0	0	30,708	30,708		
H27	中学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。	生徒、教諭が安心して情報教育を受けられる環境を整えた。	計画額	0	0	0	15,103	15,103	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	0	15,103	15,103		
			決算額	0	0	0	9,642	9,642		
H28	中学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。教育委員会サーバを更新する。	機器の老朽化に伴い、教育ネットワークシステムにおけるセンターサーバ及びネットワーク機器の更新を実施した	計画額	0	0	0	17,800	17,800	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	23,456	23,456		
			決算額	0	0	0	21,066	21,066		
H29	学校ICT環境整備事業に統合		計画額	0	0	0	20,800	20,800		
			当初予算額							
			決算額							
H30	学校ICT環境整備事業に統合		計画額	0	0	0	21,800	21,800		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	教育用パソコンの賃借台数	中学校における教育用パソコンの賃借台数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	台	計画値	80	計画値	80	計画値	80	計画値	30
					実績値	80	実績値	130	実績値		実績値	
成果指標	教育用コンピュータ1台当たりの生徒数	市立中学校全生徒数／教育用パソコン現有台数 ※値が少ないほど、充実している。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	8	計画値	7	計画値	6	計画値	5
					実績値	8	実績値	5	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	22点 ／25点	5点		23点 ／25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		5点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由	・国の目標値では、コンピュータ教室へ生徒1人当たり1台の設置、普通、特別教室用コンピュータの設置及び校内LANの整備が求められている。特定の教科に限らずどの教科でも活用されるため当事業の有効性は高いと考える。 ・情報化社会に対応できる生徒を育てるため、多様化するコンピューター学習に対応できるよう、教諭の研修にも努めていかななくてはならない。						今後は、中学校においても生徒1人当たり1台のパソコンまたはタブレットの配置を目指し、ICT環境の充実整備に努めていきたいため。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校施設整備事業
-----	-----------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)	事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 中学校施設の適正・効率的な整備を行い、良好な教育環境の維持を図る。	中学校施設の危険箇所、破損箇所等を聞き取りや現場確認により把握し、工事・修繕を行うことで施設の環境改善、安全確保を図る。	計画額	0	0	0	12,700	12,700	—	—
			当初予算額	0	0	30,000	9,384	39,384		
			決算額	0	0	28,423	9,614	38,037		
H27	主に中学校施設の改修工事及び営繕補修を実施した。	緊急性の高い箇所から優先的に工事・修繕を実施し、教育環境の改善及び生徒の安全確保に努めた。	計画額	0	0	0	2,800	2,800	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,800	2,800		
			決算額	0	0	0	2,726	2,726		
H28	具体的に取組 主に中学校施設の改修工事及び営繕補修を実施する。	学校からの修繕要望に対して、現地調査により緊急性や危険性を判断し、優先順位を付けて工事、修繕を実施した結果、良好な教育環境の維持することができた。	計画額	0	0	0	2,900	2,900	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	30,000	5,679	35,679		
			決算額	0	0	28,423	6,888	35,311		
H29	主に中学校施設の改修工事及び営繕補修を行う経費である。		計画額	0	0	0	3,500	3,500		
			当初予算額	0	0	0	905	905		
			決算額							
H30	主に中学校施設の改修工事及び営繕補修を行う経費である。		計画額	0	0	0	3,500	3,500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	修繕件数	劣化又は故障した施設・設備の効用を回復させた修繕及び工事の件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	6	計画値	6	計画値	9	計画値	9
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	13	実績値	6	実績値		実績値	
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	0	実績値	1	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	20点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
今後の方向性	理由 施設の老朽化が顕著である長尾中学校については、施設の状況把握に努め、計画的に修繕を実施することで、生徒の安全確保、教育環境の維持に努める。					理由 良好な教育環境を維持していくためには、必要不可欠な事業であるが、予算的な制約の中で優先度を加味しながら取り組んでいく必要があるため。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校施設管理事業(学校教育課分)
-----	-------------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	中学校の学校運営及び施設の維持管理を行う事業である。	基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る。	計画額	0	0	200	230,492	230,692	—	—
			当初予算額	0	0	110	170,623	170,733		
			決算額	565	0	58	99,074	99,697		
H27	・中学校3校の学校運営及び施設の維持管理 ・研究指定による授業等研究(県心の交流事業2、市統合校教育研究事業2校、市ふるさと教育推進事業1校、その他1校)	・電気代節減のため、電力会社による研修を行ったほか、各校の電気代の推移をグラフ化し、節減の意識付けを行った。 ・学校事務職員に対し、会計課職員による適正な会計事務処理等についての研修を行った。	計画額	0	0	50	57,623	57,673	1.4	1.0
			当初予算額	0	0	50	57,623	57,673		
			決算額	345	0	41	45,018	45,404		
H28	・中学校3校の学校運営及び施設の維持管理 ・中学校教科書の改訂に伴う教師用教科書・指導書の購入 ・研究指定による授業等研究(県心の交流事業1、市ふるさと教育推進事業1校)	・電気代節減のため、電力の入札を行い次年度以降の電気代の節減に向けた取り組みを行った。 ・生徒用机椅子の整備(長尾中)	計画額	0	0	50	57,623	57,673	1.3	2.0
			当初予算額	0	0	30	60,429	60,459		
			決算額	220	0	17	54,056	54,293		
H29	・中学校3校の学校運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	50	57,623	57,673		
			当初予算額	0	0	30	52,571	52,601		
			決算額							
H30	・中学校3校の学校運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	50	57,623	57,673		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動 指標	中学校数	市立中学校の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値	3	
					実績値	3	実績値	1	実績値		実績値		
活動 指標	研究指定事業に取り組む 中学校数	国・県・市等の指定を受け、授業研究等に取り組む延 べ中学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	6	計画値	3	計画値	3	計画値	3	
					実績値	6	実績値	2	実績値		実績値		
成果 指標	生徒一人当たりの学校運 営及び施設管理経費	学校運営及び施設管理に係る経費 (事業費決算額÷生徒数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	36	計画値	36	計画値	36	計画値	36	
					実績値	36	実績値	43	実績値		実績値		
成果 指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	22点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の 方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	中学校の学校運営及び施設の維持管理を適切に行い、基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る必要がある。						次の世代を担う子どもたちが未来に向けて「生きる力」を確実に育むためには、学校における教育内容の充実を図る必要がある。また、そのためには、学校における良好な学習環境を整備するとともに、その維持管理を適切に行っていく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校施設管理事業(教育総務課分)
-----	-------------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	中学校3校の学校運営及び施設の維持管理を行う事業である。	事務の効率化及び施設の定期点検による安全確保等を図ることを目的とする。	計画額	0	0	150	31,612	31,762	—	—
			当初予算額	0	0	0	25,174	25,174		
			決算額	0	0	0	14,898	14,898		
H27	各中学校の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施した。	保守点検結果に基づいた修繕等により、施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	0	7,835	7,835	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	7,835	7,835		
			決算額	0	0	0	7,505	7,505		
H28	各中学校の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施する。	保守点検結果に基づいた修繕等を実施したことにより、施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	50	7,877	7,927	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	8,285	8,285		
			決算額	0	0	0	7,393	7,393		
H29	各中学校の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	50	7,950	8,000		
			当初予算額	0	0	0	9,054	9,054		
			決算額							
H30	各中学校の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	50	7,950	8,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	保守点検回数	施設の安全性を確保するために行った保守点検の回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	54	計画値	54	計画値	54	計画値	54
					実績値	54	実績値		実績値		実績値	
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	0	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	19点 /25点	4点	21点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点				
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
	理由											
	消防設備やエレベーター等の学校設備については、保守点検により安全な教育環境を維持できており、今後も継続的に実施していく必要がある。				定期的な設備の保守点検を実施することは、安全性の確保に繋がることから、今後も継続していく必要があるため。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校統合事業
-----	---------

担当課	学校再編対策室
-----	---------

記入日	平成29年7月18日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 さめき市の将来を担う子どもたちのよりよい学習環境を準備し、学校再編や学校施設整備を円滑に進める。	平成20年6月に策定した「さめき市学校再編計画」の後期計画期間の計画内容を具体的に推進し、円滑な学校の統合になるよう諸準備や調整を図る。	計画額	0	7,000	492	0	7,492	—	—
			当初予算額	0	14,000	984	0	14,984		
			決算額	0	0	0	0	0		
H27	志度・志度東中学校の統合に伴い土日・祝日及び長期休業日の通学支援を実施するに当たり、志度東中学校既存駐輪場を活用予定であったが、学校跡地の利活用の観点から撤去予定であることから、その代替として新たに新設する。(駐輪台数50台)・学校跡地の利活用計画が未定であったことから、事業実施を見送った。	・学校跡地利活用計画の中に、駐輪場又は駐輪スペースの確保を盛り込むことを依頼した。 ※H28年度に旧志度東中学校の既存駐輪場が撤去となることから、代替案を検討する。	計画額	0	7,000	492	0	7,492	0.1	0.0
			当初予算額	0	7,000	492	0	7,492		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	具体的取組 さめき南中学校へ通う、津田地区生徒の内、旧津田中学校からスクールバスで通学する生徒の駐輪場について、認定こども園の新設により、既存駐輪場を撤去するため、新たに設置する。なお、H28実施予定であった志度中学校へ通う、旧志度東中学校校区の生徒駐輪場については、新社会体育施設の整備に併せて、同施設に附随するものとして計画を見直す。	生徒だけでなく、周辺施設の利用者も駐輪場を利用できるよう、設置場所や設置方法を検討した。	計画額	0	0	0	0	0	0.1	0.0
			当初予算額	0	7,000	492	0	7,492		
			決算額	0	0	0	0	0		
H29	※H28で事業終了。 市内中学校の学校再編計画は全て終了したことから、本事業を終了するが、遠距離通学に関するハード事業は遠距離通学児童生徒支援事業に引き継ぐ。		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額							
H30			計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	遠距離通学者支援用駐輪場整備数	学校の統合によって、遠距離通学となった生徒に対し、スクールバスでの通学支援を実施するため、それに関連する駐輪場の整備である。 ・遠距離通学生徒用駐輪場整備箇所数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	
					実績値	0	実績値	0	実績値		実績値	
成果指標	通学支援用駐輪場の駐輪可能台数	学校の統合によって、遠距離通学となった生徒に対し、スクールバスでの通学支援を実施するため、それに関連する駐輪場の整備である。 ・駐輪場の駐輪可能台数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	台	計画値	50	計画値	50	計画値	50	計画値	
					実績値	0	実績値	0	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点		19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点				
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止				○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止							
理由	中学校の統合は、予測以上の生徒数減少のため、学校再編計画の見直しを行い、市内3校にまで統合が進んだ。本事業では、こうして統合となった中学校の閉校記念事業に関する補助、統合する学校の生徒間交流に関する支援、旧校区を越えて通学する生徒の内、特に通学支援を要する生徒に対して、スクールバスの運行を計画し、関連するハード整備を実施している。既に、予定どおり中学校の再編計画を終了したことから、本事業はH28年度で終了するが、スクールバスに関するものの内、バス停留所の自転車置場が整備されていない学校については、次年度から遠距離通学児童生徒支援事業で引続き、ハード整備を行う。				さぬき市学校再編計画に基づき、統合により遠距離通学となった生徒には、スクールバスによる通学支援を実施することとしている。津田町地区においては、現在3か所の駐輪場を設置しており、そのうち、1か所が、旧津田中学校である。当該中学校で認定こども園を設置することから、解体する必要がある、その代替として、遠距離通学生徒用、認定こども園送迎用及び津田第2体育館利用者用等の駐輪場として、多目的、効率的な位置に設置するものであり、駐輪場設置後は、事業を完了する。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	統合小学校整備事業
-----	-----------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	15	学校建設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 旧天王中学校の施設を神前・石田統合小学校として利用するために改修・整備を行う。	学校規模の適正化と学習環境の整備を図ると共に、施設整備においては、高機能且つ多様な教育に対応できる学習環境を整備する。	計画額	0	0	0	192,210	192,210	—	—
			当初予算額	247,588	912,400	45,669	19,280	1,224,937		
			決算額	0	10,600	609	6,008	17,217		
H27	神前・石田統合小学校施設に係る基本設計及び耐震診断の実施準備に着手した。 ※平成27年12月開催市議会で補正予算の承認を得た後、2月から基本設計を開始したが、業務期間が不足するため、予算を全額繰越すこととした。	各校から教室配置等の意見を抽出し、設計内容へ反映させた。	計画額	0	0	0	0	0	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	実施設計、外構設計、ボーリング調査及び樹木伐採を行う。	設計では学校現場の意見・要望を抽出し反映させた。統合予定地周辺が山林であるため、通学時の安全面に配慮し、樹木伐採を行った。建築実施設計・外構実施設計は委託期間延長によりH29へ繰越。	計画額	0	0	0	64,070	64,070	0.7	0.0
			当初予算額	0	46,300	0	17,770	64,070		
			決算額	0	10,600	609	6,008	17,217		
H29	建築工事及び樹木伐採を行う。		計画額	0	0	0	64,070	64,070		
			当初予算額	247,588	866,100	45,669	1,510	1,160,867		
			決算額							
H30	外構工事、樹木伐採及び児童用机・椅子等の備品整備を行う。		計画額	0	0	0	64,070	64,070		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	事業進捗率	統合小学校整備事業の進捗率。(当該年度の設計及び工事に関する進捗行程に基づく達成度を表す) ※H28実施設計、H29建築工事、H30建築工事	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	0	計画値	100	計画値	100	計画値	100
					実績値	0	実績値	69	実績値		実績値	
成果指標	竣工床面積	統合小学校の竣工床面積。(H27時点での予定床面積)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	m ²	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	5,463
					実績値	0	実績値	0	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	5点	5点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点			4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点			5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点			5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点			4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	学校再編計画に基づき、神前小学校及び石田小学校の統合に向けて施設を整備するものであり、必要な事業であるとする。施設整備においては、設計段階から入念な打合せを行って、神前小・石田小両校の意見を抽出することにより、充実した学習環境且つ安全に配慮した施設を整備することができる。と考える。						平成29年度からの工事着工に向けて、統合小学校として充実した施設整備を行うため、実施設計等に取り組むとともに、旧管理棟の解体を実施するなど、年次計画により事業を進めているため。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校ICT環境整備事業
-----	-------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月6日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	15	学校教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 小・中学校における教育の情報化を推進するためのICT機器及び教員が校務で使用する校務用システムの導入及び維持管理を行う。		計画額	0	0	0	212,680	212,680	—	—
			当初予算額	0	0	0	166,987	166,987		
			決算額	0	0	0	105,210	105,210		
H27			計画額	0	0	0	43,680	43,680	0.8	0.0
			当初予算額	0	0	0	43,680	43,680		
			決算額	0	0	0	35,414	35,414		
H28	具体的取組		計画額	0	0	0	55,500	55,500	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	0	75,002	75,002		
			決算額	0	0	0	69,796	69,796		
H29	小・中学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。小中学校校務用PC及び中学校教育用PCの更新。		計画額	0	0	0	60,700	60,700	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	0	48,305	48,305		
			決算額							
H30	小・中学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。小中学校校務用PC及び中学校教育用PCの更新。		計画額	0	0	0	52,800	52,800		
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	教育用パソコンの貸借台数	中学校における教育用パソコンの貸借台数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	台	計画値	318	計画値	318	計画値	318	計画値	90
					実績値	318	実績値	368	実績値		実績値	
成果指標	教育用コンピュータ1台当り	市立中学校全生徒数/教育用パソコン現有台数(台)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	15	計画値	13	計画値	11	計画値	9
					実績値	15	実績値	11	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	22点 /25点	5点		23点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		5点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由	・国の目標値では、コンピュータ教室へ児童生徒1人当たり1台の設置、普通、特別教室用コンピュータの設置及び校内LANの整備が求められている。特定の教科に限らずどの教科でも活用されるため当事業の有効性は高いと考える。 ・情報化社会に対応できる生徒を育てるため、多様化するコンピューター学習に対応できるよう、教諭の研修にも努めていかななくてはならない。						今後は、中学校においても生徒1人当たり1台のパソコンまたはタブレットの配置を目指し、ICT環境の充実整備に努めていきたいため。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	家庭教育支援事業
-----	----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月12日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	23	(23) 家庭と地域の教育力の強化
主要施策	①	①家庭教育の啓発と推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	<p>・コーディネーターを配置し、家庭教育の広報啓発活動や、先輩保護者や保護者同士のコミュニケーションの場づくり、親育ちプログラム後の子育て相談や座談会、講演会、講座等の開催、県や他課の事業とのコーディネート、将来的には各部署の子育て情報の集約を目指す。</p> <p>・ファシリテーターによる親育ちプログラムの実施。</p>	<p>専門知識を持った人材をコーディネーターとして配置し、体験講座や講演会、親育ちプログラム、就学前保護者啓発事業の実施等、家庭教育の充実を図ることを目的とする。</p>	計画額	758	0	36	12,011	12,805	—	—
			当初予算額	388	0	28	9,380	9,796		
			決算額	400	0	13	5,740	6,153		
H27	<p>家庭教育の問題は、先輩保護者や保護者同士のコミュニケーションが緊密であれば助けになることが多いことから、ファシリテーターと保護者同士が話し合い、お互いの良さに触れ合いながら学んでいく場所づくり(親育ちプログラム)提供をはじめ、子育て相談や座談会、講演会等を開催した。</p>	<p>県委託事業のみならず朝ごはんプロジェクトや就学前保護者啓発事業の実施した。その他、マネー講座や親育ちプログラム等を開催したほか、家庭教育の広報啓発活動として新たに「育ちのツボ」を毎月発行した。</p>	計画額	188	0	9	2,999	3,196	0.2	1.7
			当初予算額	188	0	9	2,999	3,196		
			決算額	200	0	2	2,876	3,078		
H28	<p>ファシリテーターと保護者同士が話し合い、お互いの良さに触れ合いながら学んでいく場所づくり(親育ちプログラム)提供、子育て相談や座談会、講演会等の開催、県や他課の事業とのコーディネートをする中で、親の不安解消を図る。</p>	<p>県委託事業のおやじ力向上事業みんなで朝ごはんプロジェクトの実施や就学前保護者啓発事業でクリアファイルを作成。また、体験講座を実施し「学びの場」としてではなく「気づきの場」として話し合える機会を設けた。</p>	計画額	190	0	9	3,002	3,201	0.2	1.7
			当初予算額	150	0	9	3,076	3,235		
			決算額	200	0	11	2,864	3,075		
H29	<p>ファシリテーターと保護者同士が話し合い、お互いの良さに触れ合いながら学んでいく場所づくり(親育ちプログラム)提供、子育て相談や座談会、講演会等の開催、県や他課の事業とのコーディネートをする中で、親の不安解消を図る。各部署の子育て情報の集約に取り組む。</p>		計画額	190	0	9	3,005	3,204		
			当初予算額	50	0	10	3,305	3,365		
			決算額							
H30	<p>ファシリテーターと保護者同士が話し合い、お互いの良さに触れ合いながら学んでいく場所づくり(親育ちプログラム)提供、子育て相談や座談会、講演会等の開催、県や他課の事業とのコーディネートをする中で、親の不安解消を図る。各部署の子育て情報の集約に取り組む。</p>		計画額	190	0	9	3,005	3,204		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	家庭教育講座・講演会等開催回数	家庭教育講座・講演会等開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 28	実績値 28	計画値 28	実績値 31	計画値 28	実績値	計画値 30	実績値
	就学前保護者啓発回数	就学前保護者啓発回数 (H29前山小学校統廃合のため計画値減)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 17	実績値 17	計画値 16	実績値 16	計画値 16	実績値	計画値 16	実績値
成果指標	家庭教育講座・講演会等参加者数	家庭教育講座・講演会等参加者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 1,000	実績値 1,039	計画値 1,000	実績値 1,089	計画値 1,000	実績値	計画値 1,000	実績値
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	19点 /25点	5点		19点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	核家族化の中で、地域での子育て学習の必要性は増大していることから、引き続き、家庭教育講座や講演会等を実施し、家庭教育の充実を図る。また、市内の就学前幼児の保護者を対象に、第2回目の「家庭教育推進のためのアンケート調査」を実施し、第1回目(平成23年度)の調査結果と比較し、その変容を把握した上で、今後の家庭教育施策充実のための基礎資料等として活用する。						核家族化の中で、地域での子育て学習の必要性は増大していることから、引き続き家庭教育講座や講演会等を実施するとともに、学校等の関係機関と連携し、家庭教育関係の情報を工夫して市民に分かりやすく提供することで、家庭教育の充実を図る。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	放課後子ども教室推進事業
-----	--------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月12日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	23	(23) 家庭と地域の教育力の強化
主要施策	②	②家庭・地域・学校の連携による教育環境の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)					担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
				国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要	教育委員会と福祉部局が連携を図り、少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て機能・教育力の低下等子どもを取り巻く環境を踏まえ、小学校区で放課後の子どもの安全な活動場所を確保し、総合的な放課後対策として実施し、次世代を担う児童の健全育成を支援することを目的とする。	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の機会を提供する。	計画額	5,824	0	668	2,954	9,446	—	—
				当初予算額	4,753	0	586	2,401	7,740		
				決算額	2,246	0	343	1,803	4,392		
H27	具体的取組	現在4か所で子ども教室を実施した。運営委員会を開催したほか、コーディネーター(1人)を配置し、各小学校・ボランティア・福祉部局等との連携を図りつつ事業を進めた。	4か所で子ども教室を継続して実施するとともに、未実施校区のさめき北小学校で平成28年度から教室が設置できるよう、学校やボランティアへの協力依頼を行った。	計画額	1,456	0	167	736	2,359	0.3	1.0
				当初予算額	1,456	0	167	736	2,359		
				決算額	860	0	166	1,095	2,121		
H28	具体的取組	現在5か所で子ども教室を実施。運営委員会の開催及び、コーディネーター(1人)を配置し、各小学校・ボランティア・福祉部局等との連携を図り事業を進める。また、ボランティアの募集を行い、未実施の地区に教室が設置できるよう働きかける。	5か所で子ども教室を継続して実施するとともに、現在実施している子ども教室の一つが未実施の小学校に統合されることから、ボランティアの協力依頼と実施場所の検討を行った。	計画額	1,456	0	167	736	2,359	0.3	1.0
				当初予算額	1,667	0	199	840	2,706		
				決算額	1,386	0	177	708	2,271		
H29	具体的取組	現在5か所で子ども教室を実施。運営委員会の開催及び、コーディネーター(1人)を配置し、各小学校・ボランティア・福祉部局等との連携を図り事業を進める。また、ボランティアの募集を行い、未実施の地区に教室が設置できるよう働きかける。		計画額	1,456	0	167	741	2,364		
				当初予算額	1,630	0	220	825	2,675		
				決算額							
H30	具体的取組	現在5か所で子ども教室を実施。運営委員会の開催及び、コーディネーター(1人)を配置し、各小学校・ボランティア・福祉部局等との連携を図り事業を進める。また、ボランティアの募集を行い、未実施の地区に教室が設置できるよう働きかける。		計画額	1,456	0	167	741	2,364		
				当初予算額							
				決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	放課後子ども教室実施箇所数	放課後子ども教室実施箇所数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	4	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	4	実績値	5	実績値		実績値	
活動指標	放課後子ども教室実施回数	各放課後子ども教室開催実施回数 (H29前山小学校統廃合のため計画値減)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	320	計画値	320	計画値	200	計画値	200
					実績値	319	実績値	325	実績値		実績値	
成果指標	放課後子ども教室参加述べ人数	各放課後子ども教室参加述べ人数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	6,600	計画値	7,000	計画値	7,000	計画値	7,000
					実績値	7,408	実績値	6,564	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	20点 /25点	5点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由	放課後の安全な居場所づくりの必要性は増加していることから、今後、地域の要望により事業実施地区が拡大することに伴い、コストの増加が見込まれる。平成30年度にさぬき南小学校区での実施を検討している。						放課後の安全な居場所づくりの必要性は増加していることから、未実施校区の実施検討、利用児童の増加に伴うボランティアの確保・連携を行い、放課後子ども教室活動の更なる充実・推進を図る。 今後、事業実施地区が拡大することに伴い、コストの増加が見込まれる。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校支援ボランティア推進事業
-----	----------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月12日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	23	(23) 家庭と地域の教育力の強化
主要施策	②	②家庭・地域・学校の連携による教育環境の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	地域住民が学校支援ボランティアとして学校の教育活動を支援する体制づくりを推進することにより、地域住民が学校や児童生徒と関わりながら自らの知識や経験を活用する機会の拡充を図り、もって市民参加による地域の教育力の向上に寄与する。	学校や子どもの活動を総合的に支援する体制を整備し、子どもへの教育がより充実されるとともに、地域住民が自らの知識や経験を生かす場が広がり、生涯学習社会の実現や地域の教育力の向上を目的とする。	計画額	7,132	0	0	3,568	10,700	—	—
			当初予算額	5,956	0	0	2,979	8,935		
			決算額	3,396	0	0	1,733	5,129		
H27	既実施のさめき南中学校区に加え、新たに志度中学校区に学校支援地域コーディネーターを配置し、学校の要望を踏まえて様々な地域住民の参加を得ながら、授業の補助、部活動の指導、校内の環境整備、登下校時の安全確保に係る活動、学校行事の運営支援などを行った。	志度中学校区にコーディネーターを配置し、活動依頼内容に応じてボランティアを派遣した。また、養成講座を2回開催し、学校、地域、ボランティアの交流に努めた。「たより」による活動報告、啓発活動も継続している。	計画額	1,480	0	0	739	2,219	0.3	0.0
			当初予算額	1,480	0	0	739	2,219		
			決算額	1,426	0	0	721	2,147		
H28	学校支援ボランティア運営委員会と学校支援地域教育協議会の設置。長尾中学校区にも学校支援地域コーディネーターを配置し、学校の要望を踏まえて様々な地域住民の参加を得ながら、授業の補助、部活動の指導、花壇や樹木の整備等の校内の環境整備、登下校時における子どもの安全確保に係る活動、学校行事の運営支援などを行う。	長尾中学校区にコーディネーターを配置し、市内全域で支援する体制が整った。その他、養成講座の開催や、年3回発行している「たより」を第2号より、中学校区別に2種類発行し、より多くの情報発信ができた。	計画額	1,884	0	0	943	2,827	0.3	0.0
			当初予算額	2,044	0	0	1,023	3,067		
			決算額	1,970	0	0	1,012	2,982		
H29	学校支援ボランティア運営委員会と学校支援地域教育協議会の設置。全中学校区に学校支援地域コーディネーターを配置し、学校の要望を踏まえて様々な地域住民の参加を得ながら、授業の補助、部活動の指導、花壇や樹木の整備等の校内の環境整備、登下校時における子どもの安全確保に係る活動、学校行事の運営支援などを行う。		計画額	1,884	0	0	943	2,827		
			当初予算額	2,432	0	0	1,217	3,649		
			決算額							
H30	学校支援ボランティア運営委員会と学校支援地域教育協議会の設置。全中学校区に学校支援地域コーディネーターを配置し、学校の要望を踏まえて様々な地域住民の参加を得ながら、授業の補助、部活動の指導、花壇や樹木の整備等の校内の環境整備、登下校時における子どもの安全確保に係る活動、学校行事の運営支援などを行う。		計画額	1,884	0	0	943	2,827		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	学校支援ボランティア活動日数	学校でのボランティア活動日数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	日	計画値 1,250	実績値 1,667	計画値 2,500	実績値 2,475	計画値 2,500	実績値	計画値 2,500	実績値	
	学校支援ボランティア活動実施か所数	学校支援ボランティア活動実施小・中学校・幼稚園・保育所・児童館等数 (H29前山小学校統廃合のため計画値減)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	か所数	計画値 23	実績値 23	計画値 32	実績値 39	計画値 31	実績値	計画値 31	実績値	
成果指標	学校支援ボランティア活動実績延べ人数	学校支援ボランティア活動実績延べ人数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 10,000	実績値 24,271	計画値 11,000	実績値 38,876	計画値 11,000	実績値	計画値 11,000	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	19点 /25点	5点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	<p>豊富な人材を有効活用できるよう、学校等に積極的に活動依頼を呼び掛け、学校等が既に持っている人材バンクや地域の既存のボランティア団体との交流を図り、連携して学校支援を行うようにしていく。 コーディネーターを旧町全5地区に1人ずつの配置としたことにより、地区ごとの特徴をいかしたコーディネートに努める。</p>						<p>地域教育協議会の会議において、各地区の課題や目標が共通認識され、学校・家庭・地域の連携効果とそれぞれの教育力の向上が期待でき、学校等に積極的に活動依頼を呼び掛け、学校等が既に持っている人材バンクや地域の既存のボランティア団体との交流を図り、連携して学校支援を行うようにしていく。 学校の統合により、二つの地区を一人のコーディネーターが担当していることから、今後配置人数の増加や支援の増加に伴い、コスト増加が見込まれるが、地区ごとの特徴をいかしたコーディネートに努める。</p>						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	社会教育事業
-----	--------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月11日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	①	①生涯学習の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	社会教育(生涯学習)の全般的な推進を行う。 さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会を開催する。	社会教育全般にかかる事業であるとともに、専門分野に属さないが多岐にわたる事業を行う。	計画額	0	0	0	19,647	19,647	—	—
			当初予算額	0	0	0	18,580	18,580		
			決算額	0	0	0	14,237	14,237		
H27	社会教育全般に関する事業を処理した。 さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会などを開催した。	統合により廃校となった中学校に設置されていた空調機器を社会教育施設に移設し機器の有効利用を図った。また、第2次生涯学習基本計画を社会教育委員の会で立案検討し、策定した。	計画額	0	0	0	15,692	15,692	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	15,692	15,692		
			決算額	0	0	0	13,089	13,089		
H28	社会教育全般に関する事業を処理した。 さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会を2回開催した。	社会教育委員の会を開催し、生涯学習関連の施策の方針等について議論した。 香川県において、中国四国地区社会教育研究大会が開催され、さぬき市より24名参加した。	計画額	0	0	0	1,069	1,069	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,355	1,355		
			決算額	0	0	0	1,148	1,148		
H29	社会教育全般に関する事業を処理する。 さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会などを開催する。		計画額	0	0	0	1,815	1,815		
			当初予算額	0	0	0	1,533	1,533		
			決算額							
H30	社会教育全般に関する事業を処理する。 さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会などを開催する。		計画額	0	0	0	1,071	1,071		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	社会教育委員の会開催回数	市の生涯学習の推進方針等の審議を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	4	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2	実績値	2	実績値		実績値		
成果指標	住民満足度	生涯学習基本計画見直し時の住民アンケート等を用いて住民満足度を図る。(3年に1度程度) ※H27-29については、H26実施アンケートにおける「生涯学習の必要性」に対する肯定的回答率を代用する。	<input type="checkbox"/> 総合計画	%	計画値	60	計画値	60	計画値	60	計画値	80	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	63	実績値	63	実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	社会教育全般で、他に属さない案件、又は、他の事業全体に係る案件を実施する事業でもあるため、現状維持とする。						本事業は、社会教育分野における個別案件以外のもの、または、多分野に渡るものを取り扱っており、緊急性及び多機能的に事業拡大することも考えられるが、平常時における事業については生涯学習の中心的役割を担う社会教育委員の会において、適切な助言や指導をいただいていることから現状維持とする。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	成人式実施事業
-----	---------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	①	①生涯学習の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 成人式典及び交流会事業、記念冊子の企画等から当日受付等運営業務に至るまでを、新成人の手で決め、行う。	新成人による実行委員会を立ち上げ、成人式の企画運営に取り組む中で、新成人の社会人としての自覚を促すことを目的とする。	計画額	0	0	0	5,200	5,200	—	—
			当初予算額	0	0	0	3,900	3,900		
			決算額	0	0	0	2,186	2,186		
H27	式典や交流会をはじめ、記念冊子の企画から当日受付等運営業務に至るまで全てを新成人の手で行う実行委員会形式で成人式を開催した。 参加者379人／対象者527人	県外在住の実行委員とも自発的・積極的に情報の共有や意見交換を行い、企画、運営に至るまで新成人たちの手による成人式となった。新成人たちの社会人としての自覚や地元への愛着心を高めた。	計画額	0	0	0	1,300	1,300	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,300	1,300		
			決算額	0	0	0	1,023	1,023		
H28	新成人自らの手で成人式を創りあげる経緯を以って、社会人としての自覚を促すとともに、心に残る成人式とする。	実行委員が自発的・積極的に企画・準備・運営を行い、新成人たちの手による成人式となった。	計画額	0	0	0	1,300	1,300	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,300	1,300		
			決算額	0	0	0	1,163	1,163		
H29	新成人自らの手で成人式を創りあげる経緯を以って、社会人としての自覚を促すとともに、心に残る成人式とする。		計画額	0	0	0	1,300	1,300		
			当初予算額	0	0	0	1,300	1,300		
			決算額							
H30	新成人自らの手で成人式を創りあげる経緯を以って、社会人としての自覚を促すとともに、心に残る成人式とする。		計画額	0	0	0	1,300	1,300		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	成人式実行委員会参加者数	新成人たちの手による企画・運営を目的として開催される実行委員会への延べ参加人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	80	計画値	80	計画値	80	計画値	80
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	91	実績値	95	実績値		実績値	
成果指標	成人式参加率	成人式出席対象者数に対する参加率。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	75	計画値	75	計画値	75	計画値	75
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	72	実績値	74	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
方向性	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
今後の方向性	理由 実行委員が自主的に行動するように促す方向性で続けていく。						さぬき市出身及び在住の新成人が一堂に会する機会を設け、新成人の門出を祝うとともに、成人としての自覚を持ち、責任感ある社会人への成長を促す催しとして必要である。これまでと同様に、新成人の実行委員による声かけ・勧誘により成人式の参加率も増加傾向にあり、出身中学校間の交流も盛んであるため現状維持とする。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	青年会補助支援事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	①	①生涯学習の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 活動家研修会や青年大会地区予選等を主催し、勤労青年の交流を深める。	青年間における相互理解と親善を図り、以って地域社会の発展に寄与する。	計画額	0	0	0	292	292	—	—
			当初予算額	0	0	0	219	219		
			決算額	0	0	0	146	146		
H27	青年間における相互理解と親善を図り、以って地域社会の発展に寄与する。 県青年会負担金 23千円 青年会活動補助金50千円	新たな会員を募ることを目的とし、親睦を図るための企画を立ち上げ、県内で行われるイベントにも積極的に参加した。	計画額	0	0	0	73	73	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	73	73		
			決算額	0	0	0	73	73		
H28	青年間における相互理解と親善を図り、以って地域社会の発展に寄与する。	新たな会員を募ることを目的とし、親睦を図るための企画を立ち上げ、県内で行われるイベントにも積極的に参加した。	計画額	0	0	0	73	73	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	73	73		
			決算額	0	0	0	73	73		
H29	青年間における相互理解と親善を図り、以って地域社会の発展に寄与する。		計画額	0	0	0	73	73		
			当初予算額	0	0	0	73	73		
			決算額							
H30	青年間における相互理解と親善を図り、以って地域社会の発展に寄与する。		計画額	0	0	0	73	73		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	青年会会員数	青年会活動の基本となる会員数を増加させることにより活動内容の多様化や、更なる会員確保につながるため。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	20	計画値	20	計画値	20	計画値	25	
					実績値	13	実績値	9	実績値		実績値		
成果指標	青年会主催事業数	青年会の活動として、主催事業の企画・運営を指標とすることで活性化を図る。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	3	計画値	3	計画値	4	計画値	4	
					実績値	4	実績値	3	実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	県青年連合会や県青年教育振興協議会が主催するイベントや研修会に積極的に参加し、広く交流を持っている。市内では、会員を集め、親睦会を行っている。						青少年を取り巻く環境が厳しさを増す中、健やかな成長の手助けとなる指導者の養成や青少年育成団体への支援は、地域の青少年健全育成活動の促進を図るうえで必要であり、生涯学習の基本理念として、『いつでも・どこでも・どんなときでも』学習する意欲を掻き立てる素地を造らなければならないとされている。乳幼児期から高齢期の各年代を通しての生涯学習の観点から、青年期の多感な時期を様々な活動を行うことで自身及び子孫の繁栄を目指せるため、現状維持とする。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	婦人団体補助支援事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月12日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	①	①生涯学習の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 婦人団体連絡協議会は、市内地区婦人会の相互の連携及び、現代に則する婦人の資質を高める地位の向上を図る。女性団体連絡会は、市内の女性団体が共に支援協力することにより、それぞれが地域社会における役割を果たし、さぬき市の発展に寄与することを目的とする。	婦人団体連絡協議会や女性団体連絡会へ補助金を交付し、団体が協力し、相互に支援し合うことにより、それぞれの団体が地域社会における役割を果たすことを目的とする。	計画額	0	0	0	4,660	4,660	—	—
			当初予算額	0	0	0	3,495	3,495		
			決算額	0	0	0	2,330	2,330		
H27	さぬき市婦人団体連絡協議会は、婦人会相互の情報交換や研修、講演会、また、家庭、学校、地域社会との連携する活動及び、ボランティア活動に関する活動を行った。女性団体連絡会は市のまちづくり事業や、教育、福祉、経済産業分野において、学習と支援協力を行い、地域、家庭、学校との連携により住みよい社会づくりに貢献していく活動を行った。	婦人団体連絡協議会は、適切な指導や助言のほか、自主的な活動に対して援助を行うよう努めた。女性団体については、各団体との情報の共有化を図り、学習機会の提供に努めた。	計画額	0	0	0	1,165	1,165	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,165	1,165		
			決算額	0	0	0	1,165	1,165		
H28	具体的取組 さぬき市婦人団体連絡協議会は、婦人会相互の情報交換や研修、講演会、また、家庭、学校、地域社会との連携する活動及び、ボランティア活動に関する活動を行う。女性団体連絡会は市のまちづくり事業や、教育、福祉、経済産業分野において、学習と支援協力を行い、地域、家庭、学校との連携により住みよい社会づくりに貢献していく活動を行う。	婦人団体連絡協議会は、適切な指導や助言のほか、自主的な活動に対して援助を行うよう努めた。女性団体については、各団体との情報の共有化を図り、学習機会の提供に努めた。	計画額	0	0	0	1,165	1,165	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,165	1,165		
			決算額	0	0	0	1,165	1,165		
H29	さぬき市婦人団体連絡協議会は、婦人会相互の情報交換や研修、講演会、また、家庭、学校、地域社会との連携する活動及び、ボランティア活動に関する活動を行う。女性団体連絡会は市のまちづくり事業や、教育、福祉、経済産業分野において、学習と支援協力を行い、地域、家庭、学校との連携により住みよい社会づくりに貢献していく活動を行う。		計画額	0	0	0	1,165	1,165		
			当初予算額	0	0	0	1,165	1,165		
			決算額							
H30	さぬき市婦人団体連絡協議会は、婦人会相互の情報交換や研修、講演会、また、家庭、学校、地域社会との連携する活動及び、ボランティア活動に関する活動を行う。女性団体連絡会は市のまちづくり事業や、教育、福祉、経済産業分野において、学習と支援協力を行い、地域、家庭、学校との連携により住みよい社会づくりに貢献していく活動を行う。		計画額	0	0	0	1,165	1,165		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	女性団体連絡会活動回数	女性団体連絡会での講演会等実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10	
					実績値	9	実績値	11	実績値		実績値		
成果指標	婦人団体連絡協議会活動回数	婦人団体連絡協議会での学習会等実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	50	計画値	50	計画値	50	計画値	50	
					実績値	51	実績値	64	実績値		実績値		
成果指標	女性団体連絡会参加者数	女性団体連絡会での講演会等参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	250	計画値	250	計画値	250	計画値	250	
					実績値	265	実績値	257	実績値		実績値		
成果指標	婦人団体連絡協議会参加者数	婦人団体連絡協議会での学習会等参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	1,400	計画値	1,400	計画値	1,400	計画値	1,400	
					実績値	1,417	実績値	1,537	実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	17点 /25点	4点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点		2点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	<p>婦人団体連絡協議会については、各種行事の応援や支援、自主的な講演会の実施など、積極的な活動を展開しており、その活動回数も増加傾向である。最低限の活動補助を行っており、団体自らが活動時のコスト節減に努めているため現状維持で行う。</p> <p>女性団体連絡会については、現在さぬき市の教育、福祉及び経済関係を代表する4団体が所属し、講演会や市長と意見交換会の実施等を行っているが、加入団体数が減少しており、複数の団体に所属している会員には負担となるなど課題もみられるため、今後の活動方針について検討する必要がある。</p>						<p>婦人団体連絡協議会については、各種行事の応援や支援、自主的な講演会の実施など、積極的な活動を展開しており、その活動回数も増加傾向である。最低限の活動補助を行っており、団体自らが活動時のコスト節減に努めているため現状維持で行う。</p> <p>女性団体連絡会については、現在さぬき市の教育、福祉及び経済関係を代表する7団体(H28年度)で構成し、講演会や市長と意見交換会の実施等を行っているが、複数の団体に所属している会員には負担となるなど課題もみられるため、今後の活動方針について検討する必要がある。</p> <p>現代に即する婦人の資質を高める地位の向上を図り、相互に支援協力を図る活動を支援することは、市の責務と考える。</p>						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	子ども会補助支援事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	①	①生涯学習の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 宿泊キャンプを主催し、小規模校の増加等により、キャンプに参加できない子どもたちに対し、自然に親しむ機会を設ける。また、指導者・育成者研修等で、育成者の意識を高める。	少子化により、キャンプなどを単位子ども会等で行うことが難しくなってきたため、子ども達に自然に親しむ場や体験活動の場を提供する。また、研修会により、育成者に子ども会活動の運営方法などを伝えている。	計画額	0	0	0	4,176	4,176	—	—
			当初予算額	0	0	0	3,131	3,131		
			決算額	0	0	0	2,088	2,088		
H27	市内の子ども会育成会が相互に連携し、情報の交換・交流を通して子どもの健全育成並びに育成者の資質向上を図った。 指導者・育成者研修会 2回(125名、173名) 子ども会リーダーキャンプ 1回(105名) ジュニアリーダー研修会 1回(10名)	キャンプでは定員以上の参加募集があったが全員の参加を受け入れ、より多くの子ども達が体験活動を経験した。また、子どもが主体となる子ども会活動にするためのテーマを中心に育成者研修会を行った。	計画額	0	0	0	1,044	1,044	0.5	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,044	1,044		
			決算額	0	0	0	1,044	1,044		
H28	市内の子ども会育成会が相互に連絡し、情報の交換・交流を通して適切な事業や運営を研究し、子どもの健全育成並びに育成者の資質向上に資する。	子ども会活動や育成者の役割について、意識を高める研修会等を行った。実践的な活動方法についても情報を発信し、子ども会本来の姿である「子どもの手による子ども会活動」ができるよう支援した。	計画額	0	0	0	1,044	1,044	0.5	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,044	1,044		
			決算額	0	0	0	1,044	1,044		
H29	市内の子ども会育成会が相互に連絡し、情報の交換・交流を通して適切な事業や運営を研究し、子どもの健全育成並びに育成者の資質向上に資する。		計画額	0	0	0	1,044	1,044		
			当初予算額	0	0	0	1,043	1,043		
			決算額							
H30	市内の子ども会育成会が相互に連絡し、情報の交換・交流を通して適切な事業や運営を研究し、子どもの健全育成並びに育成者の資質向上に資する。		計画額	0	0	0	1,044	1,044		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	市子ども会育成連絡協議会主催事業数	単位子ども会や校区子ども会ではできない取組を市子ども会育成連絡協議会が行うことで、子どもたちに様々な体験学習の場を提供する。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	4	計画値	5	計画値	4	計画値	5
					実績値	4	実績値	5	実績値		実績値	
成果指標	市子ども会育成連絡協議会主催事業参加率	子どもだけでなく育成者(保護者等)の研さんも目的としているため、両者を含めた参加率としている。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	80	計画値	80	計画値	80	計画値	80
					実績値	77	実績値	73	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	4点	18点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点				3点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点				3点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点				4点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点				4点		
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	子ども会の意義や活動について学ぶ研修会を行い、各校区子ども会に対して補助金を交付している。また、キャンプやイベントを主催することにより、子ども達に体験活動の機会を与えている。				青少年を取り巻く環境が激変する中、健やかな成長の手助けとなる指導者の養成や青少年育成団体への支援は、児童期に体験活動の機会を通じて、大切な知恵・考える力を育てるとともに、育成者である親世代の子どもとの接し方を再確認できる機会と捉え大変重要な事業である。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	PTA補助支援事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	①	①生涯学習の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 クリーン活動やスポーツ大会、学習会等を開催し、地域への貢献とともに、子ども・保護者・学校間の交流を深める。	学校と保護者との連携強化を図るとともに、地域社会との関わりを深め、地域で子どもを見守り育てよう努める。	計画額	0	0	0	480	480	—	—
			当初予算額	0	0	0	360	360		
			決算額	0	0	0	240	240		
H27	学校・家庭・地域社会との連携を深め、幼児・児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図った。	学校と保護者との連携強化を図るとともに、地域社会との関わりを深め、地域で子どもを見守り育てよう努めた。	計画額	0	0	0	120	120	0.0	0.3
			当初予算額	0	0	0	120	120		
			決算額	0	0	0	120	120		
H28	具体的取組 学校・家庭・地域社会との連携を深め、幼児・児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、社会の発展に寄与する。	学校と保護者との連携強化を図るとともに、地域社会との関わりを深め、地域で子どもを見守り育てよう努めた。	計画額	0	0	0	120	120	0.0	0.3
			当初予算額	0	0	0	120	120		
			決算額	0	0	0	120	120		
H29	学校・家庭・地域社会との連携を深め、幼児・児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、社会の発展に寄与する。		計画額	0	0	0	120	120		
			当初予算額	0	0	0	120	120		
			決算額							
H30	学校・家庭・地域社会との連携を深め、幼児・児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、社会の発展に寄与する。		計画額	0	0	0	120	120		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	母親代表研修会開催回数	各地域における母親同士の交流の機会を作り、研修会を行うことで、子育てに関する知識を深め、家庭教育の充実化を目指す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	4	計画値	4	計画値	4	計画値	4
					実績値	4	実績値	4	実績値		実績値	
成果指標	母親代表研修会参加人数	研修会参加人数を指標とすることで、研修内容の魅力及び要望講座、また、出席しやすい曜日・時間が把握できるため、より良い研修となる。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	80	計画値	80	計画値	80	計画値	80
					実績値	79	実績値	80	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	4点	18点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	母親代表の研修会は、役員が自主的・積極的に計画運営を行っている。						PTA活動に対する支援は、将来を担う子どもたちの育成とともに、親世代と地域を結ぶ大事な事業である。青少年の健全育成と福祉の増進を図り、社会貢献等の発展に寄与する事業であるため現状維持とする。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化団体支援事業
-----	----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	①	①生涯学習の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	40	文化振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 市内各種文化団体の育成を図ると共に、活発な活動をととして市の文化振興を図ると共に助成金等を交付する。また、志度音楽ホールの維持管理を行う財団には、市民の創作活動を助長すると共に音楽芸術活動の拠点となるよう助成する。	市内各種文化団体の育成を通して、市の文化振興を図る。	計画額	0	0	4,000	123,946	127,946	—	—
			当初予算額	291	0	3,000	90,931	94,222		
			決算額	10,739	0	2,000	59,997	72,736		
H27	さぬき市文化協会に補助金を交付したほか、志度音楽ホール・平賀源内記念館の指定管理者である(公財)さぬき市文化振興財団・(公財)平賀源内先生顕彰会にそれぞれ管理運営助成金を交付した。 また、平賀源内記念館の土地・建物の借上料を(公財)南海育英会に支払った。	各団体が主催する事業に協力し、文化振興を図った。	計画額	0	0	1,000	30,680	31,680	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	1,000	30,680	31,680		
			決算額	0	0	1,000	30,110	31,110		
H28	具体的取組 さぬき市文化協会に補助金を交付する。 志度音楽ホール・平賀源内記念館の指定管理者であります、(公財)さぬき市文化振興財団・(公財)平賀源内先生顕彰会にそれぞれ管理運営助成金を交付する。 平賀源内記念館の土地・建物の借上料を(公財)南海育英会に支払いをする。	各団体が主催する事業に協力し、文化振興を図った。 現年分 30,887 H27繰越分 10,739	計画額	0	0	1,000	30,680	31,680	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	1,000	30,407	31,407		
			決算額	10,739	0	1,000	29,887	41,626		
H29	さぬき市文化協会に補助金を交付する。 志度音楽ホール・平賀源内記念館の指定管理者であります、(公財)さぬき市文化振興財団・(公財)平賀源内先生顕彰会にそれぞれ管理委託料を支払います。 平賀源内記念館の土地・建物の借上料を(公財)南海育英会に支払いをする。		計画額	0	0	1,000	31,293	32,293		
			当初予算額	291	0	1,000	29,844	31,135		
			決算額							
H30	さぬき市文化協会に補助金を交付する。 志度音楽ホール・平賀源内記念館の指定管理者であります、(公財)さぬき市文化振興財団・(公財)平賀源内先生顕彰会にそれぞれ管理委託料を支払います。 平賀源内記念館の土地・建物の借上料を(公財)南海育英会に支払いをする。		計画額	0	0	1,000	31,293	32,293		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	文化協会加入団体数	文化協会加入団体数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	団体	計画値	140	計画値	140	計画値	140	計画値	140
					実績値	142	実績値	153	実績値		実績値	
成果指標	文化協会加入会員数	文化協会加入会員数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	1,800	計画値	1,800	計画値	1,800	計画値	1,800
					実績値	1,708	実績値	1,899	実績値		実績値	
	志度音楽ホール入館者数	志度音楽ホール入館者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	28,000	計画値	28,000	計画値	28,000	計画値	28,000
					実績値	29,346	実績値	37,989	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	17点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	各団体・実行委員会への運営助成金・補助金を交付し、自主的に運営をすることで、市民の芸術文化への意識向上の推進、地域住民の交流を行っている。				市内各種文化団体の育成を図ると共に、活発な活動を通して市の文化振興を図ることは必要である。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	保健体育事業
-----	--------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	②	②生涯スポーツの推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	05	保健体育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 市民の生涯スポーツ推進指導者であるスポーツ推進委員に対する報酬。そのスポーツ推進委員の資質向上を図るため県内外の研修会に派遣する。次世代のスポーツ指導者の育成に向け、各種指導者研修会参加者に対する旅費を補助。特色ある総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会委員に対する謝礼。	生涯スポーツの推進指導者であるスポーツ推進委員の資質向上と意識向上を図ることで、市民への生涯スポーツの普及と推進を行い、健康と体力づくりの意識定着を目指す。	計画額	0	0	0	9,832	9,832	—	—
			当初予算額	0	0	0	7,160	7,160		
			決算額	0	0	0	4,499	4,499		
H27	県内外で開催されるスポーツ推進委員を対象とした各種研修会等に参加し、スポーツ推進委員の資質向上と生涯スポーツ推進指導者としての意識向上を図り、本市の地域スポーツリーダーとして生涯スポーツ団体、競技スポーツ団体の自主的活動をサポートし、各種団体の組織活性化を図った。	スポーツ推進委員会の広報研修部会において、スポーツ推進委員の資質向上に役立つ内容の研修提案を行い、研修会を実施した。	計画額	0	0	0	2,349	2,349	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,349	2,349		
			決算額	0	0	0	2,246	2,246		
H28	具体的取組 県内外で開催されるスポーツ推進委員を対象とした各種研修会等に参加し、スポーツ推進委員の資質向上と生涯スポーツ推進指導者としての意識向上を図り、本市の地域スポーツリーダーとして生涯スポーツ団体、競技スポーツ団体の自主的活動をサポートし、各種団体の組織活性化及びスポーツの振興を目指す。	引続き、スポーツ推進委員会広報研修部において、スポーツ推進委員の資質向上に役立つ内容の研修会を実施した。また、四国地区連絡協議会、県連絡協議会主催の推進委員向け研修への参加を促した。	計画額	0	0	0	2,463	2,463	0.3	0.1
			当初予算額	0	0	0	2,344	2,344		
			決算額	0	0	0	2,253	2,253		
H29	県内外で開催されるスポーツ推進委員を対象とした各種研修会等に参加し、スポーツ推進委員の資質向上と生涯スポーツ推進指導者としての意識向上を図り、本市の地域スポーツリーダーとして生涯スポーツ団体、競技スポーツ団体の自主的活動をサポートし、各種団体の組織活性化及びスポーツの振興を目指す。		計画額	0	0	0	2,510	2,510		
			当初予算額	0	0	0	2,467	2,467		
			決算額							
H30	県内外で開催されるスポーツ推進委員を対象とした各種研修会等に参加し、スポーツ推進委員の資質向上と生涯スポーツ推進指導者としての意識向上を図り、本市の地域スポーツリーダーとして生涯スポーツ団体、競技スポーツ団体の自主的活動をサポートし、各種団体の組織活性化及びスポーツの振興を目指す。		計画額	0	0	0	2,510	2,510		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	スポーツ推進委員を対象とした市・県・その他の主体が開催した研修への参加案内回数	スポーツ推進委員向けの研修参加者募集のための周知回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
	スポーツ推進委員向けの研修を企画提案する広報研修部会の開催数	研修の企画提案を行う広報研修部会の開催数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	1	計画値	2	計画値	2	計画値	2
成果指標	スポーツ推進委員向けの研修への参加者数	周知された研修に対して実際に参加した人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	50	計画値	50	計画値	50	計画値	50
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	52	実績値	50	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点		18点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	<p>地域・市民スポーツを推進する上で指導者の養成は必要不可欠であり、人材育成は地方公共団体の努力義務としてスポーツ基本法第11条にも定められている。今後も引き続き、スポーツ推進委員に対し研修の提案と研修会参加の案内を行っていく。</p> <p>また、スポーツ推進委員以外の市民に対して、県の主催する指導者養成講座等の周知案内を行っていくことは検討の余地があり、実際に普通救命講習会をスポーツ推進委員とスポーツ少年団の指導者で合同で開催するといった試みを行った。今後も引き続き共同で行えそうなものを模索していくが、やはり周知する対象をどうするかや周知にかかるリソースコスト(人・時間・費用)について考える必要があるため、現状維持で進めていきたい。</p>						<p>地域・市民スポーツを推進する上で基礎知識を含め、より実践的な指導者の養成は必要不可欠であり、人材育成は地方公共団体の義務でもある。今後も引き続き、スポーツ推進委員に対し研修の提案と研修会参加の案内を行っていく。</p> <p>また、スポーツ推進委員以外の市民についても、県の主催する指導者養成講座等の周知案内を行っていくことは検討の余地があるが、周知する対象をどうするかや周知にかかるリソースコスト(人・時間・費用)について考える必要があるため、柔軟に対応しなければならない。</p>					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	スポーツ普及事業
-----	----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	②	②生涯スポーツの推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	05	保健体育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	各種教室や各種大会を開催し、広く市民に生涯スポーツの普及と推進を図り、健康と体力づくりの意識の定着と市民相互の連帯感を醸成し、明るく健康な街づくりを目指す。	日頃運動機会に接していない市民を対象として各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を目指す。	計画額	0	0	0	1,127	1,127	—	—
			当初予算額	0	0	0	1,157	1,157		
			決算額	0	0	0	630	630		
H27	日頃、運動機会に接していない市民を対象として、各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を図った。 また、その成果大会など各種大会を開催することにより、市民の交流を図り連帯感の醸成と健康体力づくりを目指した。	各種ニュースポーツ教室を継続開催するとともに、ニュースポーツの大会としてキンボール大会を開催した。	計画額	0	0	0	265	265	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	265	265		
			決算額	0	0	0	243	243		
H28	日頃、運動機会に接していない市民を対象として、各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を図る。 また、その成果大会など各種大会を開催することにより、市民の交流を図り連帯感の醸成と健康体力づくりを図る。	引続きニュースポーツ教室とキンボールの大会開催した。要望のあった子供会や学校PTC活動でのニュースポーツ教室だけでなく、商工会と協力し、婚活イベントにニュースポーツを利用するなど、新規取組みを行った。	計画額	0	0	0	286	286	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	446	446		
			決算額	0	0	0	387	387		
H29	日頃、運動機会に接していない市民を対象として、各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を図る。 また、その成果大会など各種大会を開催することにより、市民の交流を図り連帯感の醸成と健康体力づくりを図る。		計画額	0	0	0	288	288		
			当初予算額	0	0	0	446	446		
			決算額							
H30	日頃、運動機会に接していない市民を対象として、各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を図る。 また、その成果大会など各種大会を開催することにより、市民の交流を図り連帯感の醸成と健康体力づくりを図る。		計画額	0	0	0	288	288		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	ニュースポーツやその他 各種の出前教室の開催数	市民からの依頼に基づき開催した出前教室等	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	10	計画値	12	計画値	12	計画値	12	
					実績値	12	実績値	17	実績値		実績値		
成果指標	各種ニュースポーツの出 前教室の参加者数	教室参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	500	計画値	500	計画値	500	計画値	500	
					実績値	534	実績値	619	実績値		実績値		
成果指標	キンボール大会の参加者 数	大会参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	40	計画値	50	計画値	50	計画値	50	
					実績値	40	実績値	44	実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	<p>ニュースポーツの出前教室や障がい者支援施設での出前ゲーム教室といった各種の教室を毎年行っており、その参加者は少しずつではあるが増加傾向がある。また、高齢者向けの独自の歌体操も市民に紹介しており、活動の幅は広がりがつつある。特に、平成27年度から実施している小学生向けのキンボール大会については、ニュースポーツの定着具合の指標と考えられるため、大会の参加人数が増加していくよう広報活動にも力を入れていきたい。</p> <p>今後の事業の進め方については、継続して行ってきたもの(ニュースポーツ教室等)と新しく始めた広報活動(スポ少総会での周知等)などが存在することから、現時点では現状維持とする。</p>						<p>ニュースポーツの出前教室や障がい者支援施設での出前ゲーム教室といった各種の教室を毎年行っており、その参加者は少しずつではあるが増加傾向がある。また、また、高齢者向けの独自の歌体操も市民に紹介しており、活動の幅は広がりがつつある。特に、平成27年度から小学生向けのキンボールの大会を開催しており、その大会の参加人数が増加していくよう広報活動を行っていく。</p>						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	スポーツ奨励事業
-----	----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	②	②生涯スポーツの推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	05	保健体育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 地域スポーツの推進と健康体づくりを推進している、さぬき市体育協会及び各種団体、実行委員会並びに個人に補助金を交付し、自主的運営能力の向上と組織活性の推進を図ると共に、市民の生涯スポーツの推進と体づくりの習慣性の定着を図り、健康で活気ある街づくりに資する。	積極的に活動を実施している団体やスポーツ事業を主催する実行委員会へ補助金を交付し、地域住民を交流を推進し、生涯スポーツの普及を目的とする。	計画額	0	0	0	60,500	60,500	—	—
			当初予算額	0	0	0	45,117	45,117		
			決算額	0	0	0	29,256	29,256		
H27	県予選会等を経て県代表となり、世界大会・全国大会に参加する個人に対し賞賜金を交付したほか、生涯スポーツの推進に中心的な役割を担っている、市内各種団体、実行委員会に対し運営補助金を交付した。また、スポーツ少年団が8月にドイツスポーツ少年団と交流を行った。このほか、寒川高校の甲子園出場に際して激励金を交付した。	各団体が主催するスポーツ事業にスポーツ推進委員も協力しスポーツの振興を図った。また、スポーツ振興賞賜金制度について広報で制度周知を行った。	計画額	0	0	0	15,050	15,050	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	0	15,050	15,050		
			決算額	0	0	0	15,780	15,780		
H28	具体的取組 県予選会等を経て県代表となり、世界大会・全国大会に参加する個人に対し賞賜金を交付する。生涯スポーツの推進に中心的な役割を担っている、市内各種団体、実行委員会に対し運営補助金を交付(体育協会・市民運動会・スポーツ少年団・へんろウォーク・クロスカントリー)。	例年と同じく、各団体が主催するスポーツ事業にスポーツ推進委員も協力し、スポーツの振興を図った。また、スポーツ振興賞賜金制度について広報で制度周知を行った。	計画額	0	0	0	15,050	15,050	0.4	0.1
			当初予算額	0	0	0	14,720	14,720		
			決算額	0	0	0	13,476	13,476		
H29	県予選会等を経て県代表となり、世界大会・全国大会に参加する個人に対し賞賜金を交付する。生涯スポーツの推進に中心的な役割を担っている、市内各種団体、実行委員会に対し運営補助金を交付(体育協会・市民運動会・スポーツ少年団・へんろウォーク・クロスカントリー)。		計画額	0	0	0	15,200	15,200		
			当初予算額	0	0	0	15,347	15,347		
			決算額							
H30	県予選会等を経て県代表となり、世界大会・全国大会に参加する個人に対し賞賜金を交付する。生涯スポーツの推進に中心的な役割を担っている、市内各種団体、実行委員会に対し運営補助金を交付(体育協会・市民運動会・スポーツ少年団・へんろウォーク・クロスカントリー)。		計画額	0	0	0	15,200	15,200		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	スポーツ振興賞賜金の制度周知回数	広報紙等での住民への周知回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
					実績値	1	実績値	2	実績値		実績値		
成果指標	スポーツ振興賞賜金の交付件数	世界大会・全国大会へ出場した選手・監督への賞賜金交付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	120	計画値	104	計画値	100	計画値	100	
					実績値	54	実績値	100	実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	3点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由						理由							
各種団体・実行委員会へ運営助成金・補助金を交付し、自主的な運営を促し、市民の生涯スポーツの推進、地域住民の交流を図っている。						各種団体・実行委員会への運営助成金・補助金を交付し、自主的に運営をし、市民の生涯スポーツの推進、地域住民の交流を行っている。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公民館事業
-----	-------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	10	公民館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 市内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行う。	住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。	計画額	0	0	0	5,728	5,728	—	—
			当初予算額	0	0	0	4,340	4,340		
			決算額	0	0	0	2,521	2,521		
H27	公民館運営審議会・公民館協力委員会・親子教室・高齢者学級等の公民館全体の事業を行った。	館独特の色合いを強調させ、公民館の認知度を高めるため、寒川公民館長による「館長おでかけ講座」など、各公民館が自主事業を実施した。	計画額	0	0	0	1,428	1,428	0.2	1.8
			当初予算額	0	0	0	1,428	1,428		
			決算額	0	0	0	1,247	1,247		
H28	具体的取組 公民館運営審議会(2回) 公民館協力委員会(委託件数5件) 高齢者学級(委託件数5件) 親子教室(10講座)	各事業を継続するとともに、高齢者学級を魅力的な内容にするために、過去に実施した講座の情報を各館で情報共有した。	計画額	0	0	0	1,428	1,428	0.2	2.0
			当初予算額	0	0	0	1,446	1,446		
			決算額	0	0	0	1,274	1,274		
H29	公民館運営審議会・公民館協力委員会・親子教室・高齢者学級等の公民館全体の事業を行う。		計画額	0	0	0	1,436	1,436		
			当初予算額	0	0	0	1,466	1,466		
			決算額							
H30	公民館運営審議会・公民館協力委員会・親子教室・高齢者学級等の公民館全体の事業を行う。		計画額	0	0	0	1,436	1,436		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動 指標	公民館等自主講座数	公民館で実施されている自主講座数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	講座	計画値	210	計画値	220	計画値	220	計画値	220
					実績値	214	実績値	216	実績値		実績値	
成果 指標	公民館等自主講座生数	公民館の自主講座に参加している生徒数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	3,000	計画値	3,000	計画値	3,000	計画値	3,000
					実績値	2,857	実績値	2,959	実績値		実績値	
成果 指標	公民館利用者数	公民館施設の利用者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	80,000	計画値	80,000	計画値	80,000	計画値	80,000
					実績値	74,347	実績値	72,166	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	16点 /25点	5点	19点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	2点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の 方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	公民館の利用者が、利用者の高齢化や就労世代の利用者が伸び悩んでいることもあり、毎年減少傾向にあります。 公民館の機能には、単に交流活動の場所を提供しているだけではなく、各種自主講座による文化や芸術の継承等の側面もあるため、利用の機会を維持していきたいと考えています。						施設使用料及び減免規定の改定利用規程検討し、施設ごとの使用料のばらつきを解消する。 社会教育の奨励に必要な事業実施等は社会教育法で努めなければならないとされており、市が責任を持って実施すべきであり、講座参加者は満足度が高いが、利用者の高齢化や就労世代の利用者が伸び悩んでいる。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公民館管理事業
-----	---------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	10	公民館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	市内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行う。	住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。	計画額	0	0	8,880	168,333	177,213	—	—
			当初予算額	584	128,300	6,860	146,361	282,105		
			決算額	584	0	4,119	92,715	97,418		
H27	公民館の管理運営を行った。 旧鴨部幼稚園(新鴨部公民館)の園庭舗装工事を実施した。	利用者の利便性を向上をさせることで、生涯学習活動の活性化を図った。	計画額	0	0	2,220	43,124	45,344	0.6	3.8
			当初予算額	0	0	2,220	43,124	45,344		
			決算額	0	0	2,169	41,468	43,637		
H28	公民館の管理運営を行った。 津田公民館北山分館の耐震診断の実施。 長尾公民館西側及び郵便局東側駐車場の舗装。 長尾公民館造田分館空調機の移設。	適正な施設管理及び老朽部分の改修により施設利用者の生涯学習活動の環境を確保した。	計画額	0	0	2,220	41,547	43,767	0.3	4.2
			当初予算額	584	0	2,320	58,125	61,029		
			決算額	584	0	1,950	51,247	53,781		
H29	公民館の管理運営を行う。 津田公民館北山分館の耐震改修工事。 津田公民館調理室の空調機設置。		計画額	0	0	2,220	41,831	44,051		
			当初予算額	0	128,300	2,320	45,112	175,732		
			決算額							
H30	公民館の管理運営を行う。		計画額	0	0	2,220	41,831	44,051		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	公民館運営協力委員会開催数	各公民館において、より良く快適に公民館を使用するための会を開くことで公民館利用者数の増大を図る。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12	
					実績値	10	実績値	10	実績値		実績値		
成果指標	公民館利用者数	各公民館の利用者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	80,000	計画値	80,000	計画値	80,000	計画値	80,000	
					実績値	74,349	実績値	72,166	実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	17点 /25点	5点	18点 /25点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点							3点
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点							3点
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点							3点
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点							4点
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)								
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止				<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
理由	公民館施設の大半が築30年を経過しており、老朽がすすんでいる状態です。 平成27年に作成された、さぬき市公共施設再生基本計画でも指摘されているように、建物の状況や利用状況、運営状況から、施設の大規模な改修や移転を具体的に実施していく必要があります。				公民館は、地域のコミュニティ活動の拠点としてだけでなく、緊急避難場所・避難所に指定されている施設も多いため、維持管理については、今後も利用環境の向上に努めていくが、施設の老朽化が進み補修や大規模改修を必要とする箇所も増えている。 さぬき市公共施設再生基本計画に基づき、施設の統廃合や大規模な改修を検討していく必要がある。								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	働く婦人の家管理事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	25	社会教育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	働く女性のための、職場生活と家庭生活との調和と福祉の増進をするための事業を行うことを目的としているが、近年は男女共同参画により、男女関係なく総理解と協力で文化的な生活の増進を図っている。施設の利用を活発にするため、利用者協議会を設立し、利用者間で施設利用のさらなる活用への努力を行っている。	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。	計画額	0	0	1,168	16,795	17,963	—	—
			当初予算額	0	0	876	13,852	14,728		
			決算額	0	0	661	10,179	10,840		
H27	社会教育活動を円滑及び活発にするための拠点施設として、維持管理や効率的な運営に努めた。	志度働く婦人の家利用者協議会からの施設修繕要望に対応し、修繕等を行った。	計画額	0	0	292	4,168	4,460	0.2	0.5
			当初予算額	0	0	292	4,168	4,460		
			決算額	0	0	267	4,012	4,279		
H28	志度働く婦人の家階段手摺設置 志度働く婦人の家屋内土足化改修 志度働く婦人の家2階洋式トイレ設置	志度働く婦人の家について、利用者からの要望を基に、バリアフリー化や修繕を行い、利用環境を整えた。	計画額	0	0	292	4,172	4,464	0.2	0.6
			当初予算額	0	0	292	6,347	6,639		
			決算額	0	0	394	6,167	6,561		
H29	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。		計画額	0	0	292	4,225	4,517		
			当初予算額	0	0	292	3,337	3,629		
			決算額							
H30	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。		計画額	0	0	292	4,230	4,522		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	働く婦人の家運営委員会 開催回数	働く婦人の家における各種事業の企画実施について 調査審議する機関の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
					実績値	1	実績値	1	実績値		実績値		
成果指標	利用者数	働く婦人の家の利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	25,000	計画値	25,000	計画値	25,000	計画値	25,000	
					実績値	24,815	実績値	23,808	実績値		実績値		
成果指標	利用延べ回数	働く婦人の家の利用回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1,950	計画値	1,950	計画値	1,950	計画値	1,950	
					実績値	1,899	実績値	1,867	実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	16点 /25点	4点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	志度働く婦人の家は、公民館的利用をしており、年間を通じて定期使用団体や各種イベントが行われており、利用者数が多い施設(平成28年度 利用延べ人数17,981人)です。 さぬき市内の働く婦人の家は、2施設ともに築30年を経過しており老朽がすすんでいる状態ですが、施設の改修等によって利用環境を維持し、利用者数の維持に努めていきたいと考えています。						地域のコミュニティ活動の拠点として、維持管理については、今後も利用環境の向上に努めていくが、施設の老朽化が進み補修を必要とする箇所も増えている。 施設使用料及び減免規定の改定利用規程を公民館に準じるように検討する。 また、さぬき市公共施設再生基本計画に基づき、施設の統廃合や大規模な改修を検討していく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	生涯学習館管理事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	25	社会教育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	市民の生涯学習活動の場、地域の拠点として生涯学習館の維持管理を行う。	企業従業員の教育研修及び人材育成を図り、地域の産業振興及び技術向上に寄与する。さらに、市民の学習活動の場に供し、企業と住民の交流と融和を図る。	計画額	0	0	732	10,600	11,332	—	—
			当初予算額	0	0	549	8,105	8,654		
			決算額	0	0	331	6,068	6,399		
H27	社会教育活動を円滑及び活発にするための拠点施設として、維持管理し効率的な運営に努めた。	老朽化した高圧開閉器の交換を行い、利用環境の向上に努めた。	計画額	0	0	183	2,648	2,831	0.2	0.2
			当初予算額	0	0	183	2,648	2,831		
			決算額	0	0	174	3,164	3,338		
H28	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。	屋上の雨漏り・水道の水漏れ修繕等、細かな修繕を行い、利用環境の向上に努めた。	計画額	0	0	183	2,648	2,831	0.2	0.2
			当初予算額	0	0	183	2,870	3,053		
			決算額	0	0	157	2,904	3,061		
H29	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。		計画額	0	0	183	2,652	2,835		
			当初予算額	0	0	183	2,587	2,770		
			決算額							
H30	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。		計画額	0	0	183	2,652	2,835		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動 指標	合同清掃開催数	利用者同士で清掃を行うことで利用しやすい環境を整えるとともに、交流と融和を図る。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	2	実績値	2	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
成果 指標	利用者数	生涯学習館の利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	15,500	計画値	15,500	計画値	15,500	計画値	15,500
					実績値	12,121	実績値	12,604	実績値		実績値	
	利用延べ回数	生涯学習館の利用回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000
					実績値	929	実績値	961	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	16点 /25点	5点		19点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		5点			
今後の 方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
	理由											
平成28年度は、利用者数がやや増加の傾向にある。引き続き施設のこまめな維持管理を心掛け、増加した利用者の定着を図りたい。				地域のコミュニティ活動の拠点として、維持管理については、今後も利用環境の向上に努めていくが、施設の老朽化が進み補修を必要とする箇所も増えている。施設使用料及び減免規定の改定利用規程を公民館に準じるように検討する。								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	青少年交流プラザ管理事業
-----	--------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年6月28日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	25	社会教育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	市民の相互交流を図り、広く生涯学習を展開する拠点として、さぬき市青少年交流プラザの維持管理を行う事業である。	交流プラザの情報を市民に提供する場としての性質だけでなく、老若男女問わず交流できる場や会議・イベントを行う場としての機能を持つ施設の管理運営を行う。	計画額	0	0	1,088	20,360	21,448	—	—
			当初予算額	0	0	814	15,873	16,687		
			決算額	0	0	365	10,549	10,914		
H27	青少年交流プラザの管理運営を行った。	憩いの場としての利用だけでなく、ボランティアなど各団体の会議の利用や図書館との共催等のイベントを行った。また、月末日休館を変更することにより、利用者の増加を図った。	計画額	0	0	272	5,090	5,362	0.4	0.2
			当初予算額	0	0	272	5,090	5,362		
			決算額	0	0	193	5,295	5,488		
H28	青少年交流プラザの管理運営を行う。 平成28年度は、シーリングファンの点検を行う。	憩いの場としての利用だけでなく、ボランティアなど各団体の会議の利用や図書館との共催等のイベントを行った。机椅子等の配置換えを行うことにより、来館者により快適に過ごしてもらえ空間を作った。	計画額	0	0	272	5,090	5,362	0.4	0.2
			当初予算額	0	0	271	5,443	5,714		
			決算額	0	0	172	5,254	5,426		
H29	青少年交流プラザの管理運営を行う。		計画額	0	0	272	5,090	5,362		
			当初予算額	0	0	271	5,340	5,611		
			決算額							
H30	青少年交流プラザの管理運営を行う。		計画額	0	0	272	5,090	5,362		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	行事開催数	青少年交流プラザで開催した行事数 (ふれあいコーナー)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	3	実績値	6	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	ふれあいコーナー利用者数	青少年交流プラザのふれあいコーナーの利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	10,000	計画値	10,000	計画値	10,000	計画値	10,000
					実績値	8,771	実績値	8,944	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	20点 /25点	4点		18点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	平成27年度には青少年交流プラザ(志度図書館)の入館者数の回復が見込めたが、平成28年度については減少に転じた。しかし、ふれあいコーナーの利用者数については、行事だけでなく会議での利用があり増加した。ふれあいコーナーの積極的な利用により、青少年交流プラザ全体の入館者数にもつなげていきたい。				入館者数は減少したが、青少年交流プラザを利用したイベントの取組や月末日休館の変更(月末日が土・日曜日の場合は木曜日に変更)などにより、利用者サービスの改善に努めている。ふれあいコーナー等の積極的な利用(会議やイベントなど)により、入館者数を増加させていきたい。 地域密着型、かつ、全世代対応型の施設であることから、今後も必要最小限の経費で長く継続する必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	南川自然の家管理事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月11日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	25	社会教育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、自然教室や体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る。	青少年の健全育成事業の一環として、自然体験学習及び集団宿泊学習における教育活動の一端を担う。	計画額	0	0	7,444	13,558	21,002	—	—
			当初予算額	0	0	5,891	16,732	22,623		
			決算額	0	0	4,416	7,079	11,495		
H27	児童・生徒が豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、友情や連帯感を深めるとともに、体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る拠点となる施設として、維持管理・運営に努めた。	管理員を常時雇用したことにより、相談及び見学等施設利用者に利便性を高めることができ、また、料金徴収の面においても有効な手段となった。	計画額	0	0	1,861	3,356	5,217	0.4	1.0
			当初予算額	0	0	1,861	3,356	5,217		
			決算額	0	0	2,322	2,608	4,930		
H28	児童・生徒が豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、友情や連帯感を深めるとともに、体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る拠点となる施設として、維持管理し、運営する。	管理員の雇用方法に変化をもたせ、土・日及び祝日に2人体制とすることで、来場者及び利用者の対応に則した形となった。	計画額	0	0	1,861	3,360	5,221	0.3	2.0
			当初予算額	0	0	2,020	4,837	6,857		
			決算額	0	0	2,094	4,471	6,565		
H29	児童・生徒が豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、友情や連帯感を深めるとともに、体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る拠点となる施設として、維持管理し、運営する。		計画額	0	0	1,861	3,419	5,280		
			当初予算額	0	0	2,010	8,539	10,549		
			決算額							
H30	児童・生徒が豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、友情や連帯感を深めるとともに、体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る拠点となる施設として、維持管理し、運営する。		計画額	0	0	1,861	3,423	5,284		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	PR活動	雑誌及び電話相談における施設のPR回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	5	計画値	8	計画値	10	計画値	10	
					実績値	7	実績値	8	実績値		実績値		
成果指標	施設利用者数	自然体験学習や集団宿泊学習のため、また、趣味・娯楽のため訪れる利用者の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	8,000	計画値	9,000	計画値	9,500	計画値	9,500	
					実績値	10,432	実績値	8,704	実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	管理員の雇用等ソフト面の充実を期してきているが、講堂や宿泊棟の屋根葺き替え等改修工事や、施設の老朽化に対する維持工事が必要となってきている。						東讃圏域で集団宿泊施設を市営で運営している施設は当該箇所のみであり、また、個人キャンパーから集団までの多様な分野において利用可能な面もあり現状維持とした。 豊かな自然環境の中で、集団生活や野外活動が体験できる施設の存在意義は非常に高い。 管理員の雇用等ソフト面の充実を期してきているが、講堂や宿泊棟の屋根葺き替え等改修工事や、施設の老朽化に対する維持工事が必要となってきている。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	図書館管理事業
-----	---------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年6月28日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	30	図書館管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 市民への図書館サービスの拡大と地域の活性化を図るため、さぬき市図書館の総括的な事業を行う。	図書館協議会や子ども読書活動推進会議の図書館関係会議や図書館システム等両図書館に共通する事業である。	計画額	0	0	48	18,348	18,396	—	—
			当初予算額	0	0	36	13,002	13,038		
			決算額	0	0	26	7,073	7,099		
H27	平成27年10月に図書館新システムを導入した。 ※図書館協議会、子ども読書活動推進会議、ブックスタート事業への参加など、図書館全体としての共通事業であるため、本事業には志度・寒川両図書館で不可分な共通経費を計上している。	図書館協議会委員を追加募集し、1名充足した。図書館協議会を計画通り実施したほか、子ども読書活動推進会議については、計画見直しもあり、例年より1回多く実施した。	計画額	0	0	12	4,587	4,599	0.9	0.9
			当初予算額	0	0	12	4,587	4,599		
			決算額	0	0	12	3,193	3,205		
H28	図書館協議会、子ども読書活動推進会議、ブックスタート事業への参加など、図書館全体の事業の運営を行う。従って、本事業は、志度・寒川両館で不可分な共通経費を計上する。	図書館協議会委員の改選年度であり、関係団体の推薦や公募3名行い、定員の10名で図書館協議会を計画通り実施したほか、子ども読書活動推進会議についても、計画通り実施した。	計画額	0	0	12	4,587	4,599	0.9	0.9
			当初予算額	0	0	12	3,940	3,952		
			決算額	0	0	14	3,880	3,894		
H29	図書館協議会、子ども読書活動推進会議、ブックスタート事業への参加など、図書館全体の事業の運営を行う。従って、本事業は、志度・寒川両館で不可分な共通経費を計上する。		計画額	0	0	12	4,587	4,599		
			当初予算額	0	0	12	4,475	4,487		
			決算額							
H30	図書館協議会、子ども読書活動推進会議、ブックスタート事業への参加など、図書館全体の事業の運営を行う。従って、本事業は、志度・寒川両館で不可分な共通経費を計上する。		計画額	0	0	12	4,587	4,599		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	図書館協議会開催回数	図書館運営に関し館長の諮問に応じるとともに図書館サービスについて意見を述べる会議の回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
	子ども読書活動推進会議開催回数	子ども読書活動の効果的な推進を図るための会議の回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
成果指標	貸出点数	視聴覚資料等を含めた書籍類の貸出点数(志度・寒川図書館合計点数)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	点	計画値	157,000	計画値	157,000	計画値	157,000	計画値	157,000
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	161,292	実績値	157,089	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	19点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	さぬき市図書館が一層良くなるために図書館協議会や子どもの読書について考える子ども読書活動推進会議やブックスタートなど、両図書館が共通する事業をスムーズに行うため、連絡を取り合い連携を図る。						さぬき市図書館をよりよくするための図書館協議会、子どもの読書について考える子ども読書推進会議やブックスタートなど、両図書館が共通する事業をスムーズに行うため、連絡を取り合い連携を図っていく。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	寒川図書館管理事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	30	図書館管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 図書館は、市民が教養を深めたり、問題解決や自己実現に向けた活動をするための生涯学習の拠点としての身近な施設である。昨今の社会情勢は高度化・専門化・多様化しており、変化に対応するための資料の提供場所として図書館の必要性が高まっている。そのため、資料を収集・保存・提供するとともに、図書館サービスの充実を図る。	市民や図書館利用者に十分な情報が提供できるよう、図書購入や職員・司書等の図書館運営に必要な知識の強化による図書館の充実、また、学校との連携による子どもの読書推進等を目的とする。	計画額	0	0	128	37,976	38,104	—	—
			当初予算額	0	0	46	30,061	30,107		
			決算額	0	0	134	18,341	18,475		
H27	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供した。児童を対象にした子ども実験教室やボランティア団体養成講座等の行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行った。	おはなし会、工作教室、読書週間行事などを開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行った。	計画額	0	0	32	9,494	9,526	0.7	2.4
			当初予算額	0	0	32	9,494	9,526		
			決算額	0	0	132	9,357	9,489		
H28	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、児童を対象にした行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。	おはなし会や新しい行事として図書館クイズ・図書関連のビンゴゲーム・ミニコンサートなどを開催して、子どもの図書への推進に取り組みました。	計画額	0	0	32	9,494	9,526	0.7	2.4
			当初予算額	0	0	13	9,276	9,289		
			決算額	0	0	2	8,984	8,986		
H29	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、児童を対象にした行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。		計画額	0	0	32	9,494	9,526		
			当初予算額	0	0	1	11,291	11,292		
			決算額							
H30	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、児童を対象にした子ども実験教室やボランティア団体養成講座等の行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。		計画額	0	0	32	9,494	9,526		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	図書館行事	図書館で開催している行事	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	3	実績値	4	実績値		実績値	
	新規購入の図書冊数	新しく購入した図書の冊数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	冊	計画値	900	計画値	900	計画値	900	計画値	900
					実績値	869	実績値	896	実績値		実績値	
成果指標	来館者数	寒川図書館に来館した人数(貸出・返却者含む)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	43,000	計画値	43,000	計画値	43,000	計画値	43,000
					実績値	42,016	実績値	46,077	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	平成27年・28年と図書館の入館者数も利用者増えている。今後はさらに図書の充実や図書館行事など、地域との関連した図書館にしていきたい。						図書館資料の充実や行事の工夫・周知などにより来館者は増加している。今後も、図書の充実・テーマ展示などをし、図書の配架場所を利用者にわかりやすくし、利用者サービスの向上に努めたい。 生涯学習の拠点となる施設であることから、今後も資料の充実化を図ることで文化のまちづくりに有効に寄与できるものである。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	志度図書館管理事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年6月28日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	30	図書館管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	計画額	事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 市民に必要な情報を提供するとともに、生涯学習の拠点として志度図書館を管理運営するための事業である。	市民や図書館利用者に十分な情報が提供できるよう、図書購入や職員・司書等の図書館運営に必要な知識の強化による図書館の充実、また、学校との連携による子どもの読書推進等を目的とする。	計画額	0	0	88	64,324	64,412	—	—
			当初予算額	0	0	66	48,919	48,985		
			決算額	0	0	18	31,705	31,723		
H27	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供した。各種行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行った。	26年度から開始した雑誌スポンサー制度について、27年度も同様の協力が得られた。また、減少傾向にあった図書貸出冊数も、回復しつつある。	計画額	0	0	22	16,081	16,103	1.0	4.2
			当初予算額	0	0	22	16,081	16,103		
			決算額	0	0	12	15,704	15,716		
H28	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、各種行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。	雑誌スポンサー制度については、28年度は1社の離脱があったが、新たに1社の協力が得られた。ボランティア団体のおはなし会を行うことにより未就学児や小学生等の集客を行ったが、全体の来館者数は減少した。	計画額	0	0	22	16,081	16,103	1.0	4.2
			当初予算額	0	0	22	16,324	16,346		
			決算額	0	0	6	16,001	16,007		
H29	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、各種行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。		計画額	0	0	22	16,081	16,103		
			当初予算額	0	0	22	16,514	16,536		
			決算額							
H30	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、各種行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。		計画額	0	0	22	16,081	16,103		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	新規購入図書冊数	新しく購入した図書の冊数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	冊	計画値	2,200	計画値	2,200	計画値	2,200	計画値	2,200
					実績値	1,904	実績値	1,791	実績値		実績値	
活動指標	学校図書館支援活動	学校図書館への協力・支援活動の回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	3	実績値	5	実績値		実績値	
成果指標	入館者数	志度図書館に来館した人数(貸出返却者数含む)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	100,000	計画値	100,000	計画値	100,000	計画値	100,000
					実績値	97,077	実績値	92,046	実績値		実績値	
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	平成27年度には入館者数・利用者数・貸出冊数ともに増加の傾向にあったが、平成28年度はいずれも減少した。今後も図書館資料の充実、行事の充実や図書館自体の周知など、図書館利用に努力していきたい。						図書館資料の充実や行事の工夫・周知行っているもの、情報化社会の影響を受けてか来館者数・貸出冊数は減少した。今後も、図書の充実・テーマ展示などの工夫・周知を行い、図書の配架場所を利用者にわかりやすくすることで、利用者サービスの向上に努めたい。 生涯学習の拠点となる施設であることから、今後も資料の充実化を図ることで文化のまちづくりに有効に寄与できるものである。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	雨滝自然科学館事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	35	資料館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 四国内でも特筆すべき自然科学系の施設であり、世界最古のナマズ科化石を始めとする動植物化石の宝庫である雨滝山周辺の自然環境を次の世代に伝えるため、地域の資料を収集・展示をし、普及活動に努める。また、学校関係への体験学習を実施することを通して子どもたちが地域の自然を考えるきっかけづくりを提供する。	さぬき市内や県内の自然科学に関する資料を展示することにより、自然科学に興味を持ってもらうと共に、自然環境を次世代に伝えていく。	計画額	0	0	0	37,276	37,276	—	—
			当初予算額	0	0	0	27,653	27,653		
			決算額	0	0	0	17,092	17,092		
H27	・雨滝自然科学館の最低限の維持管理。 ・小・中学校の長期休暇に合わせて、企画展と親子教室を年間3回開催。 ・市内小学校への体験学習の実施。	さぬき市内をはじめ県内の自然科学をわかりやすく伝えるために情報発信をしているが、館運営体制を整備・強化する必要がある。	計画額	0	0	0	9,227	9,227	0.5	3.0
			当初予算額	0	0	0	9,227	9,227		
			決算額	0	0	0	8,572	8,572		
H28	具体的取組 ・雨滝自然科学館の最低限の維持管理。 ・企画運営に係る業務を行う。 ・市内小学校への体験学習の実施。	自然科学に対する興味を持ってもらうため、わかりやすい展示で情報発信をしているが、設備等の経年変化に対応する必要がある。	計画額	0	0	0	9,227	9,227	0.3	2.0
			当初予算額	0	0	0	8,914	8,914		
			決算額	0	0	0	8,520	8,520		
H29	・雨滝自然科学館の最低限の維持管理。 ・企画運営に係る業務を行う。 ・市内小学校への体験学習の実施。		計画額	0	0	0	9,411	9,411		
			当初予算額	0	0	0	9,512	9,512		
			決算額							
H30	・雨滝自然科学館の最低限の維持管理。 ・企画運営に係る業務を行う。 ・市内小学校への体験学習の実施。		計画額	0	0	0	9,411	9,411		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	企画展開催数	企画展開催数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	3	実績値	3	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	観覧者数	雨滝自然科学館に来館した人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	10,000	計画値	10,000	計画値	10,000	計画値	10,000
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	16,979	実績値	18,183	実績値		実績値	
	親子教室参加者数	親子教室に参加した人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	1,065	実績値	2,184	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	16点 /25点	4点		18点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
企画展開催数は平成27年度と同じだが、観覧者数と親子教室参加者数は増加している。今後も観覧者が自然科学について楽しく学べる施設になるように施設運営や管理を行っていく。						自然科学学習や自然とのふれあいが大切であるといわれている時代背景がある中、施設の存在意義は高い。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	津田郷土館管理事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	35	資料館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	津田地区を中心とする貴重な歴史資料を保管展示するための事業。	主に津田地区に伝承され続ける歴史、民俗を次の世代に伝える。	計画額	0	0	0	1,594	1,594	—	—
			当初予算額	0	0	0	1,177	1,177		
			決算額	0	0	0	751	751		
H27	津田郷土館の最低限の維持管理費。	適正な維持管理に努めた。歴史民俗資料館をはじめとする他の施設との一体的な展示を検討する必要がある。	計画額	0	0	0	395	395	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	395	395		
			決算額	0	0	0	379	379		
H28	津田郷土館の最低限の維持管理費。	適正な維持管理に努めたが、歴史民俗資料館をはじめとする他の施設との一体的な展示を検討する必要がある。	計画額	0	0	0	395	395	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	395	395		
			決算額	0	0	0	372	372		
H29	津田郷土館の最低限の維持管理費。		計画額	0	0	0	402	402		
			当初予算額	0	0	0	387	387		
			決算額							
H30	津田郷土館の最低限の維持管理費。		計画額	0	0	0	402	402		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	津田郷土館利用回数	郷土館の利用回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10
					実績値	8	実績値	5	実績値		実績値	
成果指標	津田郷土館入館者数	郷土館入館者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	500	計画値	500	計画値	500	計画値	500
					実績値	300	実績値	180	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	14点 ／25点	3点	15点 ／25点						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	2点		2点							
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	2点		3点							
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点		3点							
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点							
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
方向性	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
今後の方向性	理由						理由					
	津田地区の歴史資料を保存する施設としては必要な施設である。						津田地区の歴史資料を保存する施設として、必要な施設である。今後は、他の類似施設との統廃合を検討していく必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	さぬき市歴史民俗資料館管理事業
-----	-----------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	35	資料館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	本市唯一の歴史民俗資料館として、所蔵する資料の展示の充実をさせ、地域に伝承され続ける歴史、民俗を次の世代に伝えるため、地域の資料を収集・展示をし、普及活動に努める。また、学校関係への学習見学を実施することを通して子どもたちが地域の歴史、民俗を考えるきっかけづくりを提供する。	さぬき市の歴史、民俗を資料展示等を通して次の世代に伝えていく。	計画額	0	0	320	13,658	13,978	—	—
			当初予算額	0	0	244	10,520	10,764		
			決算額	0	0	94	7,123	7,217		
H27	さぬき市歴史民俗資料館の最低限の維持管理業務、資料館として地域の貴重な資料を保管展示するための業務、企画運営に係る業務を行った。	設備等の経年変化に対応する必要がある。	計画額	0	0	80	3,381	3,461	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	80	3,381	3,461		
			決算額	0	0	64	3,407	3,471		
H28	さぬき市歴史民俗資料館の最低限の維持管理業務。資料館として地域の貴重な資料を保管展示するための業務、企画運営に係る業務を行う。	本市の歴史を分かりやすく伝えるための展示を行い、特に古代の特徴を分かりやすく展示した。	計画額	0	0	80	3,381	3,461	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	84	3,593	3,677		
			決算額	0	0	30	3,716	3,746		
H29	さぬき市歴史民俗資料館の最低限の維持管理業務。資料館として地域の貴重な資料を保管展示するための業務、企画運営に係る業務を行う。		計画額	0	0	80	3,448	3,528		
			当初予算額	0	0	80	3,546	3,626		
			決算額							
H30	さぬき市歴史民俗資料館の最低限の維持管理業務。資料館として地域の貴重な資料を保管展示するための業務、企画運営に係る業務を行う。		計画額	0	0	80	3,448	3,528		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	企画行事等	企画行事数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2	実績値	1	実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値		
成果指標	歴史民俗資料館入館者数	歴史民俗資料館の入館者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	2,000	計画値	2,000	計画値	2,000	計画値	2,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2,029	実績値	3,106	実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由						理由							
本市の歴史を分かりやすく伝えるためには必要な施設であり、今後も市民に本市の歴史を伝えるためには必要な施設である。						本市の歴史を伝える施設であり、今後も本市の歴史を分かりやすく伝えるための調査を行い、成果を企画展示等で公開する施設として必要である。 歴史に関心を示す市民の郷土史学習の場として、体験的に伝統産業や郷土史を学ぶことができる施設である。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	門入工房管理事業
-----	----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	40	文化振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	施設管理を行うと共に市内文化芸術関係者及び文化団体等の連携、創作意欲の助長と活動育成を図る。	市民が芸術作品等を創作する場の提供。	計画額	0	0	0	770	770	—	—
			当初予算額	0	0	0	573	573		
			決算額	0	0	0	244	244		
H27	施設の適正な維持管理に努めた。	これまでの活動を行いながら、利用しやすい環境を整えた。	計画額	0	0	0	191	191	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	191	191		
			決算額	0	0	0	111	111		
H28	施設の維持管理をする。	施設の適切な管理に努めた。	計画額	0	0	0	191	191	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	191	191		
			決算額	0	0	0	133	133		
H29	施設の維持管理をする。		計画額	0	0	0	194	194		
			当初予算額	0	0	0	191	191		
			決算額							
H30	施設の維持管理をする。		計画額	0	0	0	194	194		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	利用件数	門入工房を利用した件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	70	計画値	70	計画値	70	計画値	70
					実績値	68	実績値	13	実績値		実績値	
成果指標	団体数	門入工房を利用した団体数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	団体	計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値	3
					実績値	2	実績値	2	実績値		実績値	
成果指標	利用者数	門入工房を利用した人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	400	計画値	400	計画値	400	計画値	400
					実績値	480	実績値	111	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		3点	15点 /25点	4点		17点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	市民が陶芸をはじめとした芸術活動を行うための施設として、必要な施設である。						市民が気軽に陶芸等の工芸作品を製作するための施設として、必要である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	社会体育施設管理事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	08	体育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	生涯スポーツの振興・普及のための拠点施設である社会体育施設の維持管理を行い、健康で活力と活気にあふれた街づくりの創生を行う。	スポーツ基本法の理念に基づき市民が生涯にわたって自主的かつ自律的にその適性及び健康状態に応じたスポーツを行うことができる施設の整備・改善等を行う。	計画額	0	0	13,268	43,257	56,525	—	—
			当初予算額	0	0	9,645	35,919	45,564		
			決算額	0	0	6,043	23,585	29,628		
H27	利用者に安心・安全な施設を提供するための維持修繕を行った。	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	3,317	11,074	14,391	0.3	0.2
			当初予算額	0	0	3,317	11,074	14,391		
			決算額	0	0	3,149	12,830	15,979		
H28	利用者に安心・安全な施設を提供するための維持修繕を行う。	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	3,317	10,663	13,980	0.5	0.6
			当初予算額	0	0	3,159	11,488	14,647		
			決算額	0	0	2,894	10,755	13,649		
H29	利用者に安心・安全な施設を提供するための維持修繕を行う。		計画額	0	0	3,317	10,760	14,077		
			当初予算額	0	0	3,169	13,357	16,526		
			決算額							
H30	利用者に安心・安全な施設を提供するための維持修繕を行う。		計画額	0	0	3,317	10,760	14,077		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	定期使用説明会の実施	各地区毎に定期使用説明会を行うことで、効率的な施設の使用を促す。(志度、津田、大川、長尾、寒川、各1回ずつ)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	5	実績値	5	実績値		実績値	
成果指標	社会体育施設の利用者数	施設の利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	127,000	計画値	127,000	計画値	127,000	計画値	127,000
	社会体育施設利用者の事故発生数	社会体育施設利用者の事故発生数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	118,314	実績値	123,937	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	18点 /25点	4点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	社会体育施設としては、体育館を中心に高い使用率を維持している。しかし、老朽化の進んだ施設が増加していることから修繕の要望は年々増加しており、また、雨漏りといった大規模な対応が必要な事例も発生してきている。これらのことから、今後も維持管理費は増加していくとの前提のもとに、小規模な修繕で対応できる部分については現状維持を行いながら、長寿命化や統廃合を含めた長期的な視点で社会体育施設の維持管理について考えていく必要がある。						幼児から高齢者までの市民のスポーツ推進と健康増進を支援していくことは今後においても必要であり、自治体にはスポーツ基本法に基づきその環境を積極的につくる役割がある。社会体育施設としては、体育館を中心に高い使用率を維持している。しかし、老朽化の進んだ施設が増加していることから修繕の要望は年々増加しており、また、雨漏りといった大規模な対応が必要な事例も発生してきている。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校開放施設管理事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	08	体育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	学校体育施設を地域住民に開放し、生涯スポーツ、青少年の健全育成の推進を図り、住民の健康体力づくりの拠点施設として活用するための維持管理を行う。	学校体育施設を地域住民に開放し、生涯スポーツ、青少年の健全育成の推進を図り、住民の健康体力づくりの拠点施設として活用する。	計画額	0	0	8,596	34,328	42,924	—	—
			当初予算額	0	0	6,059	26,375	32,434		
			決算額	0	0	3,636	18,033	21,669		
H27	安心・安全な施設を住民に提供するための維持修繕を行った。	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	2,149	8,544	10,693	0.2	0.2
			当初予算額	0	0	2,149	8,544	10,693		
			決算額	0	0	1,896	9,039	10,935		
H28	安心・安全な施設を住民に提供するための維持修繕を行う。	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	2,149	8,544	10,693	0.4	0.3
			当初予算額	0	0	2,000	9,056	11,056		
			決算額	0	0	1,740	8,994	10,734		
H29	安心・安全な施設を住民に提供するための維持修繕を行う。		計画額	0	0	2,149	8,620	10,769		
			当初予算額	0	0	1,910	8,775	10,685		
			決算額							
H30	安心・安全な施設を住民に提供するための維持修繕を行う。		計画額	0	0	2,149	8,620	10,769		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	定期使用説明会の実施	各地区毎に定期使用説明会を行うことで、効率的な施設の使用を促す。(志度、津田、大川、長尾、寒川、各1回ずつ)	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	5	実績値	5	実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	施設利用者数	施設利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	200,000	計画値	200,000	計画値	200,000	計画値	200,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	181,001	実績値	153,964	実績値		実績値		
	学校開放施設利用者の事故発生数	学校開放施設利用者の事故発生数		<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	0	実績値	0	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点		19点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	理由						理由						
団体が行うスポーツ及びレクリエーションの利用に供するため、小学校及び中学校の体育館を開放している。現在、スポーツ少年団や社会体育団体等、様々な団体が利用している。今後も利用者が安全に利用できるように、維持管理を行い社会体育の普及に努めていく。						誰でも気軽にスポーツができる学校体育施設の開放は、地域における生涯スポーツの中核であり、市が主体的に運営管理する必要がある。また、地域団体を支援・育成することは地域スポーツの推進に繋がるため必要である。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	B&G海洋センター管理運営
-----	---------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	35	海洋センター管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 カヌーや水泳等の海洋性スポーツレクリエーションを通じて、青少年の健全育成と幼児から高齢者までの健康づくりの拠点としての施設整備や維持管理、また更なる事業規模の拡大振興を図る。	次世代を担う子供たちの健やかな心や体の育成及び地域の健康の増進、さらに四国ブロックマリンスポーツ大会等をおして向上心や競争心の養成、相互の親睦・交流を図り様々なより広い視野をもってもらふこと。	計画額	0	0	6,824	30,818	37,642	—	—
			当初予算額	0	149,800	72,034	10,313	232,147		
			決算額	0	0	3,519	9,478	12,997		
H27	水泳教室・カヌー教室・アクアフィットネス教室・マリンスポーツ大会・水泳大会	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	1,706	7,636	9,342	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	1,706	7,636	9,342		
			決算額	0	0	1,726	6,058	7,784		
H28	具体的取組 水泳教室・カヌー教室・アクアフィットネス教室・マリンスポーツ大会・水泳大会	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	1,706	7,682	9,388	0.6	0.1
			当初予算額	0	69,800	34,917	1,273	105,990		
			決算額	0	0	1,793	3,420	5,213		
H29	水泳教室・カヌー教室・アクアフィットネス教室・マリンスポーツ大会・水泳大会		計画額	0	0	1,706	7,750	9,456		
			当初予算額	0	80,000	35,411	1,404	116,815		
			決算額							
H30	水泳教室・カヌー教室・アクアフィットネス教室・マリンスポーツ大会・水泳大会		計画額	0	0	1,706	7,750	9,456		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	教室開催数	水泳、アクアフィットネス、カヌーなど各種教室開催延回数	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	18	計画値	18	計画値	6	計画値	18	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	18	実績値	18	実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	施設利用者数	施設利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	20,000	計画値	20,000	計画値	20,000	計画値	20,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	19,558	実績値	17,337	実績値		実績値		
	施設利用者の事故発生数	施設利用者の事故発生数		<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	0	実績値	0	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点		18点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由						理由							
プールの改修工事を実施する。中学校の受入れも考慮し、更衣室を増築する予定である。改修後は、オープニングセレモニーを実施し、多くの人に利用してもらえるよう努め、今後も利用者にとって安全な施設管理を行っていく。						豊かな自然環境の中で、マリンスポーツの体験や、プールでの水泳教室の実施など施設の存在意義は非常に高い。 各種教室については、参加者の増減はあるもののマリンスポーツの推進や健康増進を図るため、続けていくべきだと考えている。 しかし、プールの老朽化により、利用者の安全が確保できなくなっており、部分修繕では対応することが困難なことから、大規模修繕を要する。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	総合運動公園管理事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月10日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	42	総合運動公園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 効率的な施設運営のため、市内3箇所にある総合運動公園を指定管理者制度を導入し、サービスの向上生涯スポーツの普及・振興を図る。また、スポーツ活動及び憩いの場として安全快適な施設の提供と適正な管理運営に努める。	市民の健康と体力づくりや各種イベント等スポーツ活動だけでなく、地域間交流や校外活動の場としての役割を担う施設であり、適正な管理運営を行うことで健康で活力のある人・街づくりを目的としている。	計画額	0	0	2,144	180,862	183,006	—	—
			当初予算額	0	0	1,584	125,869	127,453		
			決算額	0	0	998	89,711	90,709		
H27	・テニスコート照明灯塗装・テニスコート人工芝部分張替・芝生広場トイレ改修工事・汚水処理施設修繕・野球場バックスクリーン塗装・コテージ塗装及びエアコン設置・パターゴルフ塗装・防球ネット修繕・駐車場区画線修繕 等	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	536	44,801	45,337	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	536	44,801	45,337		
			決算額	0	0	474	45,625	46,099		
H28	・テニスコート人工芝部分張替・高圧受電設備修繕・運動広場バックネット塗装・雨水処理施設修繕・防球ネット修繕・照明修繕・コテージ塗装及びエアコン設置・駐車場区画線修繕・多目的広場芝補植 等	指定管理者と連携し、適正な施設管理を行い施設利用者の活動の場を確保した。今後も連携を密にし長寿命化による経費削減と状況に応じた修繕を継続して行う。	計画額	0	0	536	44,801	45,337	0.5	0.0
			当初予算額	0	0	470	39,657	40,127		
			決算額	0	0	524	44,086	44,610		
H29	【予定】・テニスコート人工芝部分張替・伐採及び剪定・防球ネット修繕・照明修繕・貯水槽清掃・コテージ塗装及びエアコン設置・消防設備修繕・スポーツトラクタ購入 等		計画額	0	0	536	45,630	46,166		
			当初予算額	0	0	578	41,411	41,989		
			決算額							
H30	指定管理者と連携して施設利用者が安全・快適に利用できるよう整備を行い、市民に交流と憩いの場の提供と健康で活力のある街づくりに努める。		計画額	0	0	536	45,630	46,166		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	総合運動公園施設の日常点検回数	指定管理者による遊具の点検を含む施設の日常点検回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	13	計画値	13	計画値	13	計画値	13	
					実績値	13	実績値	13	実績値		実績値		
活動指標	運動広場の清掃活動回数	施設管理のための除草や清掃等の活動回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	67	計画値	67	計画値	67	計画値	67	
					実績値	67	実績値	74	実績値		実績値		
成果指標	施設利用者数	施設利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	130,000	計画値	130,000	計画値	130,000	計画値	130,000	
					実績値	121,161	実績値	113,990	実績値		実績値		
成果指標	公園利用者の事故発生数	公園利用者の事故発生数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0	
					実績値	0	実績値	0	実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	<p>スポーツ基本法において、スポーツは心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自立心その他の精神の涵養等のために個人または集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとされている。また、同法第12条には国民が身近にスポーツに親しむことが出来るスポーツ施設の整備等に努めなければならないとされており、今後も市民スポーツの活動と憩いの場所を確保し、指定管理者と連携して生涯スポーツの普及と振興に努めることが重要であると考えている。しかしながら、人口減少や施設の老朽化が進む中、施設維持に係る管理経費や施設利用の在り方など課題が生じていることから、長期的な視点で計画的な更新や統廃合・長寿命化等を行い、財政負担の軽減や公共施設の最適な配置の検討が必要であると感している。</p>						<p>指定管理者と一体となって、利用者が安全・快適に利用できるよう施設設備の修繕を行う。なお、危険な遊具等を撤去し、安心して安全な施設の提供を図る。また、住民に交流と憩いの場を提供し、健康で活力ある街づくりに努める。</p> <p>しかしながら、人口減少や施設の老朽化が進む中、施設維持に係る管理経費や施設利用の在り方など課題が生じていることから、長期的な視点で計画的な更新や統廃合・長寿命化等を行い、財政負担の軽減や公共施設の最適な配置の検討が必要であると感している。</p>						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	社会体育施設整備事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月4日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	08	体育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	市民スポーツの活動拠点となる社会体育施設を建設する。	学校再編計画に基づき廃止された学校開放施設に代わる新たな施設を集約して社会体育施設を整備することにより、市民スポーツの活動拠点ならびに避難所としての機能を確保する。	計画額	0	528,100	73,070	13,438	614,608	—	—
			当初予算額	0	488,700	54,300	38	543,038		
			決算額	0	2,800	367	41	3,208		
H27			計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	・社会体育施設整備に向けた各種取組	社会体育施設の整備に向け、実施設計に着手するとともに、各種関係機関と協議を実施した。	計画額	0	0	18,770	0	18,770	0.3	0.2
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	2,800	367	41	3,208		
H29	・社会体育施設整備工事の着手		計画額	0	488,700	54,300	38	543,038		
			当初予算額	0	488,700	54,300	38	543,038		
			決算額							
H30	・外構工事等の着手		計画額	0	39,400	0	13,400	52,800		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	実施設計の策定件数	建築及び外構工事に係る実施設計の策定件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	0	計画値	1	計画値	1	計画値	0
					実績値	0	実績値	1	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	社会体育施設整備数	社会体育施設の整備数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	施設	計画値	0	計画値	0	計画値	1	計画値	0
					実績値	0	実績値	0	実績値		実績値	
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	5点	23点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化財保護事業
-----	---------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 市内にある指定文化財を中心とした保護・活用を図るための事業	市内に所在する文化財を調査し、保護していくための必要な措置を講じていく事業である。	計画額	0	0	9	11,376	11,385	—	—
			当初予算額	6,567	0	6,027	11,758	24,352		
			決算額	5,148	0	5,821	4,448	15,417		
H27	文化財保護審議会を定期的に行い、指定文化財の保護・活用を図ると同時に指定文化財候補についても現状調査を継続して行う。また、香川県立文書館との共催事業である古文書講座も継続開催した。	これまでの取組をさらに検討しながらより効果的な方法を検討したい。	計画額	0	0	9	2,816	2,825	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	9	2,816	2,825		
			決算額	0	0	10	2,539	2,549		
H28	文化財保護審議会を定期的に行い、指定文化財の保護・活用を図ると同時に指定文化財候補についても現状調査を継続して行う。また、香川県立文書館との共催事業である古文書講座も継続して開催する。	本市の文化財を保護するために、文化財調査を行い、また世界遺産登録を目指した取り組みの一環として遍路道の調査も行った。	計画額	0	0	0	2,816	2,816	0.1	0.0
			当初予算額	6,000	0	6,009	3,286	15,295		
			決算額	5,148	0	5,811	1,909	12,868		
H29	文化財保護審議会を定期的に行い、指定文化財の保護・活用を図ると同時に指定文化財候補についても現状調査を継続して行う。また、香川県立文書館との共催事業である古文書講座も継続して開催する。		計画額	0	0	0	2,872	2,872		
			当初予算額	567	0	9	5,656	6,232		
			決算額							
H30	文化財保護審議会を定期的に行い、指定文化財の保護・活用を図ると同時に指定文化財候補についても現状調査を継続して行う。また、香川県立文書館との共催事業である古文書講座も継続して開催する。		計画額	0	0	0	2,872	2,872		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	調査件数	調査、保護した文化財数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
					実績値	3	実績値	2	実績値		実績値		
成果指標	文化財数	指定文化財の件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	105	計画値	106	計画値	107	計画値	108	
					実績値	103	実績値	103	実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由						理由							
市内に所在する貴重な文化財を適切に保護するための現状調査を行い、適切な保護措置を検討するための取り組みを継続する。						指定文化財の経年劣化が顕著化した場合には保存修理事業を実施することとなるため、予防保存措置を推進し、将来のコストの増加を抑制する必要がある。貴重な文化財を適切に保護するために状況調査を行い、各文化財の適切な保護措置を検討していく。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化財保全事業
-----	---------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 指定文化財を後世に伝えるために適切な補修や環境整備を図るための事業。	指定文化財をはじめ市内の貴重な文化遺産の具体的な保護措置を行うための事業。	計画額	222	0	0	8,184	8,406	—	—
			当初予算額	242	0	6,050	6,790	13,082		
			決算額	158	0	6,043	4,784	10,985		
H27	うのべ山古墳をはじめとする指定史跡の最小限の草刈を行い、史跡の環境整備を行うとともに、雨滝城跡の案内板の改修、志度寺縁起絵図修復に伴う事業者への負担金。	地域住民と連携した取組を検討して取り組んだ。	計画額	74	0	0	2,026	2,100	0.2	0.0
			当初予算額	74	0	0	2,026	2,100		
			決算額	74	0	3	1,989	2,066		
H28	具体的取組 うのべ山古墳をはじめとする指定史跡の最小限の草刈を行い、史跡の環境整備を行う。	地域住民と連携しながら取り組んだ。	計画額	0	0	0	2,026	2,026	0.1	0.0
			当初予算額	84	0	6,050	2,825	8,959		
			決算額	84	0	6,040	2,795	8,919		
H29	うのべ山古墳をはじめとする指定史跡の最小限の草刈を行い、史跡の環境整備を行う。		計画額	74	0	0	2,066	2,140		
			当初予算額	84	0	0	1,939	2,023		
			決算額							
H30	うのべ山古墳をはじめとする指定史跡の最小限の草刈を行い、史跡の環境整備を行う。		計画額	74	0	0	2,066	2,140		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	補修、環境整備の文化財数	補修、環境整備を行った文化財数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	20	計画値	20	計画値	20	計画値	20
					実績値	20	実績値	18	実績値		実績値	
成果指標	現地見学会等の件数	史跡等を分かりやすく伝える為の見学会等の件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	10	計画値	10	計画値	15	計画値	20
					実績値	5	実績値	5	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点		18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	史跡や天然記念物等の補修や指定文化財の補修を実施することで、本市の歴史を伝え残す事が出来る。						史跡や天然記念物等の指定文化財の補修や環境保全を図ることで、本市の歴史を市民により分かりやすく伝え残すことができる。					
	理由											

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	富田茶臼山古墳管理事業
-----	-------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	富田茶臼山古墳をはじめ通池公園も含めた施設の維持管理。	国指定史跡である「富田茶臼山古墳」を適切な状態で管理し、本市の歴史財産として有効活用するための事業。	計画額	0	0	0	3,620	3,620	—	—
			当初予算額	0	0	3,262	2,742	6,004		
			決算額	0	0	0	1,811	1,811		
H27	国指定史跡である「富田茶臼山古墳」の草刈等を行い、現状保護に努めた。	津田古墳群を含めた総合的な観点から今後のあり方を検討する必要がある。	計画額	0	0	0	896	896	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	896	896		
			決算額	0	0	0	895	895		
H28	国指定史跡である「富田茶臼山古墳」の草刈等を行い、現状保護に努める。	富田茶臼山古墳の適切な管理に向けた取り組みを行っている。	計画額	0	0	0	896	896	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	3,262	917	4,179		
			決算額	0	0	0	916	916		
H29	国指定史跡である「富田茶臼山古墳」の草刈等を行い、現状保護に努める。		計画額	0	0	0	914	914		
			当初予算額	0	0	0	929	929		
			決算額							
H30	国指定史跡である「富田茶臼山古墳」の草刈等を行い、現状保護に努める。		計画額	0	0	0	914	914		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	現状の保護管理	草刈等を行い史跡の現状保護に努めた活動数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	5	実績値	5	実績値		実績値	
成果指標	活用数	小学生等の現地見学資料としての活用数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	500	計画値	500	計画値	500	計画値	500
					実績値	400	実績値	430	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点		19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点				
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
	国史跡であり、四国一の規模を持つ前方後円墳であり、当時の政治の中心地であったことを示す本市の貴重な歴史資料である事を、今後も市民に分かりやすく伝えていく必要がある。				国史跡であり、四国一の規模をもつ前方後円墳であることを今後も市内外に周知し、本市が当時の政治の中心地であることの意義を今後も分かりやすく伝える必要がある。							
	理由											

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	旧恵利家住宅管理事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 国指定文化財である旧恵利家住宅の管理・公開によって、見学者が市の歴史に触れる場を確保し、より深く先人が歩んだ歴史についての理解を深める場を提供する。	県下最古の農家住宅で国指定の建造物である旧恵利家住宅の適切な状態で管理し、本市の歴史財産として有効活用するための事業。	計画額	0	0	0	3,968	3,968	—	—
			当初予算額	0	0	0	4,557	4,557		
			決算額	0	0	0	2,182	2,182		
H27	旧恵利家住宅の最低限の維持管理業務。管理員の人件費、光熱水費、修繕費等の維持管理に必要な経費。	歴史民俗資料館と一体的な活用をさらに検討していく必要がある。	計画額	0	0	0	982	982	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	982	982		
			決算額	0	0	0	967	967		
H28	具体的取組 旧恵利家住宅の最低限の維持管理業務。管理員の人件費、光熱水費、修繕費等の維持管理に必要な経費。	県下最古の農家住宅で国指定の建造物を、本市の貴重な財産として有効活用した。	計画額	0	0	0	982	982	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,307	1,307		
			決算額	0	0	0	1,215	1,215		
H29	旧恵利家住宅の最低限の維持管理業務。管理員の人件費、光熱水費、修繕費等の維持管理に必要な経費。		計画額	0	0	0	1,002	1,002		
			当初予算額	0	0	0	2,268	2,268		
			決算額							
H30	旧恵利家住宅の最低限の維持管理業務。管理員の人件費、光熱水費、修繕費等の維持管理に必要な経費。		計画額	0	0	0	1,002	1,002		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	現状の保護管理	草刈等をはじめ、重要文化財の現状保護に努めた活動数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	30	計画値	30	計画値	30	計画値	30
					実績値	30	実績値	30	実績値		実績値	
成果指標	観覧者数	旧恵利家住宅来館人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	5,000	計画値	5,000	計画値	5,000	計画値	5,000
					実績値	6,353	実績値	7,190	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	18点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
	理由				理由							
	国指定であり、県下最古の農家住宅が本市に所在することを、今後も市民に分かりやすく伝えていく必要がある。				国指定であり、県下最古の農家住宅である意義を今後も市内外に周知し、当時の生活の様子を分かりやすく伝える必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化財施設管理事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 四国遍路文化資料の貴重な歴史的資料に見学者が触れることを目的に保管・展示を行い、市の歴史について理解を深めるための場を確保するとともに、全国に向けて四国遍路の情報発信を行う。また、遍路道沿いにある国指定文化財である細川家住宅の屋根修理工事を、貴重な歴史資料を保護する。	四国唯一のお遍路資料館と国指定建造物である細川家住宅を適切な状態で管理し、本市の歴史財産として有効活用するための事業。	計画額	0	0	0	17,782	17,782	—	—
			当初予算額	0	0	0	13,670	13,670		
			決算額	0	0	0	9,369	9,369		
H27	おへんろ交流サロンの展示運営に関する業務、国指定建造物の細川家住宅の最小限の維持管理を行った。	遍路文化を市民によりわかりやすく伝えるための方法等について検討する必要がある。	計画額	0	0	0	3,677	3,677	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	3,677	3,677		
			決算額	0	0	0	3,537	3,537		
H28	具体的取組 おへんろ交流サロンの展示運営に関する業務、国指定建造物の細川家住宅の最小限の維持管理と共に市指定建造物である納屋の屋根修理工事業務。	遍路文化を市民に分かりやすく伝えるための展示と、お遍路文化と同時代の国指定建造物の有効活用に努めた。	計画額	0	0	0	5,677	5,677	0.1	1.0
			当初予算額	0	0	0	5,055	5,055		
			決算額	0	0	0	5,832	5,832		
H29	おへんろ交流サロンの展示運営に関する業務、国指定建造物の細川家住宅の最小限の維持管理業務と防災施設修繕。		計画額	0	0	0	4,677	4,677		
			当初予算額	0	0	0	4,938	4,938		
			決算額							
H30	おへんろ交流サロンの展示運営に関する業務、国指定建造物の細川家住宅の最小限の維持管理業務。		計画額	0	0	0	3,751	3,751		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	現状の保護管理	資料の整備や重要文化財の現状保護に努めた活動数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	20	計画値	30	計画値	30	計画値	30
					実績値	15	実績値	18	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	細川家住宅入場者数	細川家住宅の入場者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	1,500	計画値	1,500	計画値	1,500	計画値	1,500
					実績値	1,476	実績値	1,002	実績値		実績値	
	へんろ資料館入場者数	へんろ資料館の入場者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	15,000	計画値	15,000	計画値	15,000	計画値	15,000
					実績値	13,627	実績値	12,273	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	21点 /25点	4点		18点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
理由						理由						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	史跡等購入事業
-----	---------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)	事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 津田古墳群指定範囲の公有地買上げ事業。	国史跡である津田古墳群を有効活用するために公有地として買い上げる事業。	計画額	14,641	0	930	1,916	17,487	—	—
			当初予算額	5,861	0	7,410	537	13,808		
			決算額	3,585	0	930	138	4,653		
H27	津田古墳群の指定範囲を有効活用するために、公有地化を行った。	関係機関と連絡をとりながら、円滑に事業を進める必要がある。	計画額	3,717	0	930	0	4,647	0.1	0.0
			当初予算額	3,717	0	930	0	4,647		
			決算額	3,585	0	930	138	4,653		
H28	具体的取組 津田古墳群の指定範囲を有効活用するために、公有地化を行う。	国史跡である津田古墳群及び富田茶臼山古墳を有効活用するための事業。	計画額	5,320	0	0	1,330	6,650	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H29	津田古墳群の指定範囲を有効活用するために、公有地化を行う。		計画額	2,314	0	0	586	2,900		
			当初予算額	2,144	0	6,480	537	9,161		
			決算額							
H30	津田古墳群の指定範囲を有効活用するために、公有地化を行う。		計画額	3,290	0	0	0	3,290		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	関係機関との協議数	関係機関や地権者との協議、現地立会等	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	20	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	25	実績値	5	実績値		実績値	
成果指標	購入した用地件数	史跡指定された古墳に関する用地件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	1	実績値	0	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	20点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	国史跡である津田古墳群及び富田茶臼山古墳を一体的に有効活用するために必要な事業である。						津田古墳群の国史跡指定に伴い、史跡指定の土地の公有化を図り、富田茶臼山古墳と一体的に有効活用するため、古墳の保存保護に必要である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	津田古墳群保存整備事業
-----	-------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 国史跡となった津田古墳群を本市の歴史財産として有効活用を図るための事業。	国史跡である津田古墳群を、本市の歴史財産の核として有効活用するための事業。	計画額	0	0	0	12,228	12,228	—	—
			当初予算額	0	0	0	8,757	8,757		
			決算額	0	0	28	3,813	3,841		
H27	津田古墳群を有効活用するための基本方針を定めた、保存管理計画の策定準備作業を行った。	津田古墳群の適切な保存管理をするための検討委員会を開催した。	計画額	0	0	0	304	304	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	304	304		
			決算額	0	0	0	957	957		
H28	津田古墳群を有効活用するための基本方針を策定するために保存管理計画を作成する業務で、印刷製本費、現地調査費を行い、保存管理計画書を刊行する。	津田古墳群及び富田茶臼山古墳の適切な保存管理をするための事業。	計画額	0	0	0	1,924	1,924	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	5,398	5,398		
			決算額	0	0	28	2,856	2,884		
H29	保存管理計画に基づいて、津田古墳群の保全整備を実施する。		計画額	0	0	0	5,000	5,000		
			当初予算額	0	0	0	3,055	3,055		
			決算額							
H30	保存管理計画に基づいて、津田古墳群の保全整備を実施する。		計画額	0	0	0	5,000	5,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	協議回数	検討委員会等の協議回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	1	実績値	1	実績値		実績値	
成果指標	現状の保存管理	津田古墳群の環境整備等現状確認	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10
					実績値	8	実績値	10	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	4点	19点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		4点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
	津田古墳群と四国一の規模をもつ富田茶臼山古墳を本市の歴史財産として一体的に有効活用し、市民にも古墳群の価値を分かりやすく伝えるために必要な事業である。						津田古墳群と、四国一の規模をもつ富田茶臼山古墳を本市の歴史財産として一体的に有効活用するためには、保存管理計画及び整備計画の策定を行い、市内外に古墳群の価値を分かりやすく伝える必要がある。					
	理由											

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	さぬき市史編さん事業
-----	------------

担当課	秘書広報課
-----	-------

記入日	平成29年7月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	②	②地域の歴史と伝統文化の伝承

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	10	文書広報費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 各旧町史が編さんされた後の各町の歴史の空白を埋めるため旧町史の続編にあたる「補遺」を編さんする。	旧町史が編さんされてから30年近く経過し、その間について記録したものもなく、さぬき市の歴史の空白部分となっている。その間のさぬき市の歴史を後世に残すことを目的とする事業である。	計画額	0	0	0	35,033	35,033	—	—
			当初予算額	0	0	0	49,925	49,925		
			決算額	0	0	0	13,767	13,767		
H27	平成26年度に引き続き、原稿執筆の基になる旧町史の関係資料を収集し、刊行に向けて原稿の作成及び編さん委員会での協議確認を行った。	原稿執筆を業者委託しているが、その原稿の基になる行政資料の収集は事務局が行わなければならないが、当初は事務局長1名体制で進めていたが、臨時職員1名を追加採用し、2名体制で資料の収集作業を行った。	計画額	0	0	0	35,033	35,033	0.3	2.0
			当初予算額	0	0	0	35,033	35,033		
			決算額	0	0	0	3,949	3,949		
H28	具体的取組 平成27年度から1年度繰越し、平成28年度での完了を目指して年表に関する委員との意見交換や原稿の目次構成案について検討作成を行っていったが、不十分な体制により旧町史の関係資料の収集及び複写作業に多くの時間を費やすことになった。	不足している資料の収集及び複写作業を重点的に行っていたが、その量が膨大であり、事務局の体制強化が必要であった。そのため、年度途中であったが、体制を強化した。	計画額	0	0	0	0	0	1.4	2.0
			当初予算額	0	0	0	5,141	5,141		
			決算額	0	0	0	9,818	9,818		
H29	2年度事業年度を延長し、平成30年度末での完成を目指し、不足する資料の収集及び複写作業を進めていく。また委託業者から5町の初校原稿が順次送られてくる予定であり、事務局で目次構成の修正、原稿の校正作業、各委員との意見交換を進めていく。		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額	0	0	0	9,751	9,751		
			決算額							
H30	原稿に関し、委託業者から送られてくる第2校、第3校の校正作業を行っていく。その間にも不足している資料の収集及び複写作業を行っていく。最終校閲まで終われば、印刷製本をし、刊行を目指す。		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	市史編さん委員会の開催	市史編さんの具体的な方針等について協議する委員会を設置、開催をする。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	3	計画値	-	計画値	-	
					実績値	1	実績値	2	実績値		実績値		
成果指標	原稿執筆の進捗度	原稿がどのくらい仕上がっているか。 【補足：原稿を執筆するには基になる資料の収集を行い、執筆を進めていくが、平成27、28年度はその資料収集が中心であった】	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	100	計画値	100	計画値	-	計画値	-	
					実績値	30	実績値	50	実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	行政資料の散逸などにより旧町史が編さんされて以降の各町の歩みは、人々の記憶のみならず記録からも消えてしまう恐れがあります。それらを防ぎ、『さぬき市』の歴史として後世に残すためにも本事業の重要度は高いものだと考えます。 多くの資料の収集及び複写作業や目次構成、年表、そして、原稿への校正作業を遂行するにはこれまで不十分な体制でしたが、事業年度を2年度延長した平成29年度から正規職員1名、行政経験が豊富なOB職員である臨時職員3名(うち1名はパート)の4名で体制を強化し、事務局も作業効率を考慮し、十分なスペースがある寒川支所に移して事業の完成を目指します。						さぬき市としての歴史や伝統文化を後世に伝承していくため市史編さんは大変重要であり、29年度からは、更に体制を整え早期の完成を目指します。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	発掘調査事業
-----	--------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	②	②地域の歴史と伝統文化の伝承

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 公共事業をはじめとする開発計画に円滑に対応すると共に、市内に残されている石造物の現状を確認するための事業。	公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査や、石造物等市内の遺跡について調査するための事業。	計画額	0	0	0	48,036	48,036	—	—
			当初予算額	2,400	0	0	38,793	41,193		
			決算額	260	0	0	24,062	24,322		
H27	公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査、市内に残されている石造物の現状を確認するための確認調査を行った。	調査の成果を市民に周知する場を多くもつことも必要である。	計画額	0	0	0	11,667	11,667	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	11,667	11,667		
			決算額	0	0	0	11,448	11,448		
H28	具体的取組 公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査費、市内に残されている石造物の現状を確認するための確認調査費。	公共事業や民間開発から埋蔵文化財を保護すると共に、市内に所在する石造物の現状を確認した。	計画額	0	0	0	11,967	11,967	0.1	0.0
			当初予算額	1,200	0	0	12,848	14,048		
			決算額	260	0	0	12,614	12,874		
H29	公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査費、市内に残されている石造物の現状を確認するための確認調査費。		計画額	0	0	0	12,201	12,201		
			当初予算額	1,200	0	0	14,278	15,478		
			決算額							
H30	公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査費、市内に残されている石造物の現状を確認するための確認調査費。		計画額	0	0	0	12,201	12,201		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	調査件数	開発等に伴い、調査が必要となった遺跡等	<input type="checkbox"/> 総合計画	件	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	4	実績値	1	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	遺跡数	保護措置が図れた遺跡等	<input type="checkbox"/> 総合計画	件	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	4	実績値	1	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	20点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	開発から遺跡を適切に保護し、地域の宝として保護・保存していくためにも必要な事業である。				本市の歴史を調査し、価値ある遺跡や遺物を地域の宝として保護・保存していくために必要な事業であると共に、公共事業や民間開発から遺跡の保存や資料整理をするため必要である。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化財保護団体支援事業
-----	-------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	②	②地域の歴史と伝統文化の伝承

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 文化財保護関係団体の保護継承活動を活発化することにより、文化財保護意識及び市民への普及活動を効果的に行う。	本市の民俗芸能を後世に伝え後継者を育成するための事業である。	計画額	0	0	0	3,556	3,556	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,940	2,940		
			決算額	0	0	0	1,961	1,961		
H27	文化財保護活動を行う市文化財保護協会、県指定無形文化財「南川太鼓」保存会、市指定無形文化財「お大師山火祭り」保存会、「筒野虎獅子」保存会へ保存継承のための活動補助金を交付した。	今後の保存と活動にあたり、地域住民の減少や高齢化が懸念されることから、後継者を確実に養成していくことが必要である。	計画額	0	0	0	880	880	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	880	880		
			決算額	0	0	0	880	880		
H28	具体的取組 文化財保護活動を行う市文化財保護協会、県指定無形文化財「南川太鼓」保存会、市指定無形文化財「お大師山火祭り」保存会、「筒野虎獅子」保存会への保存継承活動のための助成業務。	無形文化財の保存継承のための助成業務であり、後継者を確実に養成していくことが必要である。	計画額	0	0	0	880	880	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,180	1,180		
			決算額	0	0	0	1,081	1,081		
H29	文化財保護活動を行う市文化財保護協会、県指定無形文化財「南川太鼓」保存会、市指定無形文化財「お大師山火祭り」保存会、「筒野虎獅子」保存会への保存継承活動のための助成業務。		計画額	0	0	0	898	898		
			当初予算額	0	0	0	880	880		
			決算額							
H30	文化財保護活動を行う市文化財保護協会、県指定無形文化財「南川太鼓」保存会、市指定無形文化財「お大師山火祭り」保存会、「筒野虎獅子」保存会への保存継承活動のための助成業務。		計画額	0	0	0	898	898		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	協議件数	助成事務や後継者継承活動に向けた協議件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	4	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	4	実績値	5	実績値		実績値	
成果指標	後継者継承活動	後継者を継承するための活動	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	4	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	4	実績値	5	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点		18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	本市の民俗芸能を伝え残すためにも後継者育成が必要である。						本市の民俗芸能を後世に分かりやすく伝え残す為にも、後継者養成が必要である。指定文化財については、市として保存する責務があり、市内の貴重な文化財の調査・研究を行う文化財保護協会の役割は大きい。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公開活用事業
-----	--------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	③	③文化活動の推進と優れた芸術に触れる機会の提供

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 過去の発掘調査で出土した土器等を再整理し、市内の歴史を物語る貴重な歴史資料を有効活用するための事業。	過去に実施された文化財調査で未整理となっている土器や遺物再整理し、本市の歴史財産として有効活用するための事業。	計画額	1,198	0	0	4,840	6,038	—	—
			当初予算額	3,598	0	0	3,598	7,196		
			決算額	2,000	0	0	2,333	4,333		
H27	過去の発掘調査で出土した土器等を分類・整理して、市内の歴史財産として有効活用を図るための台帳整備を進めるとともに、発掘成果を示す講演会を開催した。	一人でも多くの市民に興味を持ってもらう為の周知活動を今後も検討する必要がある。	計画額	1,198	0	0	1,198	2,396	0.1	0.0
			当初予算額	1,198	0	0	1,198	2,396		
			決算額	1,000	0	0	1,315	2,315		
H28	具体的取組 過去の発掘調査で出土した土器等を分類・整理して、市内の歴史財産として有効活用を図るために遺物台帳を作成する業務。	過去の発掘調査で未整理となっている遺物を再整理し、本市の歴史財産として有効活用に努めている。	計画額	0	0	0	1,198	1,198	0.1	0.0
			当初予算額	1,200	0	0	1,200	2,400		
			決算額	1,000	0	0	1,018	2,018		
H29	過去の発掘調査で出土した土器等を分類・整理して、市内の歴史財産として有効活用を図るために遺物台帳を作成する業務。		計画額	0	0	0	1,222	1,222		
			当初予算額	1,200	0	0	1,200	2,400		
			決算額							
H30	過去の発掘調査で出土した土器等を分類・整理して、市内の歴史財産として有効活用を図るために遺物台帳を作成する業務。		計画額	0	0	0	1,222	1,222		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	開催回数	講演会等の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	1	実績値	1	実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	参加者数	講演会への市民参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	200	計画値	300	計画値	300	計画値	300	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	150	実績値	250	実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	21点 /25点	4点	18点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		4点				
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)								
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止								
理由	過去に実施された発掘調査で未整理となっている遺物を再整理し、本市の貴重な歴史資料として有効活用するためにも必要である。				過去に実施された文化財調査で未整理となっている土器や、遺物の価値を地域の宝として有効活用するためにも必要であり、古墳や出土した遺物について多くの市民に関心を持ってもらう活動を展開し、愛好者の増加をめざす。								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	市民文化祭助成事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	③	③文化活動の推進と優れた芸術に触れる機会の提供

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	40	文化振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 旧5町ごとに市民文化祭を実施、発表の場所や機会を提供し市の文化振興を図る。	市民文化祭を助成することにより、市の文化振興を図る。	計画額	0	0	0	8,800	8,800	—	—
			当初予算額	0	0	0	6,631	6,631		
			決算額	0	0	0	4,400	4,400		
H27	市民文化祭を実施するために、さぬき市民文化祭実行委員会に助成金を交付した。	27年度は、例年どおり5つの文化祭を開催した。28年度についても、引き続き各団体に協力し、文化振興を図っていく。	計画額	0	0	0	2,200	2,200	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,200	2,200		
			決算額	0	0	0	2,200	2,200		
H28	市民文化祭を実施するために、さぬき市民文化祭実行委員会に助成金を交付する。	28年度は、例年どおり5つの文化祭を開催した。29年度についても、引き続き各団体に協力し、文化振興を図っていく。	計画額	0	0	0	2,200	2,200	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,200	2,200		
			決算額	0	0	0	2,200	2,200		
H29	市民文化祭を実施するために、さぬき市民文化祭実行委員会に助成金を交付する。		計画額	0	0	0	2,200	2,200		
			当初予算額	0	0	0	2,231	2,231		
			決算額							
H30	市民文化祭を実施するために、さぬき市民文化祭実行委員会に助成金を交付する。		計画額	0	0	0	2,200	2,200		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	市民文化祭開催箇所数	市民文化祭開催箇所数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	か所	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	5	実績値	5	実績値		実績値	
成果指標	市民文化祭参加団体数	市民文化祭参加団体数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	団体	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200
					実績値	226	実績値	281	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	旧5町ごとに市民文化祭を実施し、芸術文化活動を行っている市民、児童生徒に対し、発表の場所と機械を提供し市の文化振興を図るため必要である。						旧5町ごとに市民文化祭を実施し、芸術文化活動を行っている市民、児童生徒に対し、発表の場所と機会を提供し市の文化振興を図るため必要である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化資料展示館管理事業
-----	-------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	③	③文化活動の推進と優れた芸術に触れる機会の提供

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	40	文化振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)	事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 発表の機会と場の提供することにより、芸術文化とのふれあいを深め、人生にゆとり潤いを実感できる芸術活動の拠点としての役割りを担う施設として維持管理と運営を行う。	発表の機会と場の提供することにより、芸術文化とのふれあいを深め、芸術文化の拠点となる施設にする。	計画額	0	0	1,116	14,268	15,384	—	—
			当初予算額	0	0	837	11,069	11,906		
			決算額	0	0	568	6,817	7,385		
H27	管理人2名で館の維持管理と運営を行った。	施設の老朽化が進み、補修の必要な箇所がある。	計画額	0	0	279	3,532	3,811	0.2	2.0
			当初予算額	0	0	279	3,532	3,811		
			決算額	0	0	302	3,189	3,491		
H28	管理人2名の交代で館の維持管理と運営を行う。	施設の老朽化が進み、補修の必要な箇所がある。	計画額	0	0	279	3,532	3,811	0.4	2.0
			当初予算額	0	0	279	3,787	4,066		
			決算額	0	0	266	3,628	3,894		
H29	管理人2名の交代で館の維持管理と運営を行う。		計画額	0	0	279	3,602	3,881		
			当初予算額	0	0	279	3,750	4,029		
			決算額							
H30	管理人2名の交代で館の維持管理と運営を行う。		計画額	0	0	279	3,602	3,881		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	文化資料展示館貸館数	文化資料展示館貸館数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	35	計画値	35	計画値	35	計画値	35	
					実績値	36	実績値	38	実績値		実績値		
成果指標	文化資料展示館観覧者数	文化資料展示館観覧者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	12,000	計画値	12,000	計画値	12,000	計画値	12,000	
					実績値	16,518	実績値	14,815	実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	当館は芸術活動を行っている市民にとって、作品を発表する貴重な場であり、観覧する市民の文化意識の向上に寄与している。						当館は芸術活動を行っている市民にとって、作品を発表する貴重な場であり、観覧する市民の文化意識の向上に寄与している。 芸術文化とのふれあいを深め、人生にゆとり潤いを実感できる芸術活動の拠点である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	志度音楽ホール施設整備事業
-----	---------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	③	③文化活動の推進と優れた芸術に触れる機会の提供

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	40	文化振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	発表の機会と場の提供をすることより、芸術文化とのふれあいを深め、人生にゆとりと潤いを実感できる芸術活動の拠点としての役割を担う施設として維持管理を行う。	芸術活動の発表や鑑賞を通して、市民が芸術文化とのふれあいを深められる拠点となる施設にする。	計画額	0	0	7,396	0	7,396	—	—
			当初予算額	0	0	1,831	0	1,831		
			決算額	1,643	0	1,650	2,436	5,729		
H27	志度音楽ホールは開館28年が経ち、施設内の設備に不具合が生じていることから、修繕計画に沿って整備を実施した。	施設の雨漏り修繕工事を行った。	計画額	0	0	1,831	0	1,831	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	1,831	0	1,831		
			決算額	0	0	1,650	2,436	4,086		
H28	音楽ホールの維持管理をする。	施設のトイレ改修工事を行った。 現年分 0 H27繰越分 1,643	計画額	0	0	1,831	0	1,831	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	1,643	0	0	0	1,643		
H29	音楽ホールの維持管理をする。		計画額	0	0	1,867	0	1,867		
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額							
H30	音楽ホールの維持管理をする。		計画額	0	0	1,867	0	1,867		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	工事種別数	施設の工事件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	工事	計画値	1	計画値	0	計画値	1	計画値	1
					実績値	1	実績値	1	実績値		実績値	
	貸館業務件数	貸館件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	350	計画値	350	計画値	350	計画値	350
					実績値	329	実績値	368	実績値		実績値	
成果指標	総入場者数	音楽ホール入場者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	28,000	計画値	28,000	計画値	28,000	計画値	28,000
					実績値	29,346	実績値	37,989	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	19点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	市の芸術文化活動の拠点であり、ホールで行われる芸術をとして、市民が人生にゆとりと潤いを実感できる施設である。						市の芸術文化活動の拠点であり、ホールで行われる芸術をとして、市民が人生にゆとり潤いを実感できる施設である。 市内唯一の音楽ホールとして活用されており、適切な維持管理を行うことでホールとしての機能及び利用者の安全を確保するものである。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	少年育成センター運営事業
-----	--------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	26	(26) 青少年の健全育成
主要施策	①	① 青少年健全育成活動の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 育成センターの設置目的に基づき、育成センターの業務に関する基本的な事項を協議し決定する事業である。	育成センターの事業内容等について協議を行い、単なる事業報告ではなく事業を実施した結果を詳細に報告	計画額	0	0	0	9,892	9,892	—	—
			当初予算額	0	0	0	8,272	8,272		
			決算額	0	0	0	5,195	5,195		
H27	少年育成センター運営委員会年2回開催し、育成センターの事業内容等について協議を行う。10月には上半期事業について書面にて中間報告を行う。	育成センターの事業内容等について協議を行い、単なる事業報告ではなく事業を実施した結果を詳細に報告	計画額	0	0	0	2,464	2,464	0.0	1.0
			当初予算額	0	0	0	2,464	2,464		
			決算額	0	0	0	2,424	2,424		
H28	具体的取組 少年育成センター運営委員会年2回開催し、育成センターの事業内容等について協議を行う。10月には上半期事業について書面にて中間報告を行う。	育成センターの事業内容等について協議を行い、単なる事業報告ではなく事業を実施した結果を詳細に報告、運営委員より「一年間の成果が良く分かった。」との意見があった。今後も上記の方針で行う。	計画額	0	0	0	2,468	2,468	0.0	0.8
			当初予算額	0	0	0	2,822	2,822		
			決算額	0	0	0	2,771	2,771		
H29	少年育成センター運営委員会年2回開催し、育成センターの事業内容等について協議を行う。10月には上半期事業について書面にて中間報告を行う。		計画額	0	0	0	2,478	2,478		
			当初予算額	0	0	0	2,986	2,986		
			決算額							
H30	少年育成センター運営委員会年2回開催し、育成センターの事業内容等について協議を行う。10月には上半期事業について書面にて中間報告を行う。		計画額	0	0	0	2,482	2,482		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	運営委員会開催回数	運営委員会の開催回数 ※運営委員会(2回)・中間報告(10:上半期事業分)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	2	実績値	2	実績値		実績値	
成果指標	運営委員会出席人数	運営委員会の出席者人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	30	計画値	30	計画値	30	計画値	30
					実績値	21	実績値	22	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点	21点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点			3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点			3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点			5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点			5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
	理由											
	運営委員の意見を聞き、良い方向を示した事業としたい。				青少年を取り巻く社会環境は一段と複雑になり、人間関係もより希薄になってきており、モラルの喪失や規範意識の低下が見られる。そのような状況を改善するためにも、子どもたちに対する地域の大人の関わりと支援が今後ますます必要となることから、運営委員会等での協議は必要である。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	補導事業
-----	------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	26	(26) 青少年の健全育成
主要施策	①	①青少年健全育成活動の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	学校等関係機関、団体との連携により、地域ぐるみの青少年の健全育成を積極的に推進する。	低年齢化による問題行動が多くなっている。日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の巡回を実施し、問題行動少年を早期に発見、学校及び関係機関と適切な連携を図っている。	計画額	0	0	0	10,268	10,268	—	—
			当初予算額	0	0	0	7,658	7,658		
			決算額	0	0	119	7,136	7,255		
H27	問題行動が見られる少年の低年齢化が言われるなか、日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の補導巡回に努め、問題行動少年を早期に発見、学校関係機関と適切な連携を図り、問題行動の立ち直り支援を行った。また、「子どもSOS」の設置場所を維持することで、関係機関や団体・地域との連携のもと不審者から子どもを守ることを徹底した。	日々の街頭補導や巡回、「子どもSOS」設置場所の検討・維持により、関係機関や団体地域と連携を図りつつ不審者から子どもを守ることができた。	計画額	0	0	0	2,560	2,560	0.0	1.6
			当初予算額	0	0	0	2,560	2,560		
			決算額	0	0	0	4,555	4,555		
H28	日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の補導巡回に努め、問題行動少年を早期に発見、学校関係機関と適切な連携を図り、問題行動の立ち直り支援をする。また、「子どもSOS」の設置場所を維持することにより、関係機関や団体・地域との連携のもと不審者から子どもを守ることを徹底する。	本年度はポケモンGOが全国的に流行し、子ども達の動向が気になったが、トラブル的な情報はなかった。関係機関と連携をとり店舗等へのチラシ配布や巡回を行った。今後も継続して街頭補導を充実していきたい。	計画額	0	0	0	2,564	2,564	0.0	1.2
			当初予算額	0	0	0	2,504	2,504		
			決算額	0	0	119	2,581	2,700		
H29	日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の補導巡回に努め、問題行動少年を早期に発見、学校関係機関と適切な連携を図り、問題行動の立ち直り支援をする。また、「子どもSOS」の設置場所を維持することにより、関係機関や団体・地域との連携のもと不審者から子どもを守ることを徹底する。		計画額	0	0	0	2,570	2,570		
			当初予算額	0	0	0	2,594	2,594		
			決算額							
H30	日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の補導巡回に努め、問題行動少年を早期に発見、学校関係機関と適切な連携を図り、問題行動の立ち直り支援をする。また、「子どもSOS」の設置場所を維持することにより、関係機関や団体・地域との連携のもと不審者から子どもを守ることを徹底する。		計画額	0	0	0	2,574	2,574		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	補導実施回数	通常・特別補導の実施回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	470	計画値	470	計画値	470	計画値	470	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	356	実績値	294	実績値		実績値		
成果指標	声かけ(補導活動)人数	声かけ(補導活動)の実施は、非行に走る子どもの抑止に繋がってきた。今後も、声かけ(補導活動)を継続することで非行に走る子どもの減少に繋げる。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	864	実績値	817	実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	24点 /25点	5点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	現状を維持しつつ、他関係機関とタイアップした補導活動を行う。						青少年を取り巻く社会環境は一段と複雑になり、人間関係もより希薄になり、モラルの喪失や規範意識の低下が見られる。そのような状況を改善するためにも、子どもたちに対する地域の大人の関わりと支援が今後ますます必要であり、現状を維持しつつ、他関係機関ともタイアップした補導活動を行っていく。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	広報啓発・推進事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	26	(26) 青少年の健全育成
主要施策	①	① 青少年健全育成活動の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	市民の青少年健全育成に対する意識の高揚に努め、理解と協力を求める事業である。 ・小・中学生、高校生による「子どもの一日補導員」を実施し、啓発活動を行う。 ・「家族みんなで考える青少年健全育成標語」優秀標語入りカレンダーを作成・配布し、広報活動を行う。	市民の青少年健全育成に対する意識の高揚に努め、理解と協力を求める事業である。小・中・高校生による「子ども一日補導員」を実施。市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集した。	計画額	200	0	0	932	1,132	—	—
			当初予算額	165	0	0	685	850		
			決算額	130	0	0	400	530		
H27	広報さぬぎに育成センターだよりを毎月掲載。小・中・高生による「子どもの一日補導員」を実施した。また、市内巡回して広報車から青少年健全育成を呼びかけ、啓発に努めた。このほか、市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集し、優秀標語をカレンダーとして作成、市内全児童・生徒や公民館	小・中・高校生による「子ども一日補導員」を実施したほか、市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集した。「健全育成標語」はスマホ・LINEでの応募も目立った。	計画額	50	0	0	230	280	0.0	0.4
			当初予算額	50	0	0	230	280		
			決算額	65	0	0	203	268		
H28	広報さぬぎに育成センターだよりを4・5・8・10・12・3月の6回掲載。小・中・高生による「子どもの一日補導員」を実施。また、市内巡回して広報車から青少年健全育成を呼びかけ啓発。市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集し、優秀標語をカレンダーとして作成。市内全児童・生徒や公民館等公共施設に配布して広報活動を行う。	マスコットキャラクター「いくちゃん」を作成し、小・高校生による「万引き防止キャンペーン活動」時に、地域住民に呼びかけた。参加した生徒達も活動による意識も高まった。小・中学生による健全育成標語も募集した。	計画額	50	0	0	230	280	0.0	0.7
			当初予算額	50	0	0	238	288		
			決算額	65	0	0	197	262		
H29	広報さぬぎに育成センターだよりを4・5・8・10・12・3月の6回掲載。小・中・高生による「子どもの一日補導員」を実施。また、市内巡回して広報車から青少年健全育成を呼びかけ啓発。市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集し、優秀標語をカレンダーとして作成。市内全児童・生徒や公民館等公共施設に配布して広報活動を行う。		計画額	50	0	0	236	286		
			当初予算額	65	0	0	217	282		
			決算額							
H30	広報さぬぎに育成センターだよりを4・5・8・10・12・3月の6回掲載。小・中・高生による「子どもの一日補導員」を実施。また、市内巡回して広報車から青少年健全育成を呼びかけ啓発。市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集し、優秀標語をカレンダーとして作成。市内全児童・生徒や公民館等公共施設に配布して広報活動を行う。		計画額	50	0	0	236	286		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動 指標	児童・生徒による一日補 導実施回数	児童・生徒が積極的実践的な啓発活動を行った回 数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	3	計画値	5	計画値	5	計画値	5
	実績値	3	実績値		5	実績値		実績値				
活動 指標	家族みんなで考える「青少 年健全育成標語」募集回 数	家族で考えるというところに重点を置いて、児童・生徒 に募集した回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
	実績値	1	実績値		1	実績値		実績値				
成果 指標	児童・生徒による一日補 導参加者数	小・中学生による一日補導は、大人が呼びかけるより 効果的である。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	11	計画値	20	計画値	20	計画値	20
	実績値	14	実績値		19	実績値		実績値				
成果 指標	家族みんなで考える「青少 年健全育成標語」応募点 数	各地区文化祭で入賞作品を展示することにより、市民 への啓発活動に努める。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	点	計画値	400	計画値	400	計画値	400	計画値	400
	実績値	375	実績値		345	実績値		実績値				
評 価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	21点 /25点	5点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今 後 の 方 向 性	方向性				方向性							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
今 後 の 方 向 性	理由				理由							
	現状を維持しつつも、他関係機関とタイアップした広報啓発を行う。本年度はマスコットキャラクター「いくちゃん」の作成により、児童・生徒たちがキャンペーンに対する取り組み意識が高まったようである。活動をする上で、マンネリ化することなく参加する児童生徒及び補導員の方も意識が高まる方法も考えて策を練っていききたい。				青少年を取り巻く社会環境は一段と複雑になり、人間関係もより希薄になり、モラルの喪失や規範意識の低下が見られる。そのような状況を改善するためにも、広く市民に青少年健全育成について考える機会を与えることは大変重要であり、今後も継続して関係機関ともタイアップした広報啓発を行っていく必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	安全安心コミュニティ事業
-----	--------------

担当課	地域情報課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	26	(26) 青少年の健全育成
主要施策	②	②健全な社会環境づくり

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	70	コミュニティ放送管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	安全安心コミュニティシステムの維持管理に関する事業である。	市民へ電子メールや音声告知放送など複数の手段で情報提供を行うことを目的としたもの。情報発信者を増やすことで、関連するコミュニティ参加者を増やし、全体の加入数を増加させる。	計画額	0	0	65	99,053	99,118	—	—
			当初予算額	0	0	46,327	47,533	93,860		
			決算額	0	0	47,437	31,813	79,250		
H27	安全安心コミュニティシステムおよびFM音声告知放送に係る設備や端末の管理を行った。	民間保育所の一部が情報発信者として登録し、事業の充実が図れた。	計画額	0	0	20	15,785	15,805	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	20	15,785	15,805		
			決算額	0	0	47	15,155	15,202		
H28	安全安心コミュニティシステムおよびFM音声告知放送に係る設備や端末の管理を行った。 信頼性確保のためサーバーの更新を行った。	サーバーの更新を行い、仮想化により物理サーバーの台数を減らした結果、保守費用も圧縮が図れた。	計画額	0	0	15	42,488	42,503	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	46,297	17,277	63,574		
			決算額	0	0	47,390	16,658	64,048		
H29	安全安心コミュニティシステムおよびFM音声告知放送に係る設備や端末の管理を行う。		計画額	0	0	15	19,730	19,745		
			当初予算額			10	14,471	14,481		
			決算額							
H30	安全安心コミュニティシステムおよびFM音声告知放送に係る設備や端末の管理を行う。		計画額	0	0	15	21,050	21,065		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	情報発信数	市役所及び各コミュニティからの情報発信数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1,450	計画値	1,500	計画値	1,550	計画値	1,600
					実績値	1,550	実績値	1,490	実績値		実績値	
成果指標	安全安心コミュニティ情報取得者数	メール登録者数及び音声告知端末設置台数の合計	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	18,000	計画値	18,400	計画値	18,500	計画値	18,600
					実績値	18,408	実績値	19,140	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	20点 /25点	4点	19点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由	Webカメラや潮位計などの観測機器が古くなっており、更新が必要となっている。庁舎建設に合わせて管理端末の増設が必要となる。						Webカメラや潮位計等観測機器の老朽化については、関係機関・各課と協議し、更新が必要なものについては実施する。また、庁舎建設関連について、管理端末の増設も関係各課と協議し実施する。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	教育支援事業
-----	--------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成29年7月21日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	26	(26) 青少年の健全育成
主要施策	③	③相談・支援活動の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 学校に登校する意思がありながら、様々な理由で登校できない子どもたち一人一人に対応した支援を行ったり、少年相談や臨床心理士によるカウンセリングを実施し、不登校、非行やいじめ等青少年の問題行動解消への援助を行う事業である。	学校に登校する意思がありながら、様々な理由で登校できない子ども達一人一人に対応したカウンセリング実施した。まだまだ悩みを持つ子どもや保護者の理解に努め信頼される相談活動を推進。	計画額	0	0	0	9,598	9,598	—	—
			当初予算額	0	0	0	11,509	11,509		
			決算額	0	0	0	6,867	6,867		
H27	適応指導教室を開設し、学校に登校する意思がありながら登校できない児童・生徒の学校復帰や社会的自立をめざし、通級生に応じた支援を実施したほか、不登校やいじめ等青少年の問題行動に関する悩みのある保護者や本人を対象にカウンセリングを行った。来所や少年相談電話による少年相談も実施し、青少年の悩みや問題行動解消への援助を行った。	学校に登校する意思がありながら、様々な理由で登校できない子ども達一人一人に対応したカウンセリング実施した。今後も悩みを持つ子どもや保護者の理解に努め、信頼される相談活動を推進したい。	計画額	0	0	0	2,391	2,391	0.0	1.0
			当初予算額	0	0	0	2,391	2,391		
			決算額	0	0	0	2,368	2,368		
H28	具体的取組 適応指導教室を開設し、学校に登校する意思がありながら登校できない児童・生徒の学校復帰及び社会的自立をめざし、通級生一人一人に応じた支援を実施。不登校やいじめ等青少年の問題行動に関する悩みのある保護者や本人を対象にカウンセリングを実施。来所や少年相談電話による少年相談を実施し、青少年の悩みや問題行動解消への援助を行う。	通級生外にも活動の案内を広めたところ、親の会やデイキャンプ等に参加者が増え、不登校の解消につながる手だてとなった。	計画額	0	0	0	2,395	2,395	0.0	1.3
			当初予算額	0	0	0	4,521	4,521		
			決算額	0	0	0	4,499	4,499		
H29	適応指導教室を開設し、学校に登校する意思がありながら登校できない児童・生徒の学校復帰及び社会的自立をめざし、通級生一人一人に応じた支援を実施。不登校やいじめ等青少年の問題行動に関する悩みのある保護者や本人を対象にカウンセリングを実施。来所や少年相談電話による少年相談を実施し、青少年の悩みや問題行動解消への援助を行う。		計画額	0	0	0	2,404	2,404		
			当初予算額	0	0	0	4,597	4,597		
			決算額							
H30	適応指導教室を開設し、学校に登校する意思がありながら登校できない児童・生徒の学校復帰及び社会的自立をめざし、通級生一人一人に応じた支援を実施。不登校やいじめ等青少年の問題行動に関する悩みのある保護者や本人を対象にカウンセリングを実施。来所や少年相談電話による少年相談を実施し、青少年の悩みや問題行動解消への援助を行う。		計画額	0	0	0	2,408	2,408		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	学校等連携回数	通級児童・生徒の在籍校などと連携して対応した回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	200	計画値	200	計画値	300	計画値	300	
					実績値	180	実績値	318	実績値		実績値		
成果指標	少年相談件数	子どもに関する相談件数(面談・電話など)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	400	計画値	400	計画値	200	計画値	200	
					実績値	328	実績値	102	実績値		実績値		
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	5点	21点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由						理由							
1人でも多くの不登校児童生徒とのかかわりを持ち、広げるために、カウンセリングや体験活動に参加してもらうべく啓発活動を行う。						学校に登校する意思がありながら、登校できない児童生徒の学校復帰及び社会自立をめざし、通級生一人一人に応じた支援を実施しつつ学校連携や相談等の支援を行う必要がある。悩みを持つ子どもや保護者の理解に努め、信頼される相談活動を推進するため、カウンセリングや体験活動の参加にかかる啓発活動を行う。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	国際交流事業
-----	--------

担当課	秘書広報課男女共同参画・国際交流推進室
-----	---------------------

記入日	平成29年7月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	27	(27) 交流事業の推進
主要施策	①	①国際交流活動の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	05	一般管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	各種の国際交流事業を推進する。	国際姉妹都市との交流を行うとともに、各国際交流団体への支援をし、国際交流の活性化を図る事業である。	計画額	0	0	0	1,594	1,594	—	—
			当初予算額	0	0	0	1,188	1,188		
			決算額	0	0	0	464	464		
H27	翻訳業務、アイゼンシュタット市政報告業務を委託し、国際姉妹都市であるオーストリア国アイゼンシュタット市でのチャリティーコンサートをさぬき市協賛で開催した(7月10日)。各国際交流団体への支援を行った。	国際姉妹都市で、さぬき市協賛のチャリティーコンサートを開催した。	計画額	0	0	0	397	397	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	397	397		
			決算額	0	0	0	382	382		
H28	・国際交流事業(1回) ・グローバルセミナー(1回) ・ランチタイムコンサート(1回) ・国際交流企画事業(石田高校中国語人形劇、1回) 等	・新たに国際交流事業を実施し、幅広い年齢の市民と外国人との会話やふれあい、文化交流の機会を提供できた。 ・フランス人講師によるセミナーを開催し、異文化交流や多文化共生の大切さを伝えた。	計画額	0	0	0	197	197	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	197	197		
			決算額	0	0	0	82	82		
H29	・国際交流事業(市民対象事業、市職員対象事業) ・グローバルセミナー 等		計画額	0	0	0	500	500		
			当初予算額	0	0	0	594	594		
			決算額							
H30	地域の特性及び文化を生かした国際交流や事業を実施し、国際親善を図る。		計画額	0	0	0	500	500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	国際交流活動回数	国際交流団体等と協働による活動回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	1	実績値	4	実績値		実績値	
成果指標	参加者数	国際交流事業の参加者の延べ人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	30	計画値	60	計画値	60	計画値	60
					実績値	35	実績値	290	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	20点 /25点	5点		20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点				
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止				<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	市民に国際文化への理解を深める機会を提供することを目的に、国際交流事業やセミナー等を開催したほか、市内で開催している外国人を対象とした日本語教室に関する広報支援などを行った。 平成29年4月現在、市内には400人を超える外国人が居住するなど、地方部においても外国人と接する機会は確実に増加している。互いの文化に対する無理解などによって無用な軋轢やトラブルが生じないよう、国際交流や多文化共生などの考え方市民に広げる取組を継続したい。				グローバル化が進む現状を踏まえると、今後の多文化共生を推進するためには、国際理解を深め国際性豊かな人材を育成することが重要である。 国際交流事業は、市民が異なる歴史や文化等を学ぶ機会となり、また、さぬき市を再発見する機会にもつながることから、市民の意識向上や市民活動の活性化、人材育成の面からも欠くことはできない。今後も、市民や関係団体とのネットワークを積極的に活用し、市民が国際理解を深める貴重な機会として工夫した取組を実施していく必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学生国際交流事業(日韓交流事業)
-----	-------------------

担当課	秘書広報課男女共同参画・国際交流推進室
-----	---------------------

記入日	平成29年7月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	27	(27) 交流事業の推進
主要施策	①	①国際交流活動の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 韓国大田広域市と本市の中学生等のホームステイや中学校訪問等を通して、日韓親善交流を図る事業に対し補助を行う。	ホームステイ交流を通して、異なる地域の生活や文化の違いに触れ、幅広い視野や知識を養うとともに、次代を担う人材育成を目的とし実施する団体への支援を行う事業である。	計画額	0	0	0	1,500	1,500	—	—
			当初予算額	0	0	0	500	500		
			決算額	0	0	0	92	92		
H27	※平成28年度から室が設置されたため、事業実績なし。		計画額	0	0	0	0	0	—	—
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	具体的取組 韓国の中学生らによる本市でのホームステイや国際文化交流等を支援するため、事業実施団体に対して補助金を交付し、その活動を支援した。 【事業名】第7回日韓青少年交流事業(8月5日～7日、2泊3日) 【交流先】韓国・大田広域市 中学校2校、小学校3校 【受入】児童生徒10人、引率者2人	事業実施団体の活動を支援するとともに、補助金の適正な執行に努めた。	計画額	0	0	0	500	500	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	500	500		
			決算額	0	0	0	92	92		
H29	韓国大田広域市との交流を深めるため、本市の中学生等が大田広域市を訪問・ホームステイする活動を計画する事業実施団体の活動を支援する。 【交流先】韓国・大田広域市 【期間】平成29年8月 【訪問】児童生徒10人程度	※この事業は、国際交流事業(総務費)と統合するため、28年度で終了する。	計画額	0	0	0	500	500		
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額							
H30	韓国大田広域市と本市の中学生等のホームステイや中学校訪問等を通して、日韓親善交流を図る事業に対し補助を行う。		計画額	0	0	0	500	500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	国際交流事業の実施回数	国際交流事業の実施回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	0	計画値	1	計画値	1	計画値	1
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	0	実績値	1	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	交流参加者数	国際交流参加人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	0	計画値	20	計画値	20	計画値	20
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	0	実績値	20	実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	18点 /25点	5点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止				○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止							
理由	国際交流実施団体の各種取組に対する支援として、平成28年度は韓国の中学生らによる本市でのホームステイ等を実施した団体に対して補助金を交付し、国際文化理解を深める機会を提供できた。 平成29年度から国際交流事業に一本化されるが、今後も市民レベルの国際交流を支援することを中心とした事業を継続したい。				本事業は、韓国の中学生等とのホームステイを通じて、異文化に触れ幅広い視野や知識を養うとともに次世代のさぬき市を担う人材の育成を図ることを目的として、これまで7回実施している。市民団体の事業を支援する本事業は、協働のまちづくりの観点からも有効な施策であり、今後も市民を主体とした事業展開は必要であり、市民と行政がそれぞれの良さを生かした協力体制を構築し、事業を進めていくことが求められている。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	国際交流事業
-----	--------

担当課	秘書広報課男女共同参画・国際交流推進室
-----	---------------------

記入日	平成29年7月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	27	(27) 交流事業の推進
主要施策	①	①国際交流活動の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 各種の国際交流事業費の補助を行う。	国際文化の理解に資する音楽、美術、文学、芸能等の交流や日本文化の紹介等により、異なる文化の違いに触れ、幅広い視野や知識を養うことで人材育成を図ることを目的とした団体への支援を行う事業である。	計画額	0	0	0	1,500	1,500	—	—
			当初予算額	0	0	0	500	500		
			決算額	0	0	0	425	425		
H27	※平成28年度から室が設置されたため、事業実績なし。		計画額	0	0	0	0	0	—	—
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	具体的取組 市民が国際文化への理解を深める機会を提供するとともに、国際的な文化交流を支援するため、韓国との交流を実施した団体に対して補助金を交付し、その活動を支援した。 【事業名】第3回日韓親善芸術祭(4月23日) 【交流先】韓国・大田広域市 伝統舞踊団体等29人 【観客等】450人(志度音楽ホール)	案内チラシの全戸配布やプログラムの改善など、実施団体の活動を支援したことで、第2回芸術祭に比べて参加者が大幅に増加し、事業効果をより高めることができた。	計画額	0	0	0	500	500	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	500	500		
			決算額	0	0	0	425	425		
H29	国際交流実施団体の各種取組に対して支援・補助する。	※この事業は、国際交流事業(総務費)と統合するため、28年度で終了する。	計画額	0	0	0	500	500		
			当初予算額							
			決算額							
H30	国際交流実施団体の各種取組に対して支援・補助する。		計画額	0	0	0	500	500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	国際交流事業の実施回数	国際交流事業の実施回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	0	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	0	実績値	1	実績値		実績値	
成果指標	国際交流事業の参加者数	国際交流事業の参加者数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	0	計画値	100	計画値	100	計画値	100
					実績値	0	実績値	450	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	18点 /25点	5点	18点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点						
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止				○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止							
理由	国際交流実施団体の各種取組に対する支援として、平成28年度は韓国との交流を実施した団体に対して補助金を交付し、市民が国際文化への理解を深める機会を提供できた。平成29年度から国際交流事業に一本化されるが、今後も市民レベルの国際交流を支援することを中心とした事業を継続したい。				本事業は、韓国の芸術、芸能文化に触れ交流することで、その国を知り、また、お互いの国同士の交流をしつつ、一人ひとりの芸術、芸能文化をさらに発展させることができる事業であり、ゆとりある心豊かなまちづくりに大きな役割を果たしている。平成28年度で3回目の実施であり、前回よりも工夫した取組と広報活動を実施した結果、集客数の増加につなげるなど、取組にも改善が見られた。市民団体の事業を支援する本事業は、協働のまちづくりの観点からも有効な施策であり、今後も市民を主体とした事業展開は必要であり、市民と行政がそれぞれの良さを生かした協力体制を構築し、事業を進めていくことが求められている。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	姉妹都市等児童交流事業
-----	-------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	27	(27) 交流事業の推進
主要施策	②	②国内友好都市等交流事業の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 友好交流都市である剣淵町との交流を通じ、児童間、学校間及び市町間の友好親善を深めるとともに、郷土の歴史や異なる地域の生活や文化に対する理解を深める機会をつくる。また、ホームステイや団体行動及び家族から離れた生活を通じて社会生活上のルールを身に着ける。	児童間、学校間、市町間の交流を通して、歴史や文化の違いを肌で感じる体験をする。また、団体生活の中で協調性や自立心を養い、さぬき市の未来を担う児童の育成を図る。	計画額	0	0	0	5,200	5,200	—	—
			当初予算額	0	0	0	5,700	5,700		
			決算額	0	0	0	2,952	2,952		
H27	平成27年度は、剣淵町交流団の受入れを行った。 ・交流委員会と27年度からの新しい取組として保護者による実行委員会を開催した。 ・竹細工、流しそうめん、津田の松原での海水浴、女木島での研修を実施した。	新たに保護者等で構成する実行委員会を設け、当該実行委員会が主体的に内容を企画し、運営を行った。	計画額	0	0	0	1,500	1,500	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,500	1,500		
			決算額	0	0	0	1,009	1,009		
H28	具体的取組 平成28年度は、さぬき市交流団が剣淵町を訪問した。 ・交流委員会を開催した。 ・引率者打合せ会を訪問前に2回、訪問後に1回行うことにより、詳細な打合せや反省をすることができた。 ・剣淵町での町内研修とホームステイを実施した。	体験活動、移動等が班行動であるため、班のメンバーや、引率者との交流を深める機会を結団式で設けたことにより、多くの場面でよい結果となった。	計画額	0	0	0	1,100	1,100	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,000	2,000		
			決算額	0	0	0	1,943	1,943		
H29	平成29年度は、剣淵町交流団の受入れを行う。 ・27年度に引き続き、交流委員と保護者による実行委員会を開催する。 ・うどん作り、竹細工、津田の松原での海水浴、小豆島での研修を実施する。		計画額	0	0	0	1,500	1,500		
			当初予算額	0	0	0	2,200	2,200		
			決算額							
H30	平成30年度は、さぬき市交流団が剣淵町を訪問する。		計画額	0	0	0	1,100	1,100		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	交流団の派遣及び受入回数	本市と剣淵町の交流団の派遣及び受入回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	1	実績値	1	実績値		実績値	
成果指標	交流児童数	剣淵交流に参加した児童数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	38	計画値	39	計画値	50	計画値	50
					実績値	38	実績値	38	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	4点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点			4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点			5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点			4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点			3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	平成4年度に小田小学校で取り組みを始め、合併後も市内小学校が徐々に参加するようになり、平成20年度からは、全小学校を対象とした交流事業となっている。 隔年で受入と訪問を行っており、今年度は、訪問年であったため、さぬき市児童が剣淵町へ行き、児童間、学校間、市町間の友好・親善を深めると共に、異なる地域の生活や文化に対する理解を深めている。 また、家族を離れてのホームステイや団体行動を通して、社会生活上のマナーやルールを身に着けたり、協調性や自立心を養うことに役立っている。ホームステイ中に感じたことや思ったことを来年度の受入れに活かせるように、児童の意識を高めることができた。				本市において、児童の交流事業として唯一継続しているものであり、児童にとって北海道という全く違った環境に身を置き、異なる地域の生活や文化について理解を深める貴重な事業であることから、今後も受入と訪問を交互に実施していきたいため。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	男女共同参画推進事業①(あらゆる暴力の根絶関係除く)
-----	----------------------------

担当課	秘書広報課男女共同参画・国際交流推進室
-----	---------------------

記入日	平成29年7月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	28	(28) 男女共同参画の推進
主要施策	①	①様々な分野における男女共同参画の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	30	企画費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 平成25年度策定の「第2次さぬき市男女共同参画プラン」(平成26年度～35年度)に基づき、さぬき市男女共同参画推進協議会の意見も聞きながら啓発活動等を実施する。【具体的な内容】講演会の開催、男女共同参画パネル展、市民団体による自主企画事業への助成、男女共同参画推進市民サポーターとの連携による取組等	性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会(自分らしく、ともにいきいきと生きることができるまち)の実現に向けた啓発活動等を行う事業である。	計画額	0	0	0	3,526	3,526	—	—
			当初予算額	0	0	0	5,076	5,076		
			決算額	0	0	0	1,284	1,284		
H27	・男女共同参画推進協議会(4回)・女性が輝く地域づくり講演会(県共催、1回)・市民企画事業(5団体)・男女共同参画パネル展(1回)・市民サポーターセミナー(1回)・第2次男女共同参画プラン進捗状況調査等 ※計画・予算額は「あらゆる暴力の根絶関係」を含むものとし、決算額は事業実施テーマにあわせて分離している。	・H28年度パネル展に向け、新たに小学生の参加を促した。・市民企画事業実施団体間の連携強化を目指して座談会を開催した。	計画額	0	0	0	886	886	0.1	0.1
			当初予算額	0	0	0	886	886		
			決算額	0	0	0	687	687		
H28	・男女共同参画推進協議会(4回)・男女共同参画講演会(1回)・市民企画事業(5団体)・男女共同参画パネル展(3回)・男女共同参画セミナー(2回)・市民サポーター出前講座(2回)・第2次男女共同参画プラン進捗状況調査等 ※計画・予算額は「あらゆる暴力の根絶関係」を含むものとし、決算額は事業実施テーマにあわせて分離している。	・男女共同参画市民サポーターを講師とする出前講座を新たに実施した。・県共催事業として男性の家事等の参画を促す連続講座を市内で開催した。	計画額	0	0	0	880	880	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	886	886		
			決算額	0	0	0	597	597		
H29	・男女共同参画講演会・男女共同参画講演会・市民企画事業・男女共同参画パネル展・男女共同参画セミナー・男女共同参画推進市民サポーター連携事業・第2次さぬき市男女共同参画プラン(後期計画)意識調査等 ※計画・予算額は「あらゆる暴力の根絶関係」を含む。		計画額	0	0	0	880	880		
			当初予算額	0	0	0	3,304	3,304		
			決算額							
H30	平成25年度策定の「第2次さぬき市男女共同参画プラン」(平成26年度～35年度)に基づき、さぬき市男女共同参画推進協議会の意見も聞きながら啓発活動等を実施する。【具体的な内容】講演会の開催、男女共同参画パネル展、市民団体による自主企画事業への助成、男女共同参画推進市民サポーターとの連携による取組等		計画額	0	0	0	880	880		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	子どもを対象とした男女共同参画を推進するための啓発事業数	市が主催する、子どもを対象とした、男女共同参画の意識を啓発するための事業数(例:講演会、セミナー、男女共同参画パネル展)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 1	実績値 1	計画値 2	実績値 2	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	
	男女共同参画推進市民サポーター企画・運営事業数	男女共同参画推進市民サポーターが企画し、運営するセミナー等の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 1	実績値 1	計画値 2	実績値 5	計画値 2	実績値	計画値 3	実績値	
成果指標	男女共同参画講演会又はセミナーへの男性参加割合	市が主催又は共催した男女共同参画講演会又はセミナーの参加者アンケート等集計結果(無回答は除く)による。 男性参加人数/参加人数 ※小数点以下切り上げ	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 15	実績値 15	計画値 17	実績値 28	計画値 19	実績値	計画値 20	実績値	
	男女共同参画推進市民サポーター数	男女共同参画推進市民サポーターに登録している人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 11	実績値 11	計画値 13	実績値 14	計画値 15	実績値	計画値 17	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	20点 /25点	5点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	男女共同参画講演会をはじめ、市民主体の市民企画事業や県共催事業の実施などを通して、男女共同参画社会に向けた意識は着実に浸透していると実感できるが、この浸透した意識をどうやって定着へと結びつけるのが今後の課題と言える。平成29年度から30年度にかけて、第2次さぬき市男女共同参画プランの中間見直しを実施する中で、課題を明らかにし、さらなる発展へとつなげていきたい。						男女共同参画社会づくりに関する意識の定着を図るため、男女共同参画パネル展や講演会等の意識啓発を実施しているが、市民の認識や関心は依然として高いとは言えない状況であるため、今後もより幅広い情報提供ができる方法を考え、意識啓発を図る必要がある。また、市民企画事業をはじめ、市民サポーターによるセミナーや出前講座の実施など、市民との協働による取組をさらに進めるとともに、講演会やセミナーなどのテーマ設定の工夫や要約筆記、託児等の実施、関係機関との連携等により、性別を問わず幅広い世代に男女共同参画を考えてもらう機会を提供することで、事業の効果を高めていく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	男女共同参画推進事業②(あらゆる暴力の根絶関係)
-----	--------------------------

担当課	秘書広報課男女共同参画・国際交流推進室
-----	---------------------

記入日	平成29年7月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	28	(28) 男女共同参画の推進
主要施策	②	②あらゆる暴力の根絶

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	30	企画費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 平成25年度策定の「第2次さぬき市男女共同参画プラン」(平成26年度～35年度)に基づき、さぬき市男女共同参画推進協議会の意見も聞きながら、DV防止法に基づくあらゆる暴力の根絶などをめざした啓発活動を実施する。なお、被害相談業務等は、子育て支援課が所管。【具体的な内容】講演会やキャンペーンの開催等	DV防止法に基づきあらゆる暴力の根絶をめざすための啓発活動等を行う事業である。	計画額	0	0	0	3,526	3,526	—	—
			当初予算額	0	0	0	5,076	5,076		
			決算額	0	0	0	35	35		
H27	デートDV防止啓発講演会(長尾中、さぬき南中、志度中 計3回、子育て支援課共催) ※計画・予算額は「さまざまな分野における男女共同参画の推進関係」を含むものとし、決算額は事業実施テーマにあわせて分離している。	会場ごとに違う講師を招へいし、中学生が理解しやすい講演会の進行方法を研究した。	計画額	0	0	0	886	886	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	886	886		
			決算額	0	0	0	20	20		
H28	具体的取組 ・デートDV防止啓発講演会(さぬき南中、子育て支援課共催) ・市民企画事業(市マスコットキャラクターを活用したDV・児童虐待防止啓発支援)・DV防止啓発パネル展(1回)等 ※計画・予算額は「さまざまな分野における男女共同参画の推進関係」を含むものとし、決算額は事業実施テーマにあわせて分離している。	・デートDV防止啓発講演会を継続実施したほか、オレンジリボン・パープルリボンに関する市民主体の啓発活動を支援した。・パネル展等で市マスコットキャラクターを活用したDV防止啓発を実施した。	計画額	0	0	0	880	880	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	886	886		
			決算額	0	0	0	15	15		
H29	・デートDV防止啓発講演会等 ※計画・予算額は「さまざまな分野における男女共同参画の推進関係」を含む。		計画額	0	0	0	880	880		
			当初予算額	0	0	0	3,304	3,304		
			決算額							
H30	DV防止法に基づく女性に対するあらゆる暴力の根絶などをめざし、講演会やキャンペーンの開催、市民団体の活動支援等を実施し、暴力のないまちづくりを推進する。 ※被害に合われた方等の相談業務等は、子育て支援課が所管		計画額	0	0	0	880	880		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	DV(デートDV)防止啓発活動数	市主催又は市民企画事業で実施するDV(デートDV)防止をテーマにした講演会又はセミナーの開催回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 3	実績値 3	計画値 3	実績値 4	計画値 4	実績値	計画値 5	実績値	
	DVなどの暴力に関する知識向上活動数	女性に対する暴力をなくす運動(11月12日～25日)、DV(デートDV)相談窓口、各種ハラスメント(セクハラ・マタハラ)に関する知識を増やすための広報回数(広報紙での周知、キャンペーン活動等)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 3	実績値 2	計画値 3	実績値 4	計画値 4	実績値	計画値 4	実績値	
成果指標	DV(デートDV)被害相談件数	子育て支援課が集計する相談のべ件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 55	実績値 57	計画値 60	実績値 83	計画値 63	実績値	計画値 66	実績値	
	DV被害について「どこ(だれ)に相談していいかわからなかった」とする市民の割合	男女共同参画プラン策定時の市民アンケート結果より※現状値:25.0%(H24年度調査)。次回調査:H29年度予定	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 20以下	実績値 25	計画値 20以下	実績値 25	計画値 20以下	実績値	計画値 15以下	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	19点 /25点	5点		20点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		3点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点	4点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	DV被害については相談件数が伸びているが、相談窓口の周知が進んだ結果であると認識している。あらゆる暴力の根絶に向けた取組の一環として、市内中学校を対象としたデートDV防止啓発に関する意識啓発を実施しているが、今後も子育て支援課と連携しながら切れ目のない取組を継続していきたい。 また、28年度には市民主体のDV・児童虐待防止啓発の取組が行われ、その活動に対して補助金を交付したが、今後も市民の声など新たな視点を生かした事業を展開したい。						あらゆる暴力を根絶するため、性別を問わず幅広い世代へDVやハラスメント防止等について、市民団体等と協働で正しい情報提供を行うとともに、理解を深めるための啓発活動を継続的に実施する必要がある。 また、研修会等への積極的な参加による担当者の資質向上だけに留まらず、相談者を適切な相談窓口へ誘導するために県等関係機関や庁内関係各課との情報共有に努めていくとともに、相談窓口の周知徹底や細やかな対応に努める必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	同和対策事業
-----	--------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成29年7月10日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	29	(29) 人権教育の推進
主要施策	①	①人権教育・啓発活動の推進と充実

会計	01	一般会計
款	15	民生費
項	05	社会福祉費
目	30	人権推進費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 市民一人ひとりが人権意識の高揚に努めるとともに相互理解を深め、部落差別をはじめとするあらゆる差別のない明るい社会の実現に向けて取り組む。	市民に人権・同和問題の正しい理解と認識を図るため、関係機関団体と連携し研修会の開催等を行う。	計画額	1,674	0	0	34,735	36,409	—	—
			当初予算額	1,414	0	0	22,585	23,999		
			決算額	854	0	0	12,411	13,265		
H27	市民・企業・市職員等一人ひとりの人権意識の高揚を図った。 ・人権・同和問題講演会の開催 ・人権・同和問題啓発用パンフレットの作成	市民一人ひとりが人権尊重の理念について正しい理解と認識を図るため、関係機関・団体と連携し研修会の開催等を行った。	計画額	474	0	0	8,235	8,709	0.6	0.0
			当初予算額	474	0	0	8,235	8,709		
			決算額	414	0	0	6,485	6,899		
H28	具体的取組 市民・企業・市職員等一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、講演会・研修・キャンペーン等を行う。2市1町人権・同和問題担当者会として、県外等の取組に学ぶため、研修を行う。「さぬき市差別をなくし、人権を擁護する条例」の改正。	関係機関・団体と連携し研修会の開催等を行った。また、平成29年7月の「さぬき市差別をなくし、人権を擁護する条例」の改正へ向けて作業を進めた。	計画額	400	0	0	8,500	8,900	0.6	0.0
			当初予算額	515	0	0	7,154	7,669		
			決算額	440	0	0	5,926	6,366		
H29	市民・企業・市職員等一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、講演会・研修・キャンペーン等を行う。		計画額	400	0	0	8,200	8,600		
			当初予算額	425	0	0	7,196	7,621		
			決算額							
H30	市民・企業・市職員等一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、講演会・研修・キャンペーン等を行う。人権・同和問題市民意識調査を行い、過去の調査結果を踏まえ、事業内容の見直しを行う。2市1町人権・同和問題担当者会として、県外等の取組に学ぶため、研修を行う。		計画額	400	0	0	9,800	10,200		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	さぬき市人権・同和問題講演会の開催回数	市民を対象とした、人権・同和問題の正しい理解と認識を深めるための講演会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 1	実績値 1	計画値 1	実績値 1	計画値 1	実績値 1	計画値 1	実績値 1
	企業啓発	企業に対しての人権・同和問題における講演会や研修会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 2	実績値 1	計画値 2	実績値 1	計画値 2	実績値 1	計画値 2	実績値 1
成果指標	さぬき市人権・同和問題講演会の参加者数	市民を対象とした、人権・同和問題の正しい理解と認識を深めるための講演会の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 400	実績値 251	計画値 400	実績値 350	計画値 400	実績値 350	計画値 400	実績値 350
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値 400	実績値 251	計画値 400	実績値 350	計画値 400	実績値 350	計画値 400	実績値 350
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決のため、引き続き取組を継続しなければならぬ事業である。市民一人ひとりが、差別意識の解消に向けて主体的に取り組むことができるよう、人権意識の高揚を図り、今後も人権尊重の理念に沿った教育、啓発を推進していく必要がある。						同和問題は未だ解決されておらず、部落差別をする人の意識は根強いものがある。1965年に出された政府同和对策審議会答申でも述べられたように、部落差別の解消は「国民的な課題」であり、「国の責務である」との理解の下、人権意識の向上については、すべての施策の根底に人権がかかわっていることを認識し、人権同和教育・人権啓発の推進を図り、差別のない社会の実現を目指し今後も事業を推進していく。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	保育所人権教育事業
-----	-----------

担当課	子育て支援課幼保連携推進室
-----	---------------

記入日	平成29年7月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	29	(29) 人権教育の推進
主要施策	①	①人権教育・啓発活動の推進と充実

会計	01	一般会計
款	15	民生費
項	10	児童福祉費
目	15	公立保育所費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 保育所人権教育事業は、「保育所保育指針」に基づき、保育所職員を対象とする人権教育の推進を図るものである。	各保育所等が取り組んだ研究の成果を発表したり聞いたりすることで、人権教育についての意識を高める。	計画額	0	0	0	3,186	3,186	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,310	2,310		
			決算額	0	0	0	956	956		
H27	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図った。	複数の研修会が開催されており、積極的に参加している。テーマを絞り若手を中心に発表にも取り組み、さまざまな経験を積み重ねることができている。	計画額	0	0	0	786	786	4.7	4.4
			当初予算額	0	0	0	786	786		
			決算額	0	0	0	477	477		
H28	具体的取組 県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図る。	正規・臨時に関わらず機会があれば、積極的な参加を呼びかけた。	計画額	0	0	0	800	800	5.2	4.4
			当初予算額	0	0	0	753	753		
			決算額	0	0	0	479	479		
H29	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図る。		計画額	0	0	0	800	800		
			当初予算額	0	0	0	771	771		
			決算額							
H30	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図る。		計画額	0	0	0	800	800		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	研修参加者数	研修に参加した保育所職員数(延べ)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	120	計画値	120	計画値	120	計画値	120
					実績値	280	実績値	286	実績値		実績値	
成果指標	研修参加率	研修に参加した保育士数/保育所保育士数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	100	計画値	100	計画値	100	計画値	100
					実績値	80	実績値	83	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	3点	4点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点			4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点			3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点			3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点			3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	子どもの人権が尊重され、差別や偏見のない望ましい未来を創り出す力の基礎を培っていくことができるよう、人権を大切に育てる保育を推進していくため、今後も継続実施していく。						保育所職員の人権意識や保育技術の向上のためにも、必要な事業である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	研修会・研究大会等開催参加事業
-----	-----------------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成29年7月10日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	29	(29) 人権教育の推進
主要施策	①	①人権教育・啓発活動の推進と充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	20	人権教育費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	学校教職員・行政職員に対する人権・同和教育を推進するため、研修会及び研究大会への参加を支援する。	研修会に参加することで、全職員の人権や同和教育に対する正しい理解と認識を深めるとともに人権意識を高め合う職員集団づくりを目指す。	計画額	0	0	0	3,603	3,603	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,427	2,427		
			決算額	0	0	0	1,079	1,079		
H27	大会参加によって人権・同和教育に関する事業を推進した。 ・香川県人権・同和教育研究大会 ・人権・同和教育指導者研修会 ・四国地区人権教育研究大会 ・全国人権・同和教育研究大会	研修会に参加することで、全職員の人権や同和教育に対する正しい理解と認識を深めるとともに人権意識を高め合う職員集団づくりを目指した。	計画額	0	0	0	903	903	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	903	903		
			決算額	0	0	0	706	706		
H28	大会参加によって人権・同和教育に関する事業を推進する。 ・香川県人権・同和教育研究大会 ・人権・同和教育指導者研修会 ・四国地区人権教育研究大会 ・全国人権・同和教育研究大会	研修会に参加することで、全職員の人権意識を高め、知識を深めることができた。	計画額	0	0	0	900	900	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	884	884		
			決算額	0	0	0	373	373		
H29	大会参加によって人権・同和教育に関する事業を推進する。 ・香川県人権・同和教育研究大会 ・人権・同和教育指導者研修会 ・四国地区人権教育研究大会 ・全国人権・同和教育研究大会		計画額	0	0	0	900	900		
			当初予算額	0	0	0	640	640		
			決算額							
H30	大会参加によって人権・同和教育に関する事業を推進する。 ・香川県人権・同和教育研究大会 ・人権・同和教育指導者研修会 ・四国地区人権教育研究大会 ・全国人権・同和教育研究大会		計画額	0	0	0	900	900		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	人権・同和教育研究大会 開催回数	香同教・指導者研修・四人権・全人教大会開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	4	計画値	4	計画値	4	計画値	4
					実績値	4	実績値	4	実績値		実績値	
成果指標	人権・同和教育研究大会 参加者数	香同教・指導者研修・四人権・全人教大会参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	150	計画値	150	計画値	150	計画値	150
					実績値	147	実績値	131	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	3点	4点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点			3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点			4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点			3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点			3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	各種研究大会の開催地によって費用の増減はあるが、他の事業との統合を含めても継続的な事業を行う必要がある。 職員の人権・同和問題等に対する正しい理解と認識を深めるために、今後も参加支援を行うものである。				研究大会に参加する事により、常に人権意識を高め、差別のない社会の形成に努めている。 各園・校などからの参加があり、要望も多いことから、継続して実施する必要があると考えている。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	人権同和教育指導者資質向上事業
-----	-----------------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成29年7月10日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	20	人権教育費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	人権・同和教育指導者に対する資質向上のため、研修会及び研究大会への参加支援をする。	学校教職員等の人権・同和教育指導者の資質向上のため、県内外で開催される研究大会への参加支援に取り組んでいる。	計画額	0	0	0	4,283	4,283	—	—
			当初予算額	0	0	0	4,388	4,388		
			決算額	0	0	0	1,928	1,928		
H27	各種研修会に参加し、人権意識・人権感覚を周知啓発した。 ・全国人権保育研究集会 ・四国地区人権教育研究大会 ・香川県就学前人権教育研究集会 ・全国人権・同和教育研究大会 ・全人教教育課題別研究会 ・さぬき市人権まなび講座先進地視察(隔年実施) 他	各種研修会・研究大会に参加し、人権・同和教育指導者に対する資質向上を図るとともに、先進的な事例研究を行うことで、人権感覚を磨きながら人権・同和教育の推進した。	計画額	0	0	0	1,073	1,073	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,073	1,073		
			決算額	0	0	0	814	814		
H28	各種研修会に参加し、人権意識・人権感覚を身につける。 ・全国人権保育研究集会 ・四国地区人権教育研究大会 ・香川県就学前人権教育研究集会 ・全国人権・同和教育研究大会 ・全人教教育課題別研究会 ・さぬき市人権まなび講座先進地視察(隔年実施) 他	参加する職員を変えていくことで、幅広い人権・同和教育指導者の育成に取り組んでいる。	計画額	0	0	0	1,070	1,070	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,528	1,528		
			決算額	0	0	0	1,114	1,114		
H29	各種研修会に参加し、人権意識・人権感覚を身につける。 ・全国人権保育研究集会 ・四国地区人権教育研究大会 ・香川県就学前人権教育研究集会 ・全国人権・同和教育研究大会 ・全人教教育課題別研究会 ・さぬき市人権まなび講座先進地視察(隔年実施) 他		計画額	0	0	0	1,070	1,070		
			当初予算額	0	0	0	1,787	1,787		
			決算額							
H30	各種研修会に参加し、人権意識・人権感覚を身につける。 ・全国人権保育研究集会 ・四国地区人権教育研究大会 ・香川県就学前人権教育研究集会 ・全国人権・同和教育研究大会 ・全人教教育課題別研究会 ・さぬき市人権まなび講座先進地視察(隔年実施) 他		計画額	0	0	0	1,070	1,070		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	人権・同和教育主任研修会開催回数	市内保・幼・小・中学校人権・同和教育主任に対する研修会開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
					実績値	5	実績値	5	実績値		実績値		
成果指標	人権・同和教育指導者資質向上研修会参加者数	人権・同和教育指導者に対する資質向上研修会参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	120	計画値	120	計画値	120	計画値	120	
					実績値	114	実績値	157	実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 ／25点	4点	18点 ／25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		2点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	各種研究大会及び研修会はへの参加人数は、増加しており、今後さらに人権・同和教育指導者の資質向上を目的とする研修会の開催や研究会の参加を支援するものである。						人権・同和教育は、修学前の教育により関心を持ってもらい、小・中・高と連携して行くことが重要である。そのためには、指導者として必要な人権意識や人権感覚を身につけることにより、差別のない社会の形成を実現するための資質向上が期待できる。事業統合に関しては、今後検討したい。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	更生保護事業
-----	--------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成29年7月10日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	29	(29) 人権教育の推進
主要施策	②	②人権問題に関する相談体制の充実

会計	01	一般会計
款	15	民生費
項	05	社会福祉費
目	30	人権推進費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 保護司会及び更生保護女性会への補助金・活動支援を行う。 【具体的な内容】中学校弁論大会等の開催や「社会を明るくする運動」街頭キャンペーン等により、犯罪や非行のない明るい社会づくりを進める活動への支援・協力や、更生保護施設等からの一日も早い社会復帰支援として、更生保護施設慰問への支援・協力等	保護司会及び更生保護女性会に対し支援・協力をを行うことにより、更生保護活動への理解を図り、犯罪や非行のない安全で安心に暮らせる社会の実現をめざす。	計画額	0	0	0	3,140	3,140	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,738	2,738		
			決算額	0	0	0	2,068	2,068		
H27	「社会を明るくする運動」街頭キャンペーンにて啓発冊子の配布等(東かがわ市) ・更生保護女性会更生施設慰問(丸亀少女の家、修斉会)、更生保護女性会研修(高松少年鑑別所等)、長尾更生保護女性会大窪寺キャンペーン活動への支援及び協力等	今後の更生保護活動に活かすため、平成28年度に更生保護女性会和歌山刑務所研修を実施することを決定した。	計画額	0	0	0	670	670	0.5	0.0
			当初予算額	0	0	0	670	670		
			決算額	0	0	0	670	670		
H28	【予定】「社会を明るくする運動」街頭キャンペーンにて啓発冊子等の配布等(津田小学校)・更生保護女性会更生施設慰問、更生保護女性会県外研修(和歌山刑務所)、長尾更生保護女性会大窪寺キャンペーン活動への支援及び協力等	保護司及び更生保護女性会とともに、キャンペーン活動を行う等、更生保護活動の支援を行った。また、更生保護女性会においては、和歌山刑務所への県外研修を実施した。	計画額	0	0	0	900	900	0.5	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,398	1,398		
			決算額	0	0	0	1,398	1,398		
H29	保護司会及び更生保護女性会への補助金・活動支援を行う。 【具体的な内容】中学校弁論大会等の開催や「社会を明るくする運動」街頭キャンペーン等により、犯罪や非行のない明るい社会づくりを進める活動への支援・協力や、更生保護施設等からの一日も早い社会復帰支援として、更生保護施設慰問への支援・協力等		計画額	0	0	0	670	670		
			当初予算額	0	0	0	670	670		
			決算額							
H30	保護司会及び更生保護女性会への補助金・活動支援を行う。 【具体的な内容】中学校弁論大会等の開催や「社会を明るくする運動」街頭キャンペーン等により、犯罪や非行のない明るい社会づくりを進める活動への支援・協力や、更生保護施設等からの一日も早い社会復帰支援として、更生保護施設慰問への支援・協力等		計画額	0	0	0	900	900		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	保護司会及び更生保護女性会の活動支援件数	「社会を明るくする運動」街頭キャンペーンへの参加等、保護司会及び更生保護女性会の活動への支援件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
					実績値	5	実績値	5	実績値		実績値		
成果指標	更生保護施設慰問回数	丸亀少女の家、修斉会、四国少年院等の更生保護施設等への慰問回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	4	計画値	4	計画値	4	計画値	4	
					実績値	4	実績値	4	実績値		実績値		
成果指標	街頭キャンペーン実施回数	「社会を明るくする運動」街頭キャンペーンや長尾更生保護女性会大窪寺キャンペーン活動等の実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値	3	
					実績値	2	実績値	2	実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	<p>保護司は、法務大臣から委嘱を受けた無報酬の国家公務員として、保護司法に基づき犯罪者等の改善・更生を助け、保護観察や犯罪予防活動を行っており、更生保護女性会は、ボランティア団体として更生保護に理解と協力を得るための活動を行っていることから、公益性が高い事業である。</p> <p>犯罪を犯した人たちの更生や犯罪のない社会の形成には、保護司を中心とした地域社会の協力が不可欠であることから、行政として今後も引き続き協力・支援していき、地域全体で立ち直りを支える社会づくりを進めていく。</p>						<p>保護司や更生保護女性会による「社会を明るくする運動」や「更生保護施設訪問」などのボランティア活動は、犯罪や非行のない明るい地域社会の実現や更生に大きく貢献している。</p> <p>健全な社会を形成するには、罪を犯した人でも人生をやり直すことのできる社会環境が重要である。刑の執行中や刑を終えて出所した人、その家族に対する偏見や差別意識には根強いものがあり、罪を償い社会に復帰した人が、更生をし社会に貢献できるようになるためには、本人の努力に加えて、多くの人の協力と理解が必要であることから、行政としての協力体制が重要である。</p>						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	隣保館運営事業
-----	---------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成29年7月10日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	29	(29) 人権教育の推進
主要施策	③	③啓発活動拠点施設の活用

会計	01	一般会計
款	15	民生費
項	05	社会福祉費
目	35	隣保館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	地域住民の福祉向上や、様々な人権問題の解決のための各種事業を実施する。 【具体的な内容】・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ)・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等	人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、地域住民の福祉や人権意識の向上を図るとともに、人権・同和問題の解決に資することにより、あらゆる差別のない社会の実現をめざす。	計画額	27,592	0	2,160	17,659	47,411	—	—
			当初予算額	22,591	0	2,368	16,285	41,244		
			決算額	13,765	0	829	8,741	23,335		
H27	・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ) ・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等	これまで冬に志度音楽ホールで実施していた「じんけんフェスタ」を「冬のつどい」と辛立文化センターにて同時開催することにより、イベント運営経費の削減及びより多くの参加者を得ることができた。	計画額	6,898	0	540	4,159	11,597	1.3	1.0
			当初予算額	6,898	0	540	4,159	11,597		
			決算額	6,027	0	432	3,261	9,720		
H28	【予定】・辛立文化センターにて「じんけんフェスタ」と「冬のつどい」の同時開催・定期的な地元の行政書士による専門相談・隣保館運営審議会県外研修の実施・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ)・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等	「じんけんフェスタ」と「冬のつどい」の同時開催。人権問題を中心とした相談活動、各種教養文化講座の実施。隣保館運営審議会県外研修を実施し、先進地での人権問題に関する取組等について学んだ。	計画額	6,898	0	540	4,700	12,138	0.5	2.0
			当初予算額	7,954	0	1,288	6,306	15,548		
			決算額	7,738	0	397	5,480	13,615		
H29	地域住民の福祉向上や、様々な人権問題の解決のための各種事業を実施する。【具体的な内容】・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ)・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等		計画額	6,898	0	540	4,100	11,538		
			当初予算額	7,739	0	540	5,820	14,099		
			決算額							
H30	地域住民の福祉向上や、様々な人権問題の解決のための各種事業を実施する。【具体的な内容】・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ)・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等		計画額	6,898	0	540	4,700	12,138		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	小・中学校学習会開催回数	小・中学校の学習意欲の奮起を促し、地区の教育力を高めることや、仲間づくり等人権啓発学習を開催している学習会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 60	実績値 60	計画値 60	実績値 64	計画値 60	実績値	計画値 60	実績値	
	夏のつどい・じんけんフェスタ(冬のつどい)開催回数	開催を通して、行政・教育関係者・地域住民等の相互理解を深めることを目的とした、地域交流イベントの開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 2	実績値 2	計画値 2	実績値 1	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	
成果指標	小・中学校学習会参加者数	本来は学習成果を挙げるべきだが、測定が困難なので参加者数で代用	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 1,800	実績値 1,820	計画値 1,800	実績値 2,371	計画値 1,800	実績値	計画値 1,800	実績値	
	夏のつどい・じんけんフェスタ(冬のつどい)参加者数	開催を通して、行政・教育関係者・地域住民等の相互理解を深めることを目的とした、地域交流イベントの参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 1,500	実績値 2,500	計画値 1,500	実績値 1,200	計画値 1,500	実績値	計画値 1,500	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	辛立文化センターは、地域住民の生活上の各種相談事業や人権問題解決のための各種事業を行い、地域住民の福祉の向上や各種講座・サークル活動等を通じて人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、重要な役割を担っているため、継続的に事業を実施していく必要がある。隣保館の存在目的をより多くの市民に理解してもらい、人権問題等に対する理解を深め、人権文化の発信基地としての辛立文化センターを中心とした人権啓発を進める。平成30年度には、隣保館運営審議会として、県外研修を予定しており、先進地での取組み状況等を学び、今後も多くの市民が交流できる交流拠点施設の機能の強化に取り組んでいく。						地域の相談事業や交流事業などの拠点として、隣保館の役割は大きい。人権・同和問題の啓発や人権教育の拠点としての活用はもとより、地域住民の生活の社会的、経済的、文化的改善向上を図るとともに、人権・同和問題の速やかな解決のため果たす役割を、なお一層高めていかなければならない。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	教育集会所管理事業
-----	-----------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成29年7月10日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	29	(29) 人権教育の推進
主要施策	③	③啓発活動拠点施設の活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	20	人権教育費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	教育集会所(同和対策事業の一環として同和地区に設置される、社会福祉施設の一つである。)の維持管理をする。	鴨部教育集会所及び公文明教育集会所の維持管理費である。	計画額	0	0	0	1,344	1,344	—	—
			当初予算額	0	0	0	956	956		
			決算額	0	0	0	1,073	1,073		
H27	教育集会所の適切な維持管理を行った。	鴨部教育集会所については、実質利用者がいないことから、解体も視野に入れた今後のあり方の検討を開始した。	計画額	0	0	0	336	336	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	336	336		
			決算額	0	0	0	285	285		
H28	教育集会所の適切な維持管理を行う。	公文明教育集会所のエアコンが故障したため、新しく購入した。鴨部教育集会所については、利用者が現在見込めず、継続的な維持管理のみとする。	計画額	0	0	0	336	336	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	313	313		
			決算額	0	0	0	788	788		
H29	教育集会所の適切な維持管理を行う。		計画額	0	0	0	336	336		
			当初予算額	0	0	0	307	307		
			決算額							
H30	教育集会所の適切な維持管理を行う。		計画額	0	0	0	336	336		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	管理人の配置数	鴨部教育集会所の維持管理人の配置数 (公文明教育集会所については、自治会館管理)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	1	実績値	1	実績値		実績値	
成果指標	教育集会所における人権啓発活動(公文明)	人権啓発活動(自治会活動を含む)の回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12
					実績値	12	実績値	12	実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	16点 /25点	2点	12点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点						
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	施設自体の存続については、社会教育施設整備費補助金(同和対策集会所整備費)により、整備を行ったものであり、用途廃止については、60年経過した場合に補助金返還の対象とならないため、既存施設については、継続して適切な維持管理するものである。 辛立集会所については、辛立文化センターの新設により集会所としての機能も新設時から移行している。				使用頻度の差はあるものの、自治会の集会場として使用しているため、現段階では事業を継続する必要がある。							
	公文明集会所、鴨部集会所 1979年3月(昭和53年度)竣工 辛立集会所 1978年3月(昭和52年度)竣工											